Nikon

レンズ交換式デジタルカメラ

1 V2

活用ガイド

Jp

このたびはニコンレンズ交換式デジタルカメラをお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。お使いになる前に、この活用ガイドをよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

表記について

- この活用ガイドでは、カメラの設定が初期設定であることを前提に操作の説明を行っています。
- ご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。
- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- バッテリーチャージャーを「チャージャー」と表記しています。
- ロータリーマルチセレクターの上、下、左、右を、▲、▼、◀、▶と表記しています。

本文中のマークについて

この活用ガイドは、次の記号を使用しています。必要な情報を探すときにご活用ください。

カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。

カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

活用ガイド上で関連情報が記載されているページです。

「見て聞くマニュアル」デジチューター

インターネット上でNikon 1 V2の操作方法を、動画や作例写真を交えながら説明しています。下記アドレスのホームページをご覧ください。

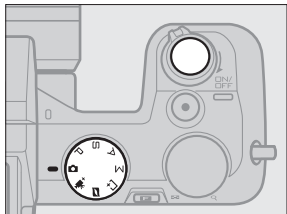
http://www.nikondigitutor.com/

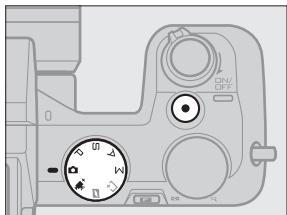
⚠安全上のご注意

安全にカメラをお使いいただくために守っていただきたい内容が記載されています。カメラをお使いになる前に必ずお読みください。詳しくは🕮xi～xxをご覧ください。

1 V2

このカメラを簡単に楽しむには

シャッターボタンで「静止画を撮る」

すべての撮影モード（□7）で、シャッターボタンを押して静止画を撮影できます。**モーションスナップショットモード**（□57）では、静止画に加えて短い動画も一緒に残せます。

動画撮影ボタンで「動画を撮る」

オートモード、**アドバンスト動画モード**、**P**、**S**、**A**、**Mモード**で動画撮影ボタンを押すと、動画が撮影できます。簡単に動画を撮影するときは**オートモード**（□21）、本格的な動画を撮影する場合は**アドバンスト動画モード**（□49）をおすすめします。

BGM付きのショートムービーを「作成する」

- 付属のソフトウェアをインストールする（□93）
- パソコンに静止画や動画を取り込む（□97）
- Short Movie Creatorでショートムービーを作る（□101）

ショートムービーをハイビジョンテレビで「観る」

- パソコンで作成したショートムービーをカメラに戻す（□103）
- HDMIケーブルを使ってハイビジョンテレビと接続する（□104）

アクセサリーでさらに楽しむ

交換レンズをはじめ、カメラの可能性を広げ、撮影を楽しくする別売アクセサリーをご用意しています（□183）。

❏ レンズ

❏ スピードライト

❏ GPS

❏ リモコンML-L3

❏ ニコンデジタルカメラ専用ソフトウェア

❏ マウントアダプター

❏ ワイヤレスモバイルアダプター

目 次

はじめに 1

撮影前の準備 13

オートモード 21

P、S、A、M モード 31

ベストモーメントキャプチャーモード 41

アドバンスト動画モード 49

モーションスナップショットモード 57

撮影の便利な機能 61

いろいろな再生機能 81

パソコン、テレビ、プリンターとの接続　93

再生メニュー　115

撮影メニュー 125

セットアップメニュー 173

資料 183

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用し、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は、次のようになっています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

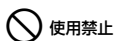
△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為（してはいけないこと）を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告（カメラとレンズについて）

分解禁止	**分解したり修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 バッテリー、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
バッテリーを取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかにバッテリーを取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 バッテリーを取り出す際、やけどに充分注意してください。 バッテリーを抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
使用禁止	**引火・爆発のおそれのある場所では使わない** プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。
使用禁止	**レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと** 失明や視力障害の原因となります。
発光禁止	**車の運転者等に向けてフラッシュを発光しないこと** 事故の原因となります。
発光禁止	**フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。
保管注意	**幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届くところに置かない** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだときは直ちに医師にご相談ください。
警告	**ストラップが首に巻き付かないようにすること** 特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと。 首に巻き付いて窒息の原因となります。

⚠ 警告（カメラとレンズについて）

使用禁止	**ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
警告	**指定のバッテリーまたは専用ACアダプターを使用すること** 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。

⚠ 注意（カメラとレンズについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
使用注意	**カメラの電源がONの状態で、長時間直接触れないこと** 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。
保管注意	**製品は幼児の手の届くところに置かない** ケガの原因になることがあります。
使用注意	**逆光撮影では、太陽を画角から充分にずらすこと** 太陽光がカメラ内部で焦点を結び、火災の原因になることがあります。画角から太陽をわずかに外しても火災の原因になることがあります。
保管注意	**使用しないときは、レンズにキャップを付けるか、太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
移動注意	**三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりして、ケガの原因となることがあります。
使用注意	**航空機内で使うときは、離着陸時に電源をOFFにすること** **病院で使うときは病院の指示に従うこと** 本機器が出す電磁波などにより、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。

⚠ 注意（カメラとレンズについて）

バッテリーを取る プラグを抜く	**長期間使用しないときは電源（バッテリーやACアダプター）を外すこと** バッテリーの液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 ACアダプターをご使用の際には、ACアダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
発光禁止	**内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因になることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** 内部の部品に悪影響を与え、火災の原因になることがあります。
禁止	**付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと** 機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。

⚠ 危険（専用リチウムイオン充電池について）

禁止	**バッテリーを火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**バッテリーを分解しない** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げたりしない** 液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。
危険	**専用の充電器を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと** ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。 持ち運ぶときは端子カバーをつけてください。

⚠ 危険（専用リチウムイオン充電池について）

使用禁止	**Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL21に対応していない機器には使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。 Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL21は、Nikon 1 V2に対応しています。
危険	**バッテリーからもれた液が目に入ったときはすぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警告（専用リチウムイオン充電池について）

保管注意	**バッテリーは幼児の手の届くところに置かない** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**バッテリーをリサイクルするときや、やむなく廃棄するときはビニールテープなどで接点部を絶縁する** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。 ニコンサービス機関やリサイクル協力店にご持参くださるか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。
警告	**バッテリーからもれた液が皮膚や衣服に付いたときはすぐにきれいな水で洗うこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠ 注意（専用リチウムイオン充電池について）

使用注意	**充電中のバッテリーに長時間直接触れないこと** 充電中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

⚠ 警告（チャージャーについて）

分解禁止	**分解したり修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 チャージャーをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
プラグを抜く すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかにチャージャーをコンセントから抜くこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 チャージャーをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
使用禁止	**引火・爆発のおそれのある場所では使わない** プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。
警告	**電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭き取ること** そのまま使用すると火災の原因になります。
使用禁止	**雷が鳴り出したらチャージャーに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
感電注意	**ぬれた手でチャージャーをコンセントから抜き差ししないこと** 感電の原因になることがあります。
禁止	**チャージャーを海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わないこと** 発熱、故障、火災の原因となります。

⚠ 注意（チャージャーについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
使用注意	**通電中のチャージャーに長時間直接触れないこと** 通電中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。
放置注意	**製品は幼児の手の届くところに置かない** ケガの原因になることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

ご確認ください

保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録ができます。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載されている登録コードをご用意ください。

カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/support/

大切な撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

著作権についてのご注意

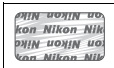
あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

使用説明書および活用ガイドについて

- 使用説明書および活用ガイドの一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書および活用ガイドの誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書および活用ガイドの内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書のPDFファイルをダウンロードできます。
  http://www.nikon-image.com/support/manual/
  ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（レンズ、スピードライト、バッテリー、チャージャー 、ACアダプターなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL21には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が発揮できないほか、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

SDカード内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

SDカードを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にSDカードがいっぱいになるまで、空や地面などの画像で置き換えることをおすすめします。SDカードを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）

(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

http://www.mpegla.com をご参照ください。

カメラが熱くなったときは

- カメラボディー表面が熱くなることがありますが故障ではありません。
- 次のような場合は、高温によるカメラへの損傷を抑えるために警告メッセージが表示され、カメラの電源がOFFになります。警告メッセージが表示され、撮影を開始できない場合は、電源をOFFにしたままカメラ内部の温度が下がるまで撮影を一時休止してください。
  - 撮影時の気温が高い場合
  - 静止画、動画撮影を長時間行った場合
  - 連写（連続撮影）を行った直後など

☑ アクセサリーについてのご注意

このカメラには、ニコン製のアクセサリーをお使いいただくことをおすすめします。他社製アクセサリーは、カメラの故障や不具合の原因となることがあります。他社製アクセサリー使用によるカメラの不具合については、保証の対象となりませんので、ご了承ください。なお、このカメラに使用できる別売アクセサリーについての最新情報は、最新のカタログや当社のホームページなどでご確認ください（🕮xviii）。

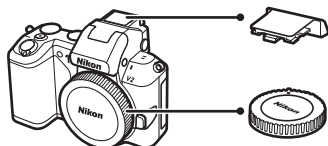
☑ カメラなどの点検サービスについて

カメラは精密機械ですので、1〜2年に1度は定期点検を、3〜5年に1度はオーバーホールされることをおすすめします（有料）。

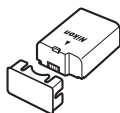
- 特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
- より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズや別売スピードライトなども併せて点検依頼されることをおすすめします。

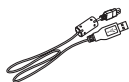
はじめに

カメラと付属品の確認

お使いになる前に、カメラと付属品が全てそろっていることを確認してください。万一、不足のものがありましたら、ご購入店にご連絡ください。

❏ マルチアクセサリーポートカバー BS-N3000

❏ ボディーキャップBF-N1000

❏ Nikon 1 V2 カメラ本体

❏ Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL21（端子カバー付）

❏ バッテリーチャージャー MH-28

❏ USB ケーブル UC-E19

❏ レンズ（レンズキャップ、裏ぶた付）

❏ ストラップAN-N1000

❏ ViewNX 2/Short Movie Creator CD-ROM

❏ 保証書

❏ 使用説明書

❏ 活用ガイドCD-ROM（活用ガイド（本書）収録）

❏ 登録のご案内

- レンズは、レンズキットの場合のみ付属しています。
- SDカードは付属していません。

各部の名称と機能

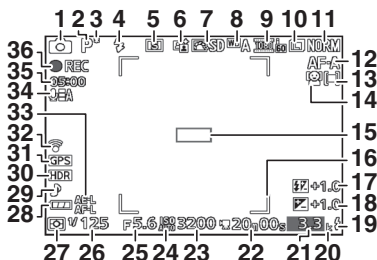
カメラ本体

No.	名称	ページ
1	リモコン受光部	64、207
2	レンズ着脱指標	17
3	AF補助光	161、169
	セルフタイマーランプ	64
	赤目軽減ランプ	67
4	電源スイッチ	18
5	シャッターボタン	24、42、45、51、58
6	ストラップ取り付け部（吊り金具）	13
7	電源ランプ	18
8	動画撮影ボタン	30、39、50
9	コマンドダイヤル	9、28、164
10	撮影モードダイヤル	7
11	ϟフラッシュボタン	67
12	⊖距離基準マーク	163
13	スピーカー	
14	マイク	158
15	レンズ取り外しボタン	224
16	レンズマウント	17、163
17	ボディーキャップ	185
18	マルチアクセサリーポートカバー	71、75
19	マルチアクセサリーポート	71、75
20	内蔵フラッシュ	67

1	視度調節ダイヤル......................6
2	電子ビューファインダー 6
3	アイセンサー.............................6
4	F フィーチャーボタン.............9
5	液晶モニター.......................4、5
6	ロータリーマルチセレクター...8 OK OKボタン.............................8 AE-L AF-L AE/AFロック ボタン .... 136、167、178 露出補正ボタン...................66 フラッシュモードボタン ....68 連写/セルフタイマー ボタン ....61、63
7	SDカードアクセス ランプ ....15、23
8	バッテリー /SDカードカバー 開閉ノブ............14、15、189
9	パワーコネクターカバー 190
10	バッテリー /SDカード カバー .... 14、15、189
11	三脚ネジ穴※
12	削除ボタン..................29、88
13	DISP表示切り換えボタン 5
14	端子カバー
15	MENU メニューボタン............10
16	再生ボタン ....28、47、60
17	USB端子 .... 78、97、107
18	HDMIミニ端子 104
19	外部マイク入力端子..............186
20	SDカードスロット 14
21	バッテリーロック レバー ....14、189

※三脚アダプター TA-N100は使用できません。

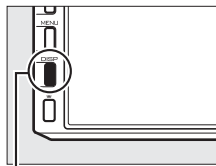
液晶モニター表示

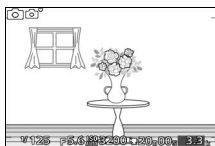
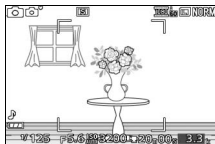
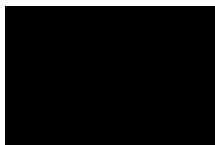
説明のため、全ての表示を点灯させています。

1	撮影モード 7	19	レディーライト .... 67、72
2	露出モード .... 128 ライブコントロール................ 26	20	1000コマ以上補助表示 20
3	プログラムシフトマーク 32	21	記録可能コマ数 ....20 連続撮影可能コマ数.................63 ホワイトバランスプリセット マニュアルデータ取得モード 表示.................................. 141 カードなしマーク ....176、212
4	フラッシュモード.................... 67	22	録画可能残り時間 .... 50、53
5	セルフタイマー / リモコンモード.................... 61 連写モード※.......................... 131	23	ISO感度 144
6	アクティブD-ライティング※ 155	24	ISO感度マーク....................... 144 ISO-AUTOマーク 144
7	Picture Control※ 145	25	絞り値............................ 34、35
8	ホワイトバランス※ 138	26	シャッタースピード........ 33、35
9	動画の設定（HD動画）※ ...... 133 撮影速度（スローモーション 動画）※ 132	27	測光モード........................... 135
10	画像サイズ※......................... 130	28	バッテリー残量表示※ 20
11	画質モード※......................... 129	29	サイレント撮影※ 131
12	フォーカスモード※ 160	30	HDR...156
13	AFエリアモード※ 165	31	GPS通信マーク※ 77
14	顔認識※ ....25、168	32	Eye-Fi通信マーク※ 188
15	AFエリア.......................22、166	33	AE-L/AF-Lマーク ....136、167
16	AFエリアフレーム※ 160	34	マイク感度※ 158
17	フラッシュ調光補正量.......... 171	35	録画中経過時間 .... 50、53
18	露出補正値 66	36	録画中マーク .... 50、53

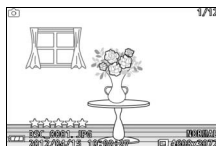
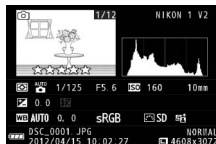
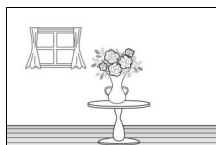
※DISPボタンを押して詳細表示にしたとき（□5）のみ表示されます。

DISP（表示切り換え）ボタン

DISPボタンを押すたびに、液晶モニターに表示される情報が切り替わります。

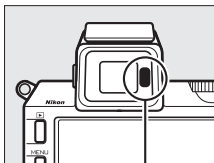
- 撮影時に表示される各項目については 🕮4 を、再生時に表示される各項目については 🕮81をご覧ください。

DISPボタン

■ 撮影時

シンプル表示

詳細表示

液晶モニター消灯

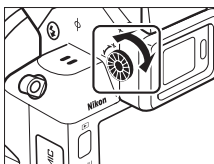
■ 再生時

情報表示あり

統合表示

画像のみ

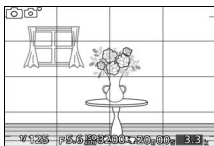
電子ビューファインダーについて

- 電子ビューファインダーに顔を近づけると、アイセンサーが反応して、液晶モニターが消灯し、電子ビューファインダーが点灯します。明るい場所で液晶モニターが見えにくいときは、電子ビューファインダーをお使いください。
- 指などを近づけたときも、電子ビューファインダーに切り替わります。液晶モニターを使用したいときは、アイセンサーに触れないでください。

- 電子ビューファインダー使用時も液晶モニターと同様に、**DISP** ボタンを押して表示される情報を切り換えられます（🕮5）。ただし、**DISP**ボタンを押しても電子ビューファインダー表示は消灯しません。

電子ビューファインダーを見やすくする（視度調節）

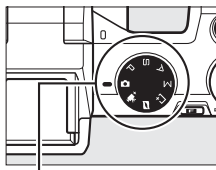
電子ビューファインダーの視度が合わず、表示が見えにくいときは、視度調節ダイヤルで視度を調節できます。

- 電子ビューファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを回し、画面表示が最もはっきり見えるように調節してください。
- 爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。

格子線の表示

セットアップメニューの［**格子線の表示**］を［**する**］にすると、撮影時に構図用格子線を表示できます（🕮176）。

関連ページ

液晶モニターと電子ビューファインダーの明るさを調整する → Y［**モニターの明るさ**］（🕮176）

撮影モードダイヤル

撮影モードダイヤルを回すと、次の各モードに切り換えられます。

撮影モードダイヤル

オートモード（□21）

カメラまかせで静止画や動画を撮影できます。カメラが撮影シーンや被写体を自動的に判別し、最適な設定で撮影します。

アドバンスト動画モード（□49）

露出モードを設定した本格的なHD（High-Definition）動画と、スローモーション動画の2種類の動画を撮影できます。

モーションスナップショットモード（□57）

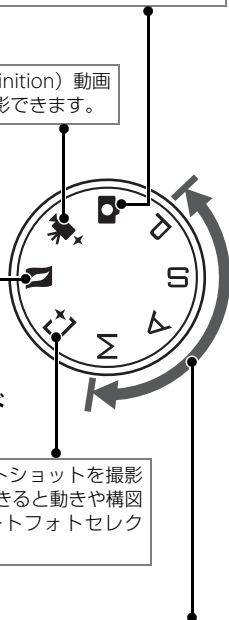
シャッターをきると、静止画と約1.6秒間の動画を撮影します(モーションスナップショット)。モーションスナップショット画像を再生すると、始めに動画がスローモーションで約4秒間再生され、続いて静止画が表示されます。

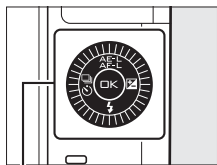
ベストモーメントキャプチャーモード（□41）

動きがゆっくりとなった表示を見ながらベストショットを撮影できる「スロービュー」、またはシャッターをきると動きや構図が最適な画像をカメラが自動で選ぶ「スマートフォトセレクター」を選択して撮影できます。

P、S、A、Mモード（□31）

シャッタースピードや絞り値などを自分で設定して、より本格的な静止画を撮影できます。

P：プログラムオート（□32）　A：絞り優先オート（□34）
S：シャッター優先オート（□33）　M：マニュアル（□35）

ロータリーマルチセレクター

撮影時やメニュー画面表示中に設定を変えたいときは、ロータリーマルチセレクターとOKボタンを使います。

ロータリーマルチセレクター

撮影時（AE-L/AF-L）

AEロック（□136）/
フォーカスロック（□167）を行う

メニュー操作時（▲）

上の項目を選ぶ

撮影時（連写/セルフタイマー）

連写とセルフタイマーのメニューを表示（□61）

メニュー操作時（◀）

前の画面に戻る

選択を決定

撮影時（露出補正）

露出補正のメニューを表示（□66）

メニュー操作時（▶）

次の画面に進む（選択を決定）

撮影時（⚡）

フラッシュモードのメニューを表示（□67）

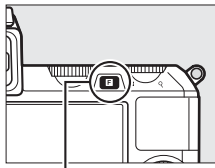
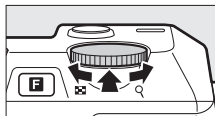
メニュー操作時（▼）

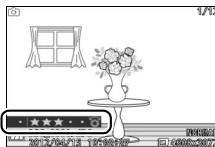
下の項目を選ぶ

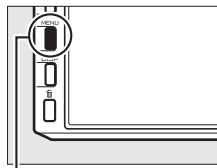
ロータリーマルチセレクターを回す

ロータリーマルチセレクターを回して項目を選ぶこともできます。

Fフィーチャーボタン

各撮影モード特有の設定を変えるには、Fボタンを使います。Fボタンを押すとメニューが表示されます。コマンドダイヤルを回して項目を選び、コマンドダイヤルを押し込んで決定します。

Fボタン

撮影モード	内容	📖
オートモード	「ライブコントロール」で、撮影する静止画の効果を液晶モニターで確認しながら調整します。 •［**明暗差を調整する**］•［**背景をぼかす**］ •［**動きを表現する**］•［**明るさを変える**］	26
P、S、A、M モード	次の撮影メニューの設定を変更できます。 •［**測光モード**］•［**ホワイトバランス**］ •［**ISO感度設定**］•［**Picture Control**］ •［**フォーカスモード**］•［**AFエリアモード**］	31
ベストモーメントキャプチャーモード	ベストモーメントキャプチャーの機能を選択できます。 •［**スロービュー**］•［**スマートフォトセレクター**］	43
アドバンスト動画モード	アドバンスト動画の機能を選択できます。 •［**HD動画**］•［**スローモーション**］	51
モーションスナップショットモード	「テーマ」を選択できます。 •［**きらめき**］•［**やすらぎ**］ •［**ゆらめき**］•［**愛らしさ**］	59

- 再生時にFボタンを押すと、撮影した画像にレーティング（重要度）を設定できます（📖89）。
- コマンドダイヤルのかわりにロータリーマルチセレクターで項目を選び、OKボタンを押して決定することもできます。

MENUメニューボタン

MENUボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。再生や撮影、カメラの基本的な設定をするときは、主にメニュー画面を使います。

MENUボタン

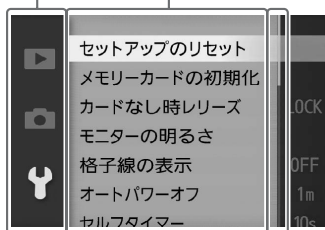
メニュー切り換えアイコン

画面左端のアイコンを選んで、メニューを切り換えます。

アイコン	メニュー
▶	**再生メニュー（□115）**
📷、P、S、A、M、[icon]、[icon]、[icon]	**撮影メニュー（□125）**
Y	**セットアップメニュー（□173）**

メニュー項目

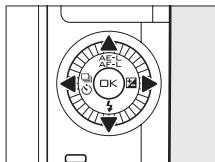
メニュー内にある設定項目を一覧表示します。

セットアップのリセット
メモリーカードの初期化
カードなし時レリーズ　LOCK
モニターの明るさ
格子線の表示　OFF
オートパワーオフ　1m
セルフタイマー　10s

項目がそのメニュー全体のどの位置にあるかを示しています。

メニューについて

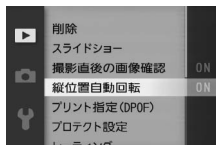
- 撮影モードやカメラの状態によって、表示されるメニュー項目は異なります（□197）。
- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目はグレーで表示されて選べません（□197）。
- メニュー画面から撮影に戻るには、シャッターボタンを半押し（□24）してください。

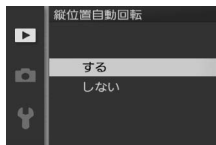
■ メニューの操作方法

メニュー画面は、ロータリーマルチセレクター（□8）で操作します。

1 ロータリーマルチセレクターの▲▼でアイコンを選び、▶を押す

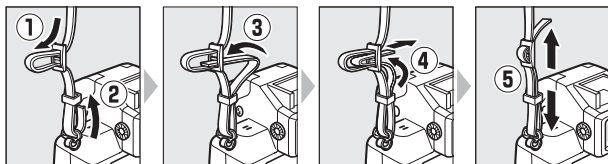
- メニュー内にある項目が一覧表示されます。

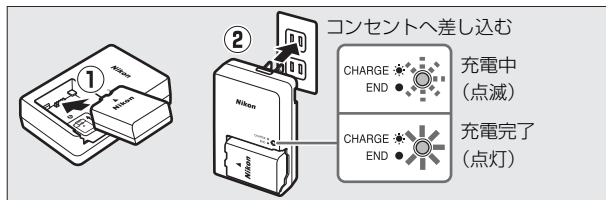
2 ▲▼で設定したい項目を選び、▶を押す

- 選んだ項目の設定内容が一覧表示されます。

3 ▲▼で設定したい項目を選び、Ⓞを押す

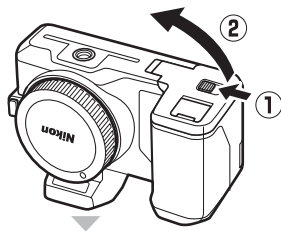
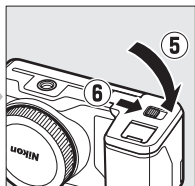
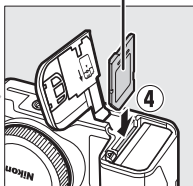
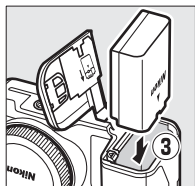
- 選んだ内容が決定されます。

撮影前の準備

ストラップを取り付ける

次のようにストラップをカメラに取り付けます（2カ所）。

バッテリーを充電する

付属のLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL21は、お使いになる前に付属のチャージャー MH-28で次のようにフル充電してください。充電には約2時間かかります（残量の無いバッテリーの場合）。

充電が完了したら、チャージャーをコンセントから抜き、バッテリーを取り外します。

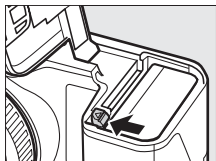
カメラにバッテリーとSDカードを入れる

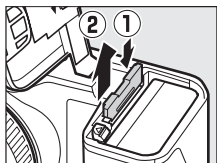
バッテリーとSDカードを入れる向きに注意してください。

- オレンジ色のバッテリーロックレバーをバッテリー側面で押しながら、バッテリーを奥まで差し込むと、オレンジ色のバッテリーロックレバーで固定されます（③）。
- SDカードはカチッと音がするまで挿入してください（④）。

☑ バッテリーやSDカードを出し入れするときは

バッテリーやSDカードをカメラに入れたり、カメラから取り出したりするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。

バッテリーを取り出すときは

電源をOFFにしてから、バッテリー/SDカードカバーを開けてください。オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押すと、バッテリーが少し飛び出しますので、引き抜いて取り出してください。

SDカードを取り出すときは

電源をOFFにしてからSDカードアクセスランプ（□3）の消灯を確認し、バッテリー/SDカードカバーを開けてください。SDカードを奥に押し込むと（①）、カードが押し出されるので、引き抜いて取り出してください（②）。

バッテリーとチャージャーの使用上のご注意

- お使いになる前に、必ず「安全上のご注意」（□xi～xvii）、「カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意」（□192～196）をお読みになり、記載事項をお守りください。
- チャージャー MH-28に対応していないバッテリーは、チャージャー MH-28で充電しないでください。
- チャージャーの「CHARGE」ランプが速く点滅する場合は、バッテリーの異常です。ただちにチャージャーをコンセントから抜いて、充電を中止してください。販売店またはニコンサービス機関にチャージャーおよびバッテリーをお持ちください。
- 充電中にチャージャーをゆすったり、充電中のバッテリーに触れたりすると、振動や静電気の影響により、きわめてまれではありますが、未充電にもかかわらず充電完了表示になる場合があります。このような場合にはバッテリーを取り外し、再度セットして充電を再開してください。
- チャージャーを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- チャージャーの端子をショートさせないでください。発熱、破損の原因となります。
- カメラの使用後は、バッテリーが熱くなっていることがあります。取り出しの際はご注意ください。

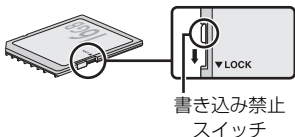
☑ SDカード取り扱い上のご注意

- カメラの使用後は、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出しの際はご注意ください。
- SDカードの初期化中や画像の記録または削除中、パソコンとの通信時などには、次の操作をしないでください。記録されているデータの破損やSDカードの故障の原因となります。
  - SDカードの着脱をしないでください
  - カメラの電源をOFFにしないでください
  - バッテリーを取り出さないでください
  - ACアダプターを抜かないでください
- 端子部に手や金属で触れないでください。
- 無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。
- 曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 熱、水分、直射日光を避けてください。
- パソコンで初期化しないでください。

SDカードの書き込み禁止スイッチについて

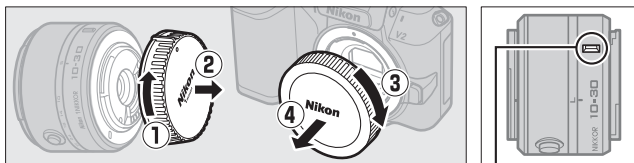
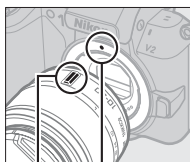
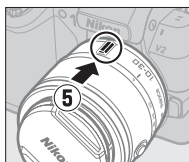
- SD カードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このスイッチを「LOCK」の位置にすると、データの書き込みや削除が禁止され、カード内の画像を保護できます。

書き込み禁止スイッチ

- 「LOCK」したSDカードをカメラに入れてシャッターをきろうとしても、撮影できません。撮影時や、画像を削除するときは「LOCK」を解除してください。

SDカードの初期化（フォーマット）

このカメラに初めて入れるSDカードや、他のカメラやパソコンで初期化されたSDカードは、セットアップメニュー［**メモリーカードの初期化**］で、画面の指示に従って初期化してください（□175）。**SDカードを初期化すると、カード内のデータは全て削除されます。**必要なデータがある場合は、初期化する前にパソコンなどに保存してください（□93、97）。

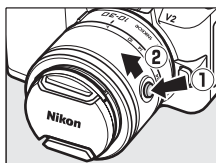
レンズを取り付ける

ほこりなどがカメラ内部に入らないように注意してください。

レンズの指標

カメラの指標
レンズの指標

カメラの指標とレンズの指標を合わせてレンズを取り付け、カチッと音がするまで矢印の方向にレンズを回す

- この活用ガイドでは、主に1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6のレンズを使用して、説明しています。
- レンズの手ブレ補正機能（VR）については、0159をご覧ください。

ズームリングボタンの付いたレンズをお使いの場合

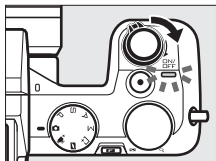
ズームリングボタンの付いたレンズは、沈胴状態では撮影できません。

- ズームリングボタンを押しながら（①）ズームリングを矢印の方向に回します（②）。ズームリングのロックが解除され、レンズが繰り出します。
- 収納するときは、ズームリングボタンを押しながら、ズームリングを逆方向に回します。レンズが鏡筒に収まり、ズームリングがロックされます。
- レンズ着脱時は、ズームリングボタンを押さないよう、ご注意ください。

レンズを取り外すには

レンズの取り外し方については、「レンズを取り外すには」（0224）を参照してください。

カメラの電源をONにする

電源スイッチを回してカメラの電源をONにします。

- 電源ランプ（緑色）が一瞬点灯した後、液晶モニターが点灯します。
- もう一度電源スイッチを回すと、電源がOFFになります。電源がOFFになると、液晶モニターが消灯します。
- 撮影する前に、レンズキャップを外してください。

節電機能について（オートパワーオフ）

カメラを操作しない状態が約1分間続くと、液晶モニターが自動的に消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。そのまま約3分経過すると、電源が自動的にOFFになります。

- 待機状態（電源ランプが点滅）を解除するには、ボタンや撮影モードダイヤルなどを操作してください。
- 待機状態になるまでの時間は、セットアップメニュー［**オートパワーオフ**］（□177）で変更できます。

レンズの取り付け、取り外しをするときは

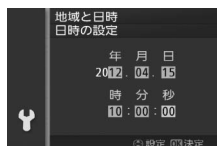
レンズの取り付け、取り外しをするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。電源をOFFにすると、撮像素子を保護するために絞りが遮光状態になります。

ズームリングボタンの付いたレンズ（□17）をお使いの場合

- ズームリングのロックを解除すると、電源がONになります。
- 次の場合にズームリングをロックすると、電源がOFFになります。
  - 液晶モニターに撮影画面が表示されている場合
  - 液晶モニターが消灯し待機状態の場合（1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6または1 NIKKOR VR 30-110mm f/3.8-5.6レンズをお使いの場合、レンズのファームウェアがVer.1.10以降である必要があります。ファームウェアのバージョンアップ方法については、当社のホームページなどでご確認ください）

日付と時刻を合わせる

ご購入後、初めて電源をONにすると、カメラの内蔵時計の日付と時刻を設定する画面が表示されます。日時の設定が完了するまで、撮影や他の設定はできません。

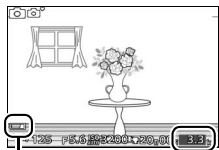
- ロータリーマルチセレクターの ▲ または ▼ を押して、選択中の項目の数値を合わせます。
- ▶を押して、次の項目に移動します。◀を押すと元の項目に戻ります。
- Ⓞ ボタンを押すと、日付と時刻の設定を完了し、撮影画面が表示されます。

セットアップメニュー［地域と日時］

設定した日付と時刻は、セットアップメニュー［**地域と日時**］（□180）の［**日時の設定**］で変更できます。［**地域と日時**］では、［**日時の設定**］の他に、［**現在地の設定**］（現在地のタイムゾーン）、［**日付の表示順**］、［**夏時間の設定**］を設定できます。

カメラの内蔵時計について

- カメラの内蔵時計は、一般的な時計（腕時計など）ほど精度は良くありません。定期的に日時設定を行うことをおすすめします。
- カメラの内蔵時計は、バッテリーとは別の時計用電池で作動します。カメラにバッテリーを入れるか、別売のパワーコネクターEP-5DとACアダプターEH-5bを接続すると（□189）、時計用電池が充電されます。フル充電するには約3日間かかります。充電すると、約1カ月の間時計を動かすことができます。液晶モニターに［**時計がリセットされました。**］と表示された場合は、内蔵時計の設定が初期化されているため、撮影日時が正しく記録されません。もう一度日時設定を行ってください。

バッテリーの残量とSDカードの記録可能コマ数を確認する

液晶モニターでバッテリーの残量と、SDカードの記録可能コマ数（これから撮影できるコマ数）を確認します。

バッテリー残量

液晶モニター表示	意味
表示なし	残量は充分に残っています。詳細表示（□5）の場合は、残量に応じてまたはが表示されます。
	残量は残りわずかです。予備のバッテリーを準備するか、バッテリーを充電してください。
撮影できません。バッテリーを交換してください。	バッテリーが消耗して撮影できません。バッテリーを交換するか、バッテリーを充電してください。

記録可能コマ数

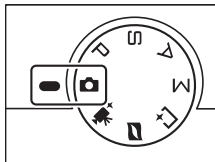
SDカードの記録可能コマ数（これから撮影できるコマ数）が、液晶モニターに表示されます。

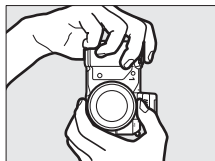
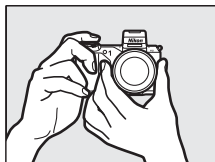
- 記録可能コマ数が1000コマ以上あるときは「k」マークが点灯します。「k」は1000を意味しており、たとえば1260コマ撮影できるときは、「1.2k」と表示されます。
- メモリーカードの空き容量が不足しているというメッセージが表示された場合は、不要な画像を削除するか（□88）、別のSDカードに交換してください。

オートモード

オートモードは、カメラまかせで静止画や動画を撮影できます。カメラが撮影シーンや被写体を自動的に判別し、最適な設定で撮影します。

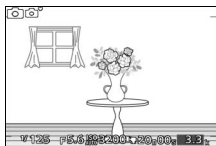
静止画を撮影する

1 撮影モードダイヤルを📷に合わせる

2 カメラを両手でしっかりと構える

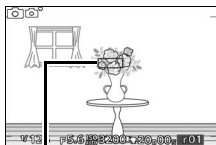
- レンズやAF補助光、マイクなどに、指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。
- 人物などを縦位置で撮影する場合は、カメラを縦位置に構えます。
- 暗いときは、手ブレしやすいのでフラッシュ（□67）や三脚の使用をおすすめします。

設定できる機能について

オートモードで設定できる機能については、「設定できる機能一覧」（□197）を参照してください。

3 構図を決める

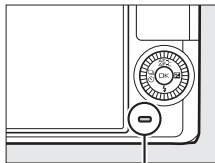
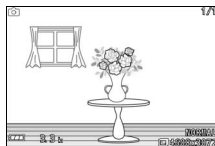
- 被写体を画面の中央付近に配置します。

4 シャッターボタンを軽く押して（半押しして）、被写体にピントを合わせる

AFエリア

- ピントが合うと、ピピッという電子音が鳴り、AFエリアが緑色に点灯します（被写体が動いているときは、電子音が鳴らない場合があります）。
- AFエリアが赤く表示されたときは、オートフォーカスでのピント合わせができません。「オートフォーカスの苦手な被写体」（□162）をご覧ください。
- 暗い場所などでは、AF補助光（□161）が光ることがあります。

5 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込んで（全押しして）、撮影する

SDカード
アクセスランプ

- シャッターがきれ、画像がSDカードに記録されます。
- SDカードアクセスランプが点灯している間は、画像を記録しています。**SDカードやバッテリーを取り出したり、ACアダプター（別売）を取り外さないでください。**

- 撮影が終了すると、撮影した画像が液晶モニターに数秒間、表示されます。
- 画像の表示中でもシャッターボタンを半押しすると、すぐに次の撮影ができます。

画像を連続して撮影するには

再生メニューの［**撮影直後の画像確認**］（□117）を［**しない**］に設定し、全押しした後に半押しした状態まで戻して再度シャッターボタンを全押しすると、連続して撮影できます。

シャッターボタンの半押し

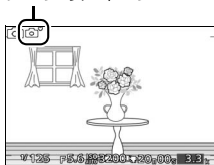
シャッターボタンは、2段階に押し込むようになっています。シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「**シャッターボタンを半押しする**」といいます。そのまま深く押し込む（これを「**シャッターボタンを全押しする**」といいます）と、シャッターがきれます。

半押し　　全押し

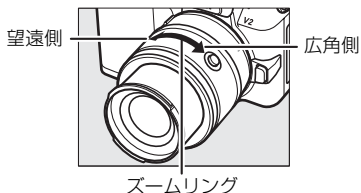
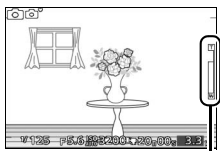
シーンの自動判別について

オートモードでは、カメラが撮影シーンや被写体を自動的に判別し、最適な設定で撮影します。

- 液晶モニターの左上に、カメラが選んだシーンのアイコンが表示されます。

シーンのアイコン

	ポートレート	人物を認識した場合
	風景	自然の風景や町並みを認識した場合
	夜景ポートレート	夕景や夜景をバックに人物を認識した場合
	クローズアップ	近接位置の被写体を認識した場合
	夜景	夕景や夜景を認識した場合
	オート	上記のシーンを認識しなかった場合

ズームレンズの使い方

被写体を大きく写したいときはズームリングを望遠側（焦点距離目盛の大きい数値側）に、広い範囲を写したいときはズームリングを広角側（焦点距離目盛の小さい数値側）に回してください。

- パワードライブズームスイッチの付いたレンズ（別売）をお使いの場合、被写体を大きく写したいときはパワードライブズームスイッチを望遠（T）側に、広い範囲を写したいときは広角（W）側にスライドさせてください。スライドさせる量に応じて、ズームの速度が変わります。ズーム位置は液晶モニターのズーム移動ガイドで確認できます。

人物を撮影する場合のピント合わせ（顔認識）

カメラが人物の顔（正面）を認識すると、AFエリアが黄色の二重枠に変わります。複数の顔を認識した場合（最大5人まで）は、カメラが最も近いと判断した人物の顔を二重枠で表示します。

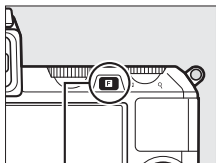
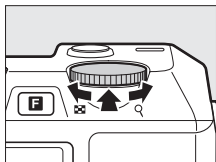
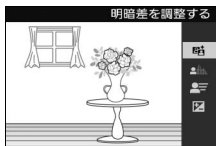
- シャッターボタンを半押しすると、二重枠で囲まれた人物の顔にピントを合わせます。

- 途中で顔が横を向くなどしてカメラが顔を見失うと、枠が消えます。

ライブコントロールで静止画を撮影する

オートモードでFボタンを押すと、[ライブコントロール]メニューが表示されます。ライブコントロールを使用すると、効果を確認しながら静止画を撮影できます。

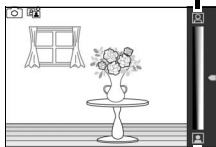
Fボタン

- コマンドダイヤルを回して項目を選び、コマンドダイヤルを押し込むと、設定画面が表示されます。
- 設定画面でコマンドダイヤルを回すと、効果の度合いを調整できます。
- 再度Fボタンを押すと、ライブコントロールが解除されます。

コマンドダイヤル

[明暗差を調整する]：

ハイライト部の白とびを抑え、シャドー部の黒つぶれを軽減してコントラストを調整します。

効果の度合い強め

効果の度合い弱め

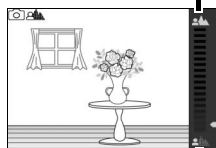
効果の度合い強め

効果の度合い弱め

ライブコントロール設定時のご注意

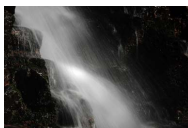
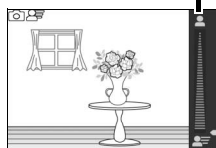
- [**連写とセルフタイマー**]（□61）を連写（連写）に設定していても、S（単写）として動作します。
- 内蔵フラッシュと別売のスピードライトは発光しません。

[背景をぼかす]：

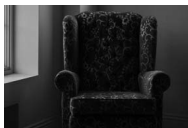
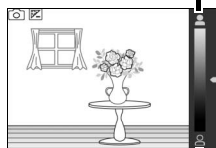
被写体周辺部のぼかしの度合いを調整します。メインとなる被写体を浮き立たせた写真を撮影したり、近くから遠くまでピントのあった写真を撮影したりできます。

背景をくっきり

背景をぼかす

[動きを表現する]：

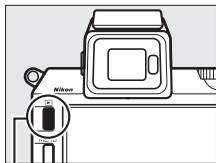
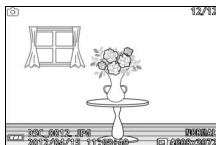
被写体の動きを強調する度合いを調整します。動きの速い被写体を止まっているように撮影したり、被写体の動きを強調して撮影したりできます。

動きを止める

動きを強調する

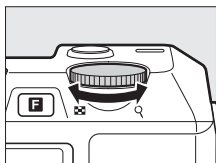
[明るさを変える]：

画像全体の明るさを調整します。

明るくする

暗くする

撮影した静止画を確認する

▶ボタンを押して、画像を再生すると、最後に撮影した画像が液晶モニターに表示されます（1コマ表示モード）。

▶ボタン

- ロータリーマルチセレクターの◀または▶を押すかロータリーマルチセレクターを回すと、前後の画像を表示できます。

- コマンドダイヤルを右に回すと、表示中の画像を拡大します（□87）。
- コマンドダイヤルを左に回すと、複数の画像を一覧表示します（□84）。
- 撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。

コマンドダイヤル

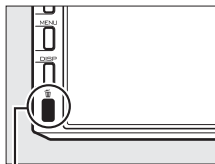
関連ページ

- 1コマ表示時に撮影情報の表示を切り換える →「**DISP**ボタン」（□5）
- 撮影した画像をスライドショーで自動的に再生する → ▶［**スライドショー**］（□90）

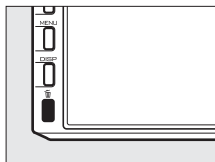
画像を削除する

表示中の画像を削除します。削除した画像は元には戻せないのでご注意ください。

1 削除したい画像を表示して、🗑ボタンを押す

- 削除確認画面が表示されます。

🗑ボタン

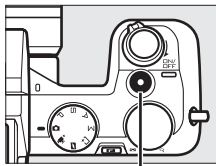
2 もう一度🗑ボタンを押して、表示中の画像を削除する

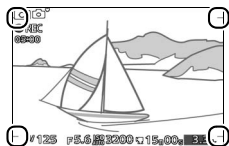
- 削除をやめるには、▶ボタンを押します。

再生メニュー［削除］

再生メニューの［**削除**］（📖88）では次の方法で、複数の画像を一度に削除できます：

- 複数の画像を選んで削除する：選択画像削除
- 同じ日付の画像をまとめて削除する：日付選択
- 全画像を一括で削除する：全画像削除

オートモードで動画を撮影する

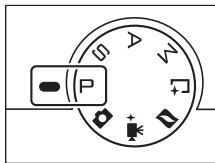
動画撮影ボタンを押すと、アスペクト比（横：縦）が16：9の音声付き動画の撮影を開始します。もう一度動画撮影ボタンを押すと、動画撮影を終了します。動画の再生方法については、□55をご覧ください。

動画撮影ボタン

- オートモードの撮影画面では、動画が記録される範囲を示すガイドが表示されます。

動画撮影中の静止画撮影について

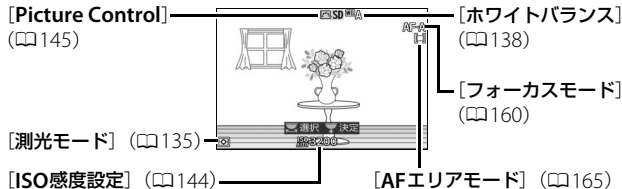
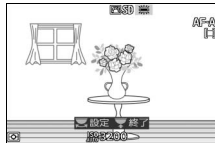
オートモードでの動画撮影中にシャッターボタンを全押しすると、静止画を撮影します。静止画を記録している間も、動画撮影は継続します。

P、S、A、Mモード

P、S、A、Mモードを使う

P、S、A、Mモードでは、撮影の意図に応じて、シャッタースピードと絞り値のそれぞれを自分で設定したり、カメラまかせにしたりすることができます。

■ 撮影時の設定を変更する

P、S、A、Mモードで🅵ボタンを押すと、撮影画面で機能の設定を変更できます。

- コマンドダイヤルを回すと、次の項目を選択できます。

- コマンドダイヤルを押し込んだ後、コマンドダイヤルを回すと設定を変更できます。
- 再度コマンドダイヤルを押し込むと、設定が決定されて撮影画面に戻ります。

設定できる機能について

P、S、A、Mモードで設定できる機能については、「設定できる機能一覧」（□197）を参照してください。

P プログラムオート

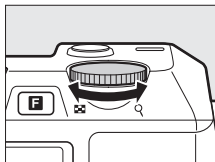
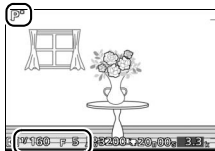
シャッターチャンスを逃したくないスナップなど幅広い撮影に適しています。被写体の明るさに応じて露出が適正になるように、カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に決定します。同じ露出でシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変える「プログラムシフト」も行えます。

プログラムシフト

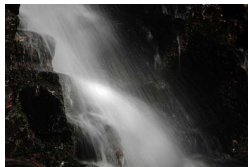
撮影モードPでは、カメラがシャッタースピードと絞り値を決めますが、次の方法で「プログラムシフト」を行うと、適正露出のまま、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えられます。プログラムシフト中は液晶モニターに✱マークが点灯します。

コマンドダイヤル

- 背景をぼかしたい（絞り値を小さくする）場合や動きの速い被写体を撮影したい（速いシャッタースピードにする）場合にはコマンドダイヤルを右に回します。

- 近くから遠くまでピントの合った写真を撮影したい（絞り値を大きくする）場合や被写体の動きを強調したい（遅いシャッタースピードにする）場合にはコマンドダイヤルを左に回します。
- プログラムシフトを解除するには、液晶モニターの ✱ マークが消灯するまで、設定したときと逆方向にコマンドダイヤルを回してください。電源をOFFにしたときやカメラが待機状態になったとき、他の撮影モードに切り換えたときも、プログラムシフトは解除されます。

S シャッター優先オート

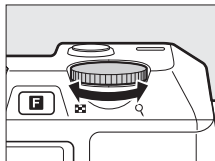
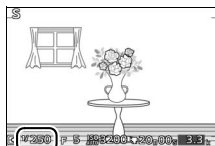
シャッタースピードを自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的に絞り値を決定します。動きの速い被写体の撮影や、遅いシャッタースピードで被写体の動きを強調する撮影に適しています。

速いシャッタースピードのとき
シャッタースピード：1/1600秒

遅いシャッタースピードのとき
シャッタースピード：1秒

シャッタースピードを設定する

コマンドダイヤル

- コマンドダイヤルを右に回すとシャッタースピードが速くなり、左に回すとシャッタースピードが遅くなります。
- シャッタースピードは、1/4000秒～30秒の範囲で設定できます。［**サイレント撮影**］を［**する**］に設定している場合(□131)、シャッター方式がエレクトロニックシャッターになり、1/16000秒～30秒の範囲で設定できます。※

※［**連写とセルフタイマー**］（□61）が連写（連写）で、撮影メニューの［**連写の設定**］（□131）を［**15fps**］、［**30fps**］または［**60fps**］に設定している場合は1/16000秒～1/60秒の範囲になります。

連写時のシャッタースピードについて

［**連写とセルフタイマー**］（□61）を連写（連写）に設定している場合、設定したシャッタースピードが変更される場合があります。

A 絞り優先オート

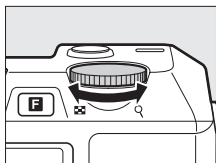
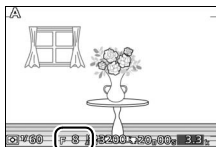
絞り値を自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的にシャッタースピードを決定します。絞りを開く（絞り値を小さくする）と、背景をぼかしてメインとなる被写体を浮き立たせた写真を撮影できます（例：ポートレート写真）。絞りを絞り込む（絞り値を大きくする）と、近くから遠くまでピントのあった写真を撮影できます（例：風景写真）。

絞りを開いたとき
（絞り値が小さいとき）
絞り値：F5.6

絞りを絞り込んだとき
（絞り値が大きいとき）
絞り値：F16

PS
AM

絞り値を設定する

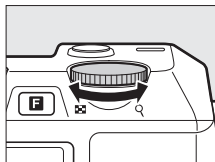
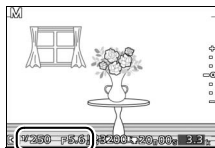
- コマンドダイヤルを右に回すと絞りが絞り込まれ（絞り値が大きくなり）、左に回すと絞りが開き（絞り値が小さくなり）ます。
- 設定できる最小絞り、開放絞りはレンズによって異なります。

コマンドダイヤル

M マニュアル

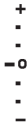
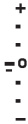
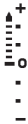
シャッタースピードと絞り値の両方を自分で決定します。花火や星空などを長時間露出（バルブ、タイム）撮影（□37）を行う場合にもこのモードを使います。

▌▌露出インジケーター（□36）を確認しながら、シャッタースピードと絞り値を設定する

シャッタースピードの設定：

コマンドダイヤル

- コマンドダイヤルを右に回すとシャッタースピードが速くなり、左に回すとシャッタースピードが遅くなります。
- シャッタースピードは、1/4000秒～30秒またはBulb（□37）の範囲で設定できます。［**サイレント撮影**］を［**する**］に設定している場合（□131）、シャッター方式がエレクトロニックシャッターになり、1/16000秒～30秒またはBulbの範囲で設定できます。※
  ※［**連写とセルフタイマー**］（□61）が□（連写）で、撮影メニューの［**連写の設定**］（□131）を［**15fps**］、［**30fps**］または［**60fps**］に設定している場合は1/16000秒～1/60秒の範囲になります。

絞り値の設定：

- ロータリーマルチセレクターを時計回りに回すと絞りが絞り込まれ（絞り値が大きくなり）、反時計回りに回すと絞りが開き（絞り値が小さくなり）ます。
- 設定できる最小絞り、開放絞りはレンズによって異なります。

連写時のシャッタースピードについて

［**連写とセルフタイマー**］（□61）を□（連写）に設定している場合、設定したシャッタースピードが変更される場合があります。

PS AM

露出インジケーターについて

設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせによる露出値と、カメラが測光した露出値との差が、液晶モニターに表示されます。この「露出インジケーター」の見方は次の通りです。

露出インジケーター	内容
+ ・ ・ 0 ・ ・ −	適正露出
+ ・ ・ 0 ・ ・ − （1/3段アンダー）	インジケーターが－側に振れているときは画像が適正露出よりも暗いことを意味しています。
+ ・ ・ 0 ・ ・ − （2段以上オーバー）	インジケーターが＋側に振れているときは画像が適正露出よりも明るいことを意味しています。

- 長時間露出（バルブ、タイム）撮影時（□37）は、露出インジケーターは表示されません。

PS AM

長時間露出で撮影する（M マニュアルのみ）

長時間露出撮影には、バルブ撮影とタイム撮影の2種類があります。花火や夜景、星空の撮影や、自動車のライトの流れを表現したいときなどに使います。長時間露出撮影には、手ブレを抑えるために三脚や別売のリモコンML-L3（□185）が必要です。

バルブ撮影	シャッターボタンを押し続けている間シャッターが開いたままになり、シャッターボタンを放すとシャッターが閉じます。
タイム撮影	別売のリモコンML-L3を使用します。リモコンの送信ボタンを一度押すとシャッターが開いたままになり、もう一度押すとシャッターが閉じます。

1 撮影モードをMにして、シャッタースピードを設定する

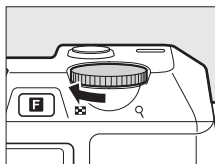
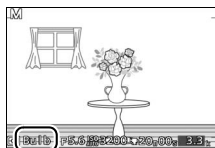
コマンドダイヤル

バルブ撮影：

- コマンドダイヤルを左に回して、シャッタースピードをBulbに設定します。

タイム撮影：

- コマンドダイヤルを左に回してシャッタースピードをBulbにしてから、［**連写とセルフタイマー**］（□61）を（リモコン）に設定してください。シャッタースピードの表示がTimeに変わります。

PS AM

2 ピントを合わせて、長時間露出撮影を開始する

バルブ撮影：

- シャッターボタンを全押しして、長時間露出撮影を開始します。シャッターボタンは押し続けてください。

タイム撮影：

- リモコンの送信ボタンを押すと、2秒後または瞬時にシャッターが開き、長時間露出撮影を開始します。

3 長時間露出撮影を終了する

バルブ撮影：

- シャッターボタンを放すと、長時間露出撮影は終了します。

タイム撮影：

- リモコンの送信ボタンをもう一度押すと、長時間露出撮影を終了します。

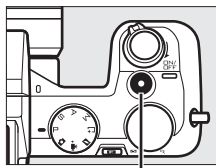
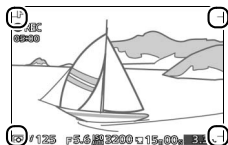
PS
AM

長時間露出について

- バルブ撮影時もタイム撮影時も、シャッターは開いてから約 2 分経つと自動的に閉じます。
- 遅いシャッタースピードで撮影する場合は、画像を記録するまでの時間が長くなることがあります。
- 露光時間が長くなると、画像にノイズ（ざらつき、むら、輝点）が発生することがあります。このノイズは、あらかじめ［**長秒時ノイズ低減**］（□157）を［**する**］にしておくことで低減できます。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリー EN-EL21、または別売のパワーコネクター EP-5DとACアダプター EH-5bを組み合わせてお使いになることをおすすめします。

P、S、A、Mモードで動画を撮影する

動画撮影ボタン

動画撮影ボタンを押すと、アスペクト比（横：縦）が16：9の音声付き動画の撮影を開始します。もう一度動画撮影ボタンを押すと、動画撮影を終了します。動画の再生方法については、□55をご覧ください。

- S、A、Mモードに設定していても、Pモードとして動画が撮影されます。露出モードを設定して動画を撮影したい場合は、アドバンスト動画モード（□49）を使用してください。
- P、S、A、Mモードの撮影画面では、動画が記録される範囲を示すガイドが表示されます。

PS
AM

動画撮影中の静止画撮影について

P、S、A、Mモードでの動画撮影中にシャッターボタンを全押しすると、静止画を撮影します。静止画を記録している間も、動画撮影は継続します。

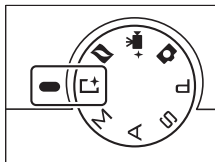
ベストモーメントキャプチャーモード

シャッターチャンスが難しいシーンの撮影に適しています。ゆっくりと連続表示される静止画の中からベストショットを選べる「スロービュー」、またはシャッターをきると、動きや構図が最適な画像をカメラが自動で選ぶ「スマートフォトセレクター」を選択して撮影できます。

スロービューで撮影する

スロービューを使うと、動きのあるシーンでも液晶モニター上でゆっくりと表示されるため、決定的な瞬間を逃さずに撮影できます。

- シャッターボタンを半押しすると、40コマ（約1.3秒間）の静止画を一時的に記録します。シャッターボタンを半押ししている間、一時的に記録した静止画がゆっくりと繰り返して連続表示されます。
- シャッターをきると、そのコマが静止画として記録されます。

1 撮影モードダイヤルを[ベストモーメントキャプチャー]に合わせる

設定できる機能について

ベストモーメントキャプチャーモードで設定できる機能については、「設定できる機能一覧」（□197）を参照してください。

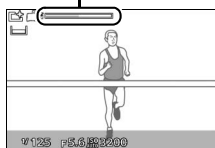
2 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。

3 シャッターボタンを半押しする

- 被写体に自動的にピントが合います(□22)。
- ピントが合うと、40コマ（約1.3秒）の静止画を一時的に記録します。

4 シャッターボタンを半押ししたままにする

- 一時的に記録した静止画が、約6秒間かけてゆっくりと繰り返して連続表示されます。
- シャッターボタンを半押ししている間、スロービュープログレスバーが表示されます。

キャプチャーイルミネーターについて

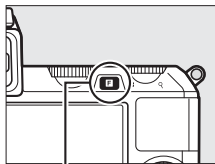
別売のスピードライトSB-N5の装着時には、ピントが合うとスピードライトのキャプチャーイルミネーターが約1.3秒間照射されます（□74）。半押ししたまま約1.3秒が過ぎると、キャプチャーイルミネーターが消灯します。

5 シャッターボタンを全押しして撮影する

- シャッターボタン全押ししたときの静止画だけが記録されます。一時記録されていた静止画は削除されます。
- シャッターボタンを全押しせずに指を放すと、静止画を記録せずに撮影画面に戻ります。一時記録されていた静止画も削除されます。

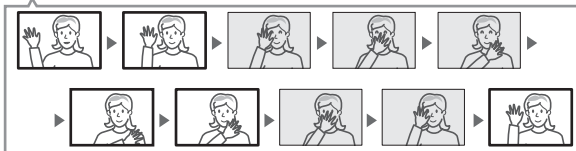
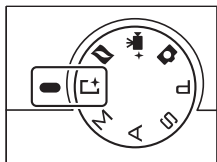
■ スロービューまたはスマートフォトセレクターを選ぶ

ベストモーメントキャプチャーモードでFボタンを押すと、[ベストモーメントキャプチャー] メニューが表示されます。コマンドダイヤルを回して項目を選び、コマンドダイヤルを押し込んで決定します。

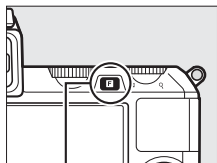
- [**スロービュー**]:スロービューで撮影します。
- [**スマートフォトセレクター**]:スマートフォトセレクターで撮影します（□44)。

Fボタン

スマートフォトセレクターで撮影する

スマートフォトセレクターは、振り向きざまの笑顔やパーティでの集合写真など、ベストショットの静止画をカメラまかせで気軽に撮影したいときに適しています。

- シャッターをきると、動きや構図が最適な画像をカメラが自動で選びます。初期設定では、ベストショットと候補の合計5コマの静止画が記録されます。

1 撮影モードダイヤルを⬚に合わせる

2 ベストモーメントキャプチャーモードを［スマートフォトセレクター］に設定する

Fボタン

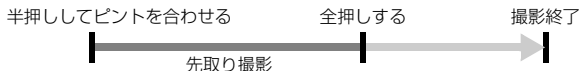
- F（フィーチャー）ボタンを押すと表示される［ベストモーメントキャプチャー］メニューで［**スマートフォトセレクター**］を選んでコマンドダイヤルを押し込むと、スマートフォトセレクターの撮影画面が表示されます。

3 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。

4 シャッターボタンを半押しして、シャッターチャンスを待つ

- 被写体に自動的にピントが合います(□22)。
- シャッターボタンの半押し中は、カメラが先取り撮影を行います(液晶モニターにアイコンが表示されます)。
- シャッターボタンを半押ししている間、カメラは被写体の動きに合わせてピントを合わせ続けます。

先取り撮影について

シャッターボタンを半押ししてから全押しするまでの間、先取り撮影を行います(最大約90秒間)。

半押ししてピントを合わせる　全押しする　撮影終了

先取り撮影

キャプチャーイルミネーターについて

別売のスピードライトSB-N5の装着時には、ピントが合うとスピードライトのキャプチャーイルミネーターが約6秒間照射されます(□74)。半押ししたまま約6秒が過ぎると、キャプチャーイルミネーターが消灯し、先取り撮影を停止します。

5 シャッターチャンスが来たら、シャッターボタンを全押しして撮影する

- シャッターがきれ、シャッターボタン全押しの前後に撮影したベストショットと候補の静止画をカメラが選んで、合計5コマ記録します。
- 全ての画像を記録し終えるまで、時間がかかる場合があります。
- 撮影が終了すると、ベストショットの1コマが液晶モニターに数秒間表示されます。

スマートフォトセレクター画像の管理ファイルについて

SDカード内の「NCFL」フォルダーにある「NCSPSLST.LST」ファイルを削除したり、スマートフォトセレクター画像として記録されている静止画のファイル名を変更したりしないでください。カメラで画像を再生した場合にスマートフォトセレクター画像と認識されず、通常の静止画として5枚すべてが表示されます。

関連ページ

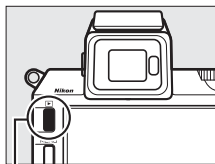
スマートフォトセレクターで記録する枚数を変更する → 〔**画像の保存枚数**〕（131）

撮影したスマートフォトセレクター画像を確認する

▶ボタンを押して1コマ表示モード（□28）で画像を再生し、ロータリーマルチセレクターでスマートフォトセレクター画像を選びます（マークが表示されている画像です）。撮影した5コマの画像のうち、ベストショットのみが表示されます。

▶ボタン

- ベストショット候補の画像は表示されません。そのため、画像を切り換えるときに、コマ番号が抜けているように見えます。

- 撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。

▌ベストショットを自分で選ぶ

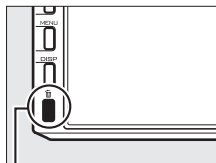
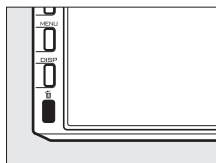
スマートフォトセレクター画像を表示して、Ⓞボタンを押すと、ベストショットの切り換え画面が表示されます。

- ロータリーマルチセレクターの◀または▶を押すと、ベストショット候補の画像を表示できます。
- 画像を選んでⓄボタンを押すと、選んだ画像がベストショットとして表示されます。
- ベストショットの切り換えをやめるには▶ボタンを押します。

スマートフォトセレクター画像を削除する

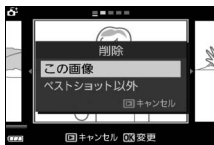
スマートフォトセレクター画像を表示して、🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。**もう一度🗑ボタンを押すと、スマートフォトセレクター画像を削除して、再生画面に戻ります。削除した画像は元には戻せないのでご注意ください。**

🗑ボタン

- ベストショットとベストショット候補の画像が削除されます。
- 削除をやめるには、▶ボタンを押します。

ベストショット以外の画像の削除について

ベストショットの切り換え画面（□47）で🗑ボタンを押すと、右のような画面が表示されます。次のいずれかを選んでⓞボタンを押します。

- ［**この画像**］：表示中の画像が削除されます（ベストショットが表示されている場合は削除できません）。
- ［**ベストショット以外**］：ベストショット候補の画像が削除されます。

確認画面で［**はい**］を選んでⓞボタンを押すと、選んだ画像を削除して再生画面に戻ります。

ベストモーメントキャプチャーモードについて

- 常にカメラが撮影シーンや被写体を自動的に判別して最適な設定で撮影します。
- 動画撮影ボタンを押しても、動画は撮影できません。
- 内蔵フラッシュを上げていても、フラッシュは発光しません。

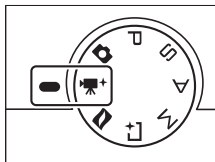
アドバンスト動画モード

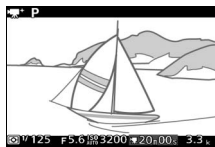
アドバンスト動画モードは、露出モードを設定した本格的なHD（High-Definition）動画を撮影したいときや、スローモーション動画（□52）を撮影したいときに適しています。動画は、動画撮影ボタンを押して撮影します。

HD動画を撮影する

アスペクト比（横：縦）が16：9の音声付きの動画を撮影できます。

1 撮影モードダイヤルを動画+に合わせる

- HD動画の撮影画面が表示されます。記録されるHD動画と液晶モニターのアスペクト比（横：縦）が異なるため、液晶モニターの上下の部分が黒く表示されます。

2 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。

設定できる機能について

アドバンスト動画モードで設定できる機能については、「設定できる機能一覧」（□199）を参照してください。

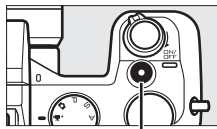
3 動画撮影ボタンを押して、撮影を始める

動画撮影ボタン

- 音声も同時に記録します。
- 動画撮影中は、録画中マークと経過時間が液晶モニターに表示されます。SDカードに記録できる残り時間の目安も確認できます。
- HD動画は最大約20分間撮影できます（初期設定）。
- 動画撮影中は、被写体にピントを合わせ続けます。ピントを合わせる動作音が気になる場合は、フォーカスモードを［**AF-S**］にして撮影してください（□160）。

録画中マーク/経過時間

残り時間

4 もう一度動画撮影ボタンを押して、撮影を終了する

動画撮影ボタン

動画撮影中に露出（明るさ）やフォーカスを固定するには

AE/AFロックボタン（ロータリーマルチセレクターのAE-L）を押すと、露出やフォーカスを固定（ロック）できます（AEロック □136、フォーカスロック □167）。

関連ページ

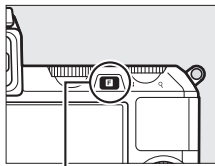
- 露出モードを設定する → 撮影メニュー［**露出モード**］（□128）
- HD動画の解像度とフレームレートを選ぶ → 動画メニュー［**動画の設定**］（□133）
- 内蔵マイクまたは別売のステレオマイクロホンME-1の感度の程度を設定する → 動画メニュー［**動画音声の設定**］の［**録音設定**］（□158）
- 動画の撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定する → 動画メニュー［**動画音声の設定**］の［**風切り音低減**］（□158）
- 蛍光灯や水銀灯などの光源下で発生する、画面のちらつきや横縞を低減する → セットアップメニュー［**フリッカー低減**］（□179）

HD動画の撮影中に静止画を撮影する

シャッターボタンを全押しすると、静止画を撮影します（アスペクト比（横：縦）は3：2）。静止画を記録している間も、動画撮影は継続します。

HD動画またはスローモーション動画を選ぶ

アドバンスト動画モードでFボタンを押すと、［アドバンスト動画］メニューが表示されます。コマンドダイヤルを回して項目を選び、コマンドダイヤルを押し込んで決定します。

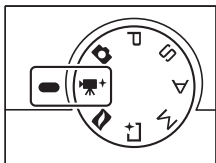
- ［**HD動画**］：HD動画を撮影します。
- ［**スローモーション**］：スローモーション動画を撮影します（52）。

ボタン

動画撮影中の静止画撮影について

- 1回の動画撮影中に撮影できる静止画は、最大20コマです。
- スローモーション動画撮影中は、静止画撮影できません。

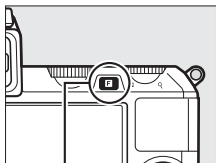
スローモーション動画を撮影する

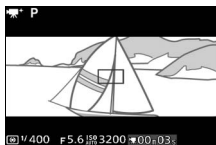
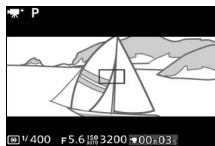
アスペクト比（横：縦）が8：3の音声なしのスローモーション動画を撮影できます。400コマ/秒の高速で記録した動画を約30コマ/秒で再生します。

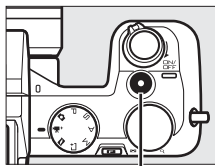
1 撮影モードダイヤルを（アドバンスト動画モード）に合わせる

2 アドバンスト動画を［スローモーション］に設定する

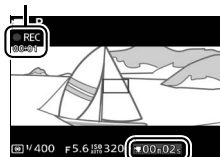
- F（フィーチャー）ボタンを押すと表示される［アドバンスト動画］メニューで［**スローモーション**］を選んでコマンドダイヤルを押し込むと、スローモーション動画の撮影画面が表示されます。

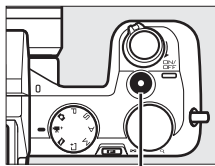
Fボタン

- 記録されるスローモーション動画と液晶モニターのアスペクト比が異なるため、液晶モニターの上下の部分が黒く表示されます。

3 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。

4 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせる

5 動画撮影ボタンを押して、撮影を始める

- 動画撮影中は、録画中マークと経過時間が液晶モニターに表示されます。SDカードに記録できる残り時間の目安も確認できます。
- スローモーション動画は最大約3秒間撮影できます。

動画撮影ボタン

録画中マーク/経過時間

残り時間

6 もう一度動画撮影ボタンを押して、撮影を終了する

動画撮影ボタン

> **関連ページ**
>
> スローモーション動画のフレームレートを変える → 動画メニュー［**撮影速度**］（□132）

動画撮影について

- スローモーション動画の場合、画面中央のAFエリア内の被写体にピントが合います。顔認識（□25）は行いません。
- スローモーション動画の撮影中は、露出やピントを変更できません。
- 使用しているSDカードの書き込み速度によっては、最長記録時間に満たないで撮影が自動的に終了する場合があります（□187）。
- （動画記録禁止）マークが表示されているときは、動画撮影できません。
- 1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。

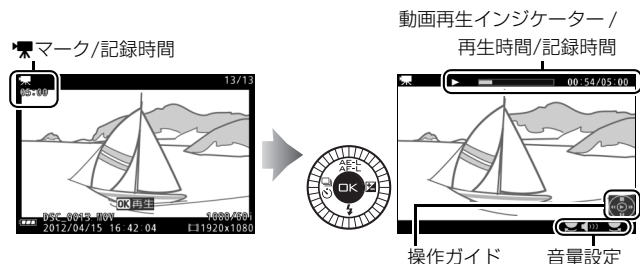
動画撮影時のご注意

- 動画撮影中の液晶モニターの表示に、次のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が発生する
  - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む
  - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む
  - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
  - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
- 次のような場合は、動画撮影は自動的に終了します。
  - 最長記録時間に達した場合（□133）
  - SDカードの残量がなくなった場合
  - レンズを取り外した場合
  - 撮影モードを切り換えた場合
  - カメラが熱くなった場合（□xx）
- 動画撮影時、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。
- カメラボディー前面にあるマイク（□2）を指などでふさがないようにしてください。音声が記録できない場合があります。
- カメラの動作音や操作音が録音されることがあります。

フリッカー低減について

- 蛍光灯や水銀灯などの光源下では、撮影するときの表示や撮影する動画にちらつきや横縞が生じることがあります。この現象を「フリッカー現象」といいます。セットアップメニューの［**フリッカー低減**］を、カメラをお使いになる地域の電源周波数に合わせて、［**50Hz**］または［**60Hz**］に設定してください。詳しくは、□179をご覧ください。
- セットアップメニューの［**フリッカー低減**］の設定によって、シャッタースピードの低速側の制限が異なります。［**50Hz**］の場合は1/100秒、［**60Hz**］の場合は1/60秒より速いシャッタースピードになります。

動画を再生する

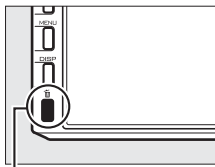
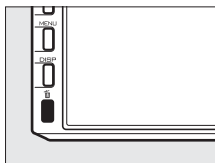
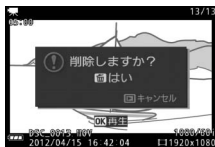
撮影した動画は、1コマ表示モード（□28）でOKボタンを押して再生します（マークが表示されている画像が動画です）。

- 動画再生時には次の操作を行えます。

一時停止する		ロータリーマルチセレクターの▼を押すと、一時停止します。
再生を再開する		一時停止中または早送り/巻き戻し中にOKボタンを押すと、動画再生を再開します。
巻き戻しする/早送りする	/	再生中に◀を押すと巻き戻し、▶を押すと早送りします。同じ方向のボタンを押すごとに、巻き戻し/早送りの速度が2倍、4倍、8倍、16倍に切り替わります。
コマ戻しする/コマ送りする		• 一時停止中に◀または▶を押すと、コマ戻し/コマ送りします。 • ◀ または ▶ を押し続けると連続でコマ戻し/コマ送りします。 • ロータリーマルチセレクターを回しても、コマ戻し/コマ送りできます。

音量を調節する		コマンドダイヤルを左右に回すと音量を調節できます。
再生を終了する		▲または▶ボタンを押すと、1コマ表示モードに戻ります。

動画を削除する

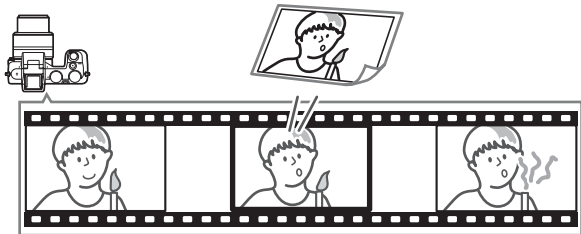
動画の表示中に🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。もう一度🗑ボタンを押すと、動画を削除します。**削除した画像は元には戻せないのでご注意ください。**

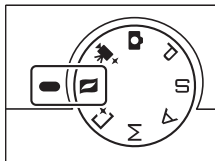
- 削除をやめるには、▶ボタンを押します。

🗑ボタン

関連ページ

動画の必要な部分だけを残す → ▶［**動画編集**］（□122）

モーションスナップショットモード

モーションスナップショットモードは、静止画撮影時に短い動画も一緒に残したいときに適しています。

- シャッターをきると、静止画と約 1.6 秒間の動画を撮影します。モーションスナップショット画像を再生すると、始めに動画がスローモーションで約4秒間再生され、続いて静止画が表示されます。モーションスナップショット画像の再生中は、BGMが約10秒間流れます。

モーションスナップショットで撮影する

1 撮影モードダイヤルを（モーションスナップショットモード）に合わせる

設定できる機能について

モーションスナップショットモードで設定できる機能については、「設定できる機能一覧」(□199) を参照してください。

2 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。

3 シャッターボタンを半押しする

- 被写体に自動的にピントが合います（□22）。
- シャッターボタンの半押し中は、カメラが先取り撮影を行います（液晶モニターにアイコンが表示されます）。

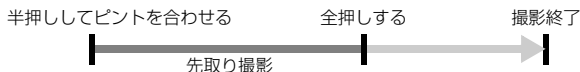
4 シャッターボタンを全押しして撮影する

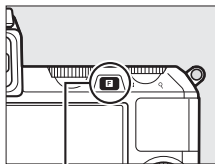
- 静止画と同時に、シャッターボタン全押しの前後約1.6秒間の動画を記録します。
- 全ての画像を記録し終えるまで、時間がかかる場合があります。
- 撮影が終了すると、撮影した画像が液晶モニターに数秒間、表示されます。

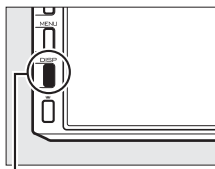
先取り撮影について

シャッターボタンを半押ししてから全押しするまでの間、先取り撮影を行います（最大約90秒間）。

半押ししてピントを合わせる　全押しする　撮影終了

先取り撮影

▮▮「テーマ」を選ぶ

モーションスナップショットモードでFボタンを押すと、[テーマ] メニューが表示されます。コマンドダイヤルを回して項目を選び、コマンドダイヤルを押し込んで決定します。[**きらめき**]、[**ゆらめき**]、[**やすらぎ**]、[**愛らしさ**] からお好みの「テーマ」を選ぶと、撮影時に設定した「テーマ」に合ったBGMが、モーションスナップショット画像の再生時に流れます。

Fボタン

- 「テーマ」選択画面でDISPボタンを押すと、BGMを確認できます。
- BGM 再生中にコマンドダイヤルを左右に回すと、音量を調整できます。

DISPボタン

モーションスナップショットモードについて

- 音声は記録されません。
- 動画撮影ボタンを押しても、動画は撮影できません。
- 内蔵フラッシュを上げていても、フラッシュは発光しません。
- 別売のスピードライトSB-N5の装着時には、ピントが合うとスピードライトのキャプチャーイルミネーターが約6秒間照射されます（□74）。半押ししたまま約6秒が過ぎると、キャプチャーイルミネーターが消灯し、先取り撮影を停止します。

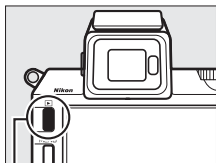
関連ページ

- 動画の最後の場面を静止画として撮影する → [**動画の前後比率**]（□134）
- 一般的な動画再生ソフトで再生できるファイル形式で保存する → [**ファイル形式**]（□135）

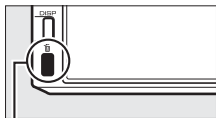
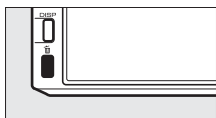
撮影したモーションスナップショット画像を確認する

▶ボタンを押して1コマ表示モード（□28）で画像を再生し、ロータリーマルチセレクターでモーションスナップショット画像を選びます（▱マークが表示されている画像です）。

▶ボタン

- ㊋ボタンを押すと、動画がスローモーションで約4秒間再生され、続いて静止画が表示されます。モーションスナップショット画像の再生中は、BGMが約10秒間流れます。
- 再生メニューの［**テーマの変更**］（□123）で「テーマ」を変更できます。
- 撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。

モーションスナップショット画像を削除する

モーションスナップショット画像を表示して、🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。**もう一度🗑ボタンを押すと、モーションスナップショット画像を削除して、再生画面に戻ります。削除した画像は元には戻せないのでご注意ください。**

- 静止画と動画の両方が削除されます。
- 削除をやめるには、▶ボタンを押します。

🗑ボタン

撮影の便利な機能

連写やセルフタイマー撮影、リモコン撮影をする

ロータリーマルチセレクターの（連写/セルフタイマー）を押すと、静止画撮影でシャッターをきるときの動作を設定できます。

S（単写）	1コマずつ撮影します。
（連写）	連続撮影します。1秒間に何枚連続撮影するかは撮影メニューの［**連写の設定**］（□131）で設定できます。
（セルフタイマー）（□63）	セルフタイマー撮影します。シャッターボタンを全押しした後、自動的にシャッターがきれます。
（リモコン）（□63）	リモコンの送信ボタンを押すと、シャッターがきれます。

連写で撮影する

連写（連続撮影）で撮影できます。

1 ロータリーマルチセレクターの（連写/セルフタイマー）を押す

- 液晶モニターに［**連写とセルフタイマー**］のメニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで🞐（連写）を選び、Ⓞボタンを押す

3 構図を決めて撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影します。

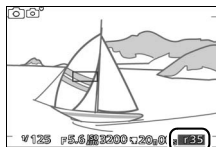
連続撮影可能コマ数について

撮影メニューの［**連写の設定**］（□131）が［**15fps**］の場合の連続撮影可能コマ数は約45コマ、［**30fps**］および［**60fps**］の場合は約40コマです。

連写（連続撮影）についてのご注意

- 撮影メニューの［**連写の設定**］（□131）を［**5fps**］に設定している場合、🞐（連写）に設定していても、内蔵フラッシュを上げているときはS（単写）として動作します。
- 撮影メニューの［**連写の設定**］（□131）を［**15fps**］、［**30fps**］または［**60fps**］に設定している場合、内蔵フラッシュを上げていても、フラッシュは発光しません。
- 撮影メニューの［**連写の設定**］（□131）を［**5fps**］に設定している場合はメカニカルシャッター、［**15fps**］、［**30fps**］または［**60fps**］に設定している場合はエレクトロニックシャッターで撮影します。ただし、［**サイレント撮影**］（□131）を［**する**］に設定している場合は、［**連写の設定**］の設定にかかわらずエレクトロニックシャッターで撮影されます。
- 次の場合は🞐（連写）を選べません。
  - ベストモーメントキャプチャーモード、アドバンスト動画モードまたはモーションスナップショットモードの場合
  - オートモードでライブコントロール機能（□26）を設定している場合
  - 撮影メニューの［**HDR**］（□156）を［**する**］に設定している場合
- 連続撮影が終了しても、SDカードの性能や撮影条件によっては、最大で1分間程度、SDカードアクセスランプが点灯し続ける場合があります（□23）。
- 連続撮影中にバッテリーの残量がなくなった場合は、連続撮影は中止され、撮影済みの画像データがSDカードに記録されて電源がOFFになります。

連続撮影可能コマ数の表示

- シャッターボタンを半押しすると、**r**と連続撮影可能コマ数（連続撮影速度を維持したまま続けて撮影できるコマ数）が、液晶モニターに表示されます。右図の場合、連続撮影速度を維持したままで、あと最低35コマ続けて撮影できることを示しています。
- 連続撮影は最大 100 コマまでできます。ただし、［**r00**］になったときは、連続撮影速度が低下します。
- 表示される連続撮影可能コマ数は、おおよその目安です。撮影条件によって増減することがあります。

関連ページ

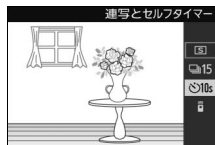
「1枚のSDカードに記録できるコマ数（静止画）と時間（動画）」（□202）

セルフタイマーまたはリモコンで撮影する

セルフタイマー撮影やリモコン撮影は、記念写真など、自分も一緒に写りたいときに便利です。リモコン撮影には、別売のリモコンML-L3（□185）が必要です。

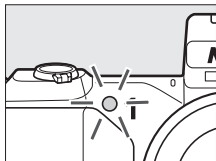
1 ロータリーマルチセレクターの（連写/セルフタイマー）を押す

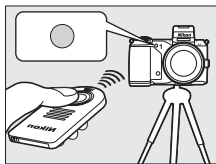
- 液晶モニターに［**連写とセルフタイマー**］のメニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで（セルフタイマー）または（リモコン）を選び、ボタンを押す

3 構図を決めて撮影を始める

- 撮影を始める前に、三脚などで固定してください。

セルフタイマー撮影の場合：

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、全押ししてください。タイマーが作動し、電子音が鳴り始め、セルフタイマーランプが点滅します。撮影2秒前になると点滅から点灯に変わり、電子音が鳴る間隔が短くなります。
- ピントが合っていないときなど、カメラのシャッターがきれない状態ではタイマーは作動しません。

リモコン撮影の場合：

- リモコン送信部をカメラの前面にあるリモコン受光部（□2）に向け、送信ボタンを押してください。カメラから5m以内の距離で操作してください。
- 手順2で🔲（リモコン）を選んでから、リモコン撮影をしないまま約10分間の受信待機時間が経過すると、リモコンモードが解除されます。

> **☑ リモコンML-L3を初めてお使いになるときのご注意**
>
> リモコンにはさんである透明の絶縁シートを引き抜いてください。
>
> **🖉 動画撮影時のセルフタイマー、リモコン撮影について**
>
> 動画をセルフタイマー撮影をするときは、シャッターボタンの代わりに動画撮影ボタンを使って動画の撮影を開始します。もう一度動画撮影ボタンを押すと、動画の撮影を終了します。リモコン撮影の場合、アドバンスト動画モード（□49）のときのみML-L3のシャッターボタンが動画撮影ボタンとして機能します。

4 シャッターがきれる

セルフタイマー撮影の場合：

- シャッターボタンを全押ししてから、セットアップメニューの［**セルフタイマー**］（□177）で設定した時間が過ぎると、シャッターがきれます。

リモコン撮影の場合：

- セットアップメニューの［**リモコン作動時間**］（□177）で［**2秒**］に設定している場合は、セルフタイマーランプが約2秒間点灯してからシャッターがきれます。
- セットアップメニューの［**リモコン作動時間**］（□177）で［**瞬時**］に設定している場合は、すぐにシャッターがきれ、撮影後にセルフタイマーランプが一瞬点灯します。
- ピントが合っていないときなど、カメラのシャッターがきれない状態では撮影できないことがあります。

セルフタイマー、リモコン撮影時のフラッシュについて

- 撮影を開始する前に ボタンを押して内蔵フラッシュを上げておくと、内蔵フラッシュを使った撮影ができます。セルフタイマーの作動中や、セットアップメニューの［**リモコン作動時間**］（□177）を［**2秒**］に設定してリモコンの送信ボタンを押した後にフラッシュを上げると、撮影は中止されます。
- リモコンの受信待機状態になるとフラッシュの充電が始まり、充電完了後にリモコンの送信ボタンを押すと発光します。フラッシュの充電中にリモコンの送信ボタンを押しても、カメラは反応しません。
- セットアップメニューの［**リモコン作動時間**］（□177）を［**瞬時**］に設定している場合、赤目軽減発光（□67）を組み合わせたフラッシュモードでは、赤目軽減ランプが約1秒間点灯してからシャッターがきれます。［**2秒**］に設定している場合、セルフタイマーランプが約2秒間点灯した後、赤目軽減のために赤目軽減ランプが約1秒間点灯してからシャッターがきれます。

セルフタイマー、リモコンモードの解除について

電源をOFFにすると、セルフタイマー、リモコンモードは解除されます。

関連ページ

リモコン撮影の受信待機時間を変更する → ［**リモコン待機時間**］（□178）

画像の明るさを調整する（露出補正）

露出補正とは、カメラが制御する適正露出値を意図的に変えることです。画像全体を明るくしたり、暗くしたいときなどに使います。

－1段補正

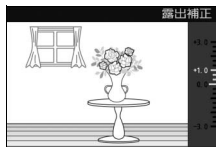
露出補正なし

＋1段補正

1 ロータリーマルチセレクターの☒（露出補正）を押す

- 液晶モニターに［**露出補正**］のメニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで露出補正値を選ぶ

- 1/3段刻みで±3段の範囲で設定できます。
- 画像全体を明るくしたいときは＋側に、暗くしたいときは－側に補正します。
- 露出補正を解除するには、補正値を0.0にしてください。オートモード以外の撮影モードでは、カメラの電源をOFFにしても、補正値の設定は解除されません。

露出補正の設定について

露出補正を行うときは、撮影メニューの［**測光モード**］（□135）を［**中央部重点測光**］または［**スポット測光**］にすると効果的です。

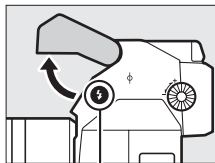
フラッシュ使用時の露出補正

フラッシュ使用時に露出補正を行った場合は、背景露出とフラッシュの発光量の両方に補正が行われます。

内蔵フラッシュについて

フラッシュを使用する場合は、ϟボタンを押して内蔵フラッシュを上げてください。

- 内蔵フラッシュを上げると、フラッシュの充電が始まります。フラッシュの充電が完了している場合にシャッターボタンを半押しすると、液晶モニターにレディーライト（ϟ）が点灯します。

ϟボタン

ϟ	通常発光	被写体が暗い場合や昼間の屋外撮影で顔に影がかかる場合、逆光での撮影時などに使用します。
ϟ◉	赤目軽減発光	フラッシュが発光する前に、赤目軽減ランプが点灯して、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します。人物撮影に適しています。
ϟ◉SLOW	赤目軽減発光+スロー	赤目軽減発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。夜景や夕景をバックにした人物撮影などに適しています。
ϟSLOW	通常発光+スロー	通常発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。
ϟSLOW REAR	後幕発光+スロー	後幕発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。
ϟREAR	後幕発光	通常発光時はシャッターが開くと同時にフラッシュが発光します（先幕発光）が、後幕発光ではシャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。動いている被写体の後方に流れる光や軌跡などを表現したい場合などに適しています。

フラッシュモードを設定する

1 ロータリーマルチセレクターの⚡（フラッシュモード）を押す

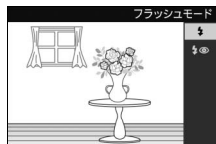
- 液晶モニターに［**フラッシュモード**］のメニューが表示されます。

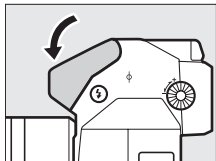
- 設定できるフラッシュモードは、撮影モード（□7）によって異なります。

オートモード	
⚡	通常発光
⚡◉	赤目軽減発光

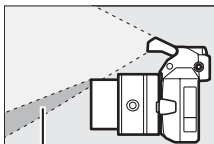
撮影モードS、M	
⚡	通常発光
⚡◉	赤目軽減発光
⚡REAR	後幕発光

撮影モードP、A	
⚡	通常発光
⚡◉	赤目軽減発光
⚡◉SLOW	赤目軽減発光+スロー
⚡SLOW	通常発光+スロー
⚡SLOW REAR	後幕発光+スロー

2 ロータリーマルチセレクターでフラッシュモード（□67）を選び、OKボタンを押す

内蔵フラッシュの収納

内蔵フラッシュを収納するときは、カチッと音がするまで手で軽く押し下げます。バッテリーの消耗を防ぐため、フラッシュを使わないときは常に収納してください。

内蔵フラッシュについてのご注意

- 内蔵フラッシュは、オートモードまたはP、S、A、Mモードのみ使用できます（□197）。
- 次の場合、内蔵フラッシュは発光しません。
  - オートモードでライブコントロール機能（□26）を設定している場合
  - ［**連写とセルフタイマー**］（□61）が ▣（連写）で、撮影メニューの［**連写の設定**］（□131）を［**15fps**］、［**30fps**］または［**60fps**］に設定している場合
  - 撮影メニューの［**HDR**］（□156）を［**する**］に設定している場合
- 内蔵フラッシュは無理に押し下げないでください。故障の原因となります。
- 内蔵フラッシュを連続して使うと、発光部を保護するために、一時的に発光が制限され、シャッターがきれなくなる場合があります。少し時間をおくと再び使えるようになります。
- 高いISO感度で近くの被写体を撮影する場合は、白とびが発生することがあります。
- 赤目軽減発光モードに設定している場合、レンズの種類によっては、赤目軽減ランプの光がさえぎられ、フラッシュ撮影時に充分な赤目軽減効果が得られないことがあります。
- ケラレを防止するために、レンズのフードは取り外して使用してください。
- 撮影距離0.6 m以上で使用してください。
- 使用するレンズや撮影距離によっては、フラッシュのケラレが発生することがあります。

※ケラレとは、内蔵フラッシュの光がレンズの先端でさえぎられて影になり、写真に映り込む現象です。

関連ページ

- 内蔵フラッシュの発光方式を設定する → [**フラッシュ発光**]（170）
- 内蔵フラッシュの発光量を調整する → [**フラッシュ調光補正**]（171）

内蔵フラッシュの調光範囲（光の届く範囲）

内蔵フラッシュはISO感度と絞り値によって調光範囲（光の届く範囲）が異なります（標準ズームレンズ使用時、開放絞り、ISO160～6400設定時）。

- 約0.6～約7.0 m（広角側）
- 約0.6～約4.2 m（望遠側）

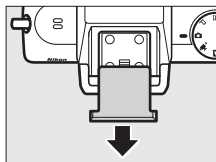
別売のスピードライトを使う

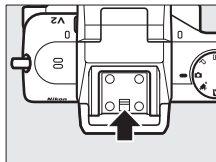
このカメラは、マルチアクセサリーポートにNikon 1専用の別売スピードライト（□184）を装着できます。

- この活用ガイドでは、SB-N5を使用して説明しています。
- 別売スピードライトを装着すると、内蔵フラッシュを上げていても内蔵フラッシュは発光しません。
- 別売のスピードライトSB-N5を装着した場合、ベストモーメントキャプチャーモード（□41）またはモーションスナップショットモード（□57）での撮影時には、フラッシュは発光せず、代わりにキャプチャーイルミネーター（□74）が照射されます。

スピードライトの装着方法

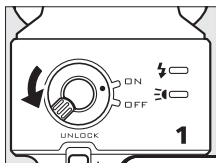
1 マルチアクセサリーポートカバーを取り外す

- マルチアクセサリーポートを使わないときは、マルチアクセサリーポートカバーを取り付けてください。

2 スピードライトをマルチアクセサリーポートに取り付ける

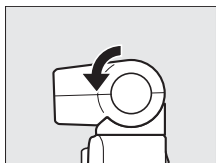
- カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。
- スピードライトの取り付け方は、ご使用になるスピードライトの使用説明書をご覧ください。

☑ このカメラで使える別売スピードライトについて

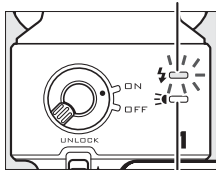
Nikon 1専用のスピードライト以外は、このカメラでは使用できません。

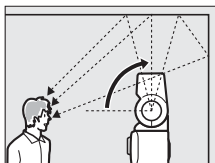
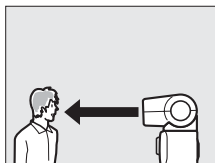
別売のスピードライトを使って撮影する

1 装着したスピードライトとカメラの電源をONにする

2 フラッシュモードを設定する（□68）

3 スピードライトのフラッシュヘッドをセットする

- 図のようにフラッシュヘッドを回転させて、正面水平方向にセットします。

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから撮影する

- スピードライト背面のフラッシュ状態表示または液晶モニターのレディーライト（⚡）が点灯していることを確認してください。
- フラッシュを発光させないようにするには、スピードライトの電源をOFFにしてください。

バウンス撮影する

スピードライトのフラッシュヘッドの向きを変えて、天井や壁などに反射させた光を利用したフラッシュ撮影を「バウンス撮影」といいます。光が拡散するため、正面からフラッシュの光を当てる場合に比べて、背景に生じる影を弱めたり、近い被写体だけが白とびするのを軽減できます。また、肌や髪や服のてかりも抑えられます。

上方へ回転（バウンス撮影）

正面水平方向（通常撮影）

バウンス撮影について

- 反射面は、白色系で反射率の高いものを選んでください。反射面に色があると、被写体にその色が影響します。
- 反射面が遠すぎる場合（天井など）は、白い紙（A4判程度）を反射面に利用すると効果的です。このとき、反射光が被写体に当たっていることを確認してください。

スピードライトについてのご注意

- 詳細はお使いになるスピードライトの使用説明書をご覧ください。
- スピードライトはオートモードまたはP、S、A、Mモードのみ使用できます（□197）。
- 次の場合、スピードライトは発光しません。
  - オートモードでライブコントロール機能（□26）を設定している場合
  - ［**連写とセルフタイマー**］（□61）が□（連写）で、撮影メニューの［**連写の設定**］（□131）を［**15fps**］、［**30fps**］または［**60fps**］に設定している場合
  - 撮影メニューの［**HDR**］（□156）を［**する**］に設定している場合

関連ページ

- スピードライトの発光方式を設定する → □［**フラッシュ発光**］（□170）
- スピードライトの発光量を調整する → □［**フラッシュ調光補正**］（□171）

キャプチャーイルミネーターについて

ベストモーメントキャプチャーモード（□41）とモーションスナップショットモード（□57）では、SB-N5のキャプチャーイルミネーターが照射されます。

- スマートフォトセレクターまたはモーションスナップショットの場合、シャッターボタンを半押しして先取り撮影している間、キャプチャーイルミネーターが照射されます。半押ししたまま約6秒が過ぎると、キャプチャーイルミネーターは消灯します。
- スロービューの場合、シャッターボタンを半押ししてピントが合うと、キャプチャーイルミネーターが約1.3秒間照射されます。半押ししたまま約1.3秒が過ぎると、キャプチャーイルミネーターが消灯します。
- 撮影前にスピードライト背面のキャプチャーイルミネーター状態表示が点灯していることを確認してください。キャプチャーイルミネーターの照射中もキャプチャーイルミネーター状態表示が点灯します。
- キャプチャーイルミネーターが届く距離範囲の目安は約1mです。

スピードライトSB-N5のエラー表示について

スピードライト背面のフラッシュ状態表示またはキャプチャーイルミネーター状態表示が点滅するときは、次のいずれかのエラーが発生しています。

表示	対処方法
フラッシュ状態表示が約3秒間点滅	適正露出が得られていない可能性があります。スピードライトから被写体までの距離を短くするか、ISO感度（□144）を上げてからもう一度撮影してください。
フラッシュ状態表示またはキャプチャーイルミネーター状態表示が1秒間に1回点滅	フラッシュが熱くなっています。フラッシュを連続して使うと、保護機能が働いて一時的に発光が制限されます。スピードライトの電源をOFFにして、スピードライト内部の温度が下がるまで撮影を一時休止してください。
フラッシュ状態表示とキャプチャーイルミネーター状態表示が2秒間に1回点滅	通信エラーが起きています。スピードライトがカメラに正しく装着されているかご確認ください。
フラッシュ状態表示が1秒間に8回点滅	スピードライトの内部回路にエラーが発生しました。カメラの電源をOFFにしてからスピードライトをカメラから取り外し、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

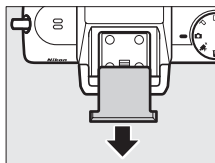
別売のGPSユニットでGPS情報を画像に記録する

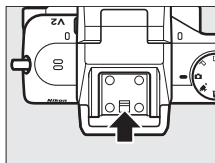
このカメラは、マルチアクセサリーポートに別売の GPS ユニット GP-N100（□186）を装着することで、画像データに撮影時の緯度、経度、標高、UTC（協定世界時）を記録できます。

- 撮影時に取得したGPSデータは、付属のソフトウェアViewNX 2や別売のCapture NX 2（□185）で確認できます。ViewNX 2は付属のViewNX 2/Short Movie Creator CD-ROMを使ってインストールできます。

GP-N100の装着方法

1 マルチアクセサリーポートカバーを取り外す

- マルチアクセサリーポートを使わないときは、マルチアクセサリーポートカバーを取り付けてください。

2 GP-N100をマルチアクセサリーポートに取り付ける

- カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。
- GP-N100の取り付け方は、GP-N100の使用説明書をご覧ください。

GP-N100装着時のカメラ動作を設定する

MENUボタンを押して、セットアップメニューの［**GPS**］を選んでロータリーマルチセレクターの▶を押します。GP-N100装着時のオートパワーオフの設定や、取得したGPSデータの表示、GPSによる日時合わせを設定できます。

- ［**オートパワーオフ**］では、カメラに GP-N100 を装着しているときにオートパワーオフ（□18）を有効にするか無効にするかを設定できます。

有効	カメラを操作していないときは、セットアップメニュー［**オートパワーオフ**］（□177）で設定された時間で液晶モニターが自動的に消灯して待機状態になります。 • カメラのバッテリーの消耗を少なくすることができます。
無効	GP-N100装着時は、オートパワーオフしません。

- ［**情報表示**］では、GP-N100装着時に取得した、緯度、経度、標高、UTC（協定世界時）、有効期限の情報を表示します。UTC（Coordinated Universal Time＝協定世界時）は、GP-N100装着時に取得された世界標準時で、カメラで設定されている時刻とは別に記録されます。有効期限は、アシストGPS（A-GPS）ファイルの有効期限です。A-GPSデータを転送したGP-N100を装着した場合のみ表示されます。
- ［**GPS による日時合わせ**］が［**する**］の場合、GP-N100装着時に取得した日時の情報でカメラの内蔵時計を合わせます。GP-N100を使用して日時を合わせないときは、［**しない**］を選んでください。

GP-N100使用時の表示について

衛星からの受信状態は、液晶モニターのGPS通信マーク GPS（□4）とGP-N100のLEDランプで確認できます。

GPS通信マーク	GPSのLED	内容
GPS（点滅）	赤/点滅	GP-N100が取得している情報が確定していないため、GPSデータは記録されません。GPSが点灯するまでお待ちください。
GPS（点灯）	緑/点滅	GPS衛星を3つ利用して、位置情報が取得できます。画像データに撮影時のGPS データが記録できます。
GPS（点灯）	緑/点灯	GPS衛星を4つ以上利用して、より精度良く位置情報が取得できます。画像データに撮影時のGPSデータが記録できます。

- 少なくとも3つの衛星から電波を受信しないとGPSデータを記録できません。
- 衛星からの電波の受信が約2秒以上途絶えると、液晶モニターのGPS通信マーク GPS が消灯します。この状態で撮影した画像データには、GPSデータは記録されません。

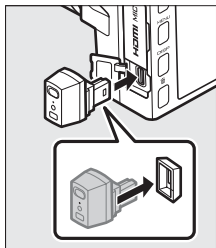
A-GPS について

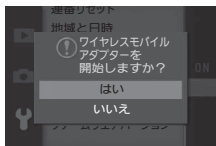
- アシストGPS（A-GPS）は、A-GPSファイル（補助データ）を使用して、位置情報をすばやく取得する技術です。GP-N100をカメラから取り外し、GP-N100に付属のUSBケーブルでパソコンと接続すると、A-GPSファイル取得専用ソフトウェアGP-N100 Utilityを使ってニコンのサーバーから最新のA-GPSファイルを取得してGP-N100に転送できます。
- 専用のソフトウェアGP-N100 Utilityは下記のホームページからダウンロードできます。
  http://nikonimglib.com/gpn100u/
- GP-N100 Utilityの使用方法は、上記のホームページおよびヘルプを参照してください。
- GP-N100に転送したA-GPSファイルは、2週間有効です。有効期限を過ぎると、A-GPSファイルを使った位置情報取得ができなくなります。GP-N100 Utilityで最新のA-GPSファイルを転送し直してください。
- アシストGPS（A-GPS）のA-GPSファイルを使わなくてもGP-N100は位置情報取得が可能です。

別売のワイヤレスモバイルアダプターを使用してスマートデバイスと連動する

USB端子にワイヤレスモバイルアダプター WU-1b（□186）を装着して、Wireless Mobile Adapter Utilityがインストールされたスマートデバイスと無線LAN接続をすると、カメラのSDカードに記録した画像をスマートデバイスに取り込んだり、スマートデバイスからカメラを操作して静止画を撮影したりできます。

1 USB端子にWU-1bを取り付ける

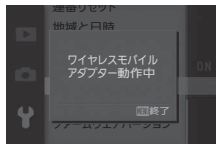
- カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。
- WU-1bのUSB端子に装着されているゴムを外してからカメラに取り付けてください。

2 セットアップメニュー（□173）の［ワイヤレスモバイルアダプター］を選ぶと表示される確認画面で［はい］を選ぶ

- スマートデバイスと無線LAN接続ができるようになります。
- ［**いいえ**］を選ぶと、WU-1bを接続していても無線LAN接続を行いません。

☑ 初めてWU-1bと接続する場合

WU-1bと接続するには、カメラにWU-1bを取り付けた後にスマートデバイスと接続の設定をする必要があります。接続設定はWU-1b付属の使用説明書を参照してください。

3 スマートデバイスでWireless Mobile Adapter Utilityを起動する

4 スマートデバイス側を操作して撮影する

- スマートデバイスと無線LAN接続すると、スマートデバイス側のモニターに被写体が表示されます。カメラの液晶モニターには、無線LAN接続中のメッセージが表示されます。

無線LAN接続時のご注意

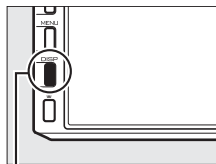
- 無線LAN接続中は、カメラの設定を変更できません。
- 無線LANの接続を解除するには、MENUボタンを押してください。

WU-1bおよびWireless Mobile Adapter Utilityについて

- Wireless Mobile Adapter UtilityはGoogle PlayまたはApp Storeからダウンロードできます。
- Wireless Mobile Adapter Utilityの動作環境やインストール方法、およびスマートデバイスとカメラを無線で接続する方法は、次のWebサイトよりWireless Mobile Adapter Utilityの使用説明書（PDF）をダウンロードしてご確認ください。
  http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU/
- Wireless Mobile Adapter Utilityの詳しい使用方法は、Wireless Mobile Adapter Utilityの使用説明書（PDF）を参照してください。

いろいろな再生機能

画像情報を表示する

1コマ表示モード（□28）でDISPボタンを押すたびに、液晶モニターに表示される情報が「情報表示あり」、「統合表示」、「画像のみ（情報表示なし）」の順に切り替わります。

DISP ボタン

■ 情報表示あり

静止画

動画

1	撮影モード	7
2	プロテクト設定の有無	118
3	コマ番号/全画像数	
4	画質モード	129
	撮影速度（フレームレート）	132、133
5	画像サイズ	130
	動画解像度	133
6	ファイル名	130
7	撮影時刻	19、180
8	撮影日付	19、180
9	バッテリー残量表示	20
10	レーティング設定	89
11	動画記録時間	55
12	音声録音の有無	158
13	操作ガイド	55

統合表示

静止画

動画

1	撮影モード 7
2	コマ番号/全画像数
3	プロテクト設定の有無 118
4	カメラ名
5	画像編集の有無... 119、120、121 動画編集の有無...................... 122
6	画像のヒストグラム（□83）を表示します。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとのピクセル数を表します。
7	ISO感度.................................. 144
8	焦点距離 221
9	フラッシュモード.................... 67
10	フラッシュ発光方式.............. 170
11	フラッシュ調光補正量.......... 171
12	露出補正値 66
13	測光モード 135
14	露出モード 128
15	シャッタースピード........ 33、35
16	絞り値............................. 34、35
17	自動ゆがみ補正 153
18	GPSデータの有無......................75
19	Picture Control 145
20	アクティブD-ライティングの 設定の有無 155
21	HDR... 156

ヒストグラムについて

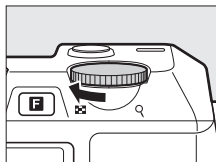
- ヒストグラムとは、画像の明るさ（輝度）の分布を表すグラフのことです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとのピクセル数を示しています。
- いろいろな明るさの被写体が写っている画像では、グラフの山が全体的に分布したヒストグラムになります。
- 暗い画像はヒストグラムの分布が左側に寄った形になります。
- 明るい画像はヒストグラムの分布が右側に寄った形になります。

- 露出補正を＋側にすれば山が右側に寄り、－側にすれば山が左側に寄ります。屋外などで周りが明るすぎて液晶モニターでは画像の明るさが確認しにくいときでも、ヒストグラムから画像全体の露出傾向を確認することができます。
- ヒストグラム表示は、画像加工アプリケーションで表示されるヒストグラムと異なることがあります。目安としてお使いください。

複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示モード）

1コマ表示モードのときにコマンドダイヤルを左に回すと、複数の縮小画像（サムネイル画像）を表示する「サムネイル表示モード」に切り替わります。

コマンドダイヤル

1コマ表示モード　　**サムネイル表示モード**　　カレンダー表示モード

• サムネイル表示モード時には次の操作を行えます。

表示コマ数を増やす/カレンダー表示に切り換える		コマンドダイヤルを左に回すたびに、表示コマ数（4コマ/9コマ/72コマ）が切り替わります。72コマ表示時にコマンドダイヤルを左に回すと、「カレンダー表示」に切り替わります（□86）。
表示コマ数を減らす		コマンドダイヤルを右に回すたびに、表示コマ数が、72コマ表示のときは9コマ表示に、9コマ表示のときは4コマ表示に、4コマ表示のときは1コマ表示に切り替わります。
画像を選ぶ	/	ロータリーマルチセレクターの▲▼◀▶を押すと、黄色の枠（カーソル）が動いて、拡大表示（□87）や削除（□88）、レーティング（□89）の対象となる画像を選べます。 • ロータリーマルチセレクターを回しても画像を選べます。

1コマ表示する	OK	サムネイル表示モードを終了して、1コマ表示モードに戻ります。
画像を削除する	🗑	選んだ画像を削除します（□88）。
レーティング設定する	F	選んだ画像にレーティング（重要度）を設定します（□89）。

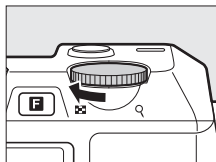
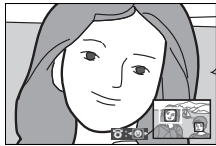
サムネイル表示モードの画像情報

サムネイル表示モードで**DISP**ボタンを押すたびに、情報表示の表示非表示を切り換えられます。

撮影した日付ごとに画像を表示する（カレンダー表示モード）

コマンドダイヤル

72コマ表示時（□84）にコマンドダイヤルを左に回すと、撮影した日付ごとに縮小画像を表示する「カレンダー表示モード」に切り替わります。カレンダー表示モードは、選択している画像の撮影日付を表示します。

1コマ表示モード　　サムネイル表示モード　　**カレンダー表示モード**

- カレンダー表示モード時には次の操作を行えます。

日付を選ぶ		ロータリーマルチセレクターの▲▼◀▶を押すと、黄色の枠（カーソル）が動いて撮影した日付を選べます。 • ロータリーマルチセレクターを回しても日付を選べます。
1コマ表示する	OK	選択した日付の最初の画像を1コマ表示します。
画像を削除する		選んだ日付の画像を全て削除します。
72コマ表示に戻る		コマンドダイヤルを右に回すと、72コマ表示に切り替わります。

画像を拡大表示する

1コマ表示モードでコマンドダイヤルを右に回すと、拡大表示されます。拡大表示中に人物の顔を認識した場合、最大5人までの顔を白枠で囲んで表示します。拡大表示中は次の操作を行えます。

<table>
<tr><td>拡大率を上げる</td><td rowspan="2"></td><td>コマンドダイヤルを右に回すたびに、拡大率が上がります。</td><td rowspan="3">
拡大表示中に拡大率を操作すると、画面の右下にナビゲーションウィンドウが表示され、拡大表示中の部分が黄色い枠で囲んで示されます。数秒すると消えます。</td></tr>
<tr><td>拡大率を下げる</td><td>コマンドダイヤルを左に回すたびに、拡大率が下がります。</td></tr>
<tr><td>画面をスクロール（移動）させる</td><td></td><td>画面をスクロールさせて、見たい部分に移動できます。</td></tr>
<tr><td>表示する人物の顔を切り換える</td><td></td><td>顔認識を使用して撮影時に顔を認識した場合、ロータリーマルチセレクターを回すと、認識した顔に順次移動します。</td><td>
拡大表示中に人物の顔を認識すると、画面右下のナビゲーションウィンドウに白枠が表示されます。</td></tr>
<tr><td>1コマ表示する</td><td></td><td colspan="2">拡大表示を終了して、1コマ表示モードに戻ります。</td></tr>
</table>

拡大表示できない画像について

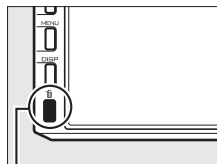
動画やモーションスナップショット画像は、拡大表示できません。

画像を削除する

SDカードに記録された画像を削除します。**削除した画像は元には戻せないのでご注意ください。ただし、プロテクトを設定した画像は削除できません。**

再生中の画像を削除する

1コマ表示モードまたはサムネイル表示モードで🗑ボタンを押すと、削除確認の画面が表示されます。もう一度🗑ボタンを押して画像を削除します。

- 削除をやめるには、▶ボタンを押します。

🗑ボタン

複数の画像をまとめて削除する

MENUボタンを押して、再生メニューの［**削除**］を選ぶと、複数の画像を一括して削除できます。

- 次の項目から削除の方法を選び、Ⓞボタンを押すと、確認画面が表示されます。［**はい**］を選ぶと、選んだ画像を削除します。
- たくさんの画像を削除するときは、時間がかかることがあります。

選択画像削除	画像選択画面（🕮116）で画像を選び、ロータリーマルチセレクターの▲▼を押してON/OFFを設定します。
日付選択	選択した日付に撮影した画像を一括で削除します。 • 日付を選んで ▶ を押すと、日付の左側のチェックボックスがオン☑になります。もう一度▶を押すと、チェックボックスがオフ☐になります。 • コマンドダイヤルを右に回すと選択している日付に撮影した画像をサムネイル表示して確認できます。コマンドダイヤルを左に回すと、日付選択画面に戻ります。
全画像削除	SDカード内の全ての画像を削除します。

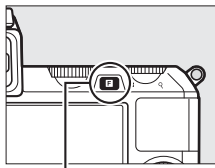
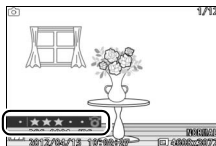
画像にレーティング（重要度）を設定する

画像にレーティング（重要度）を設定できます。

1 レーティングを設定する画像を選ぶ

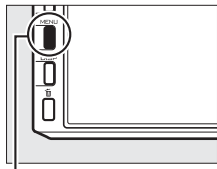
- 1コマ表示モード/拡大表示の場合は、レーティング設定する画像を表示します。
- サムネイル表示モードの場合は、レーティング設定する画像をロータリーマルチセレクターで選びます。

2 レーティングを設定する

- Fボタンを押すと、レーティングの設定画面が表示されます。
- ロータリーマルチセレクターを回して★★★★★～★、星なし、☒（削除候補）から選びます。

Fボタン

レーティング設定できない画像について

プロテクト設定された画像には、レーティング設定できません。

スライドショーで再生する

MENUボタンを押して、再生メニューの［**スライドショー**］を選ぶと、撮影した画像を記録された順番に1コマずつ連続再生できます。

MENU ボタン

1 スライドショーで再生する画像の種類を選ぶ

- 次の項目から、再生する画像の種類を選び、㊊ボタンを押します。

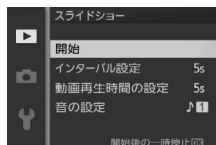
全画像	SDカード内の全ての画像を再生します。
静止画	静止画のみを再生します。
動画	動画のみを再生します。
モーションスナップショット	モーションスナップショットで撮影した動画のみを再生します（同時に撮影した静止画は再生しません）。
日付選択	右のようなカレンダーが表示されます。ロータリーマルチセレクターで日付を選ぶと、選択した日付に撮影した画像のみを再生できます。

2 スライドショーの表示時間、音声再生の有無、BGMを設定する

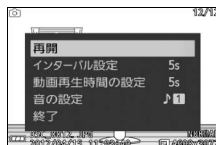
- 各画像の表示時間、音声再生の有無、BGMを設定します。

インターバル設定	各画像を表示する時間を設定できます。
動画再生時間の設定	動画の再生時間を設定できます。［**インターバル設定の時間**］を選ぶと、［**インターバル設定**］で設定した時間で再生します。［**制限なし**］を選ぶと、それぞれの動画を、記録した時間分再生します。
音の設定	スライドショー再生中の音声やBGMを設定できます。［**動画音声あり**］を選ぶと、動画に記録された音声のみを再生し、静止画やモーションスナップショットの動画の再生時には、音声を再生しません。

3 ［開始］を選ぶ

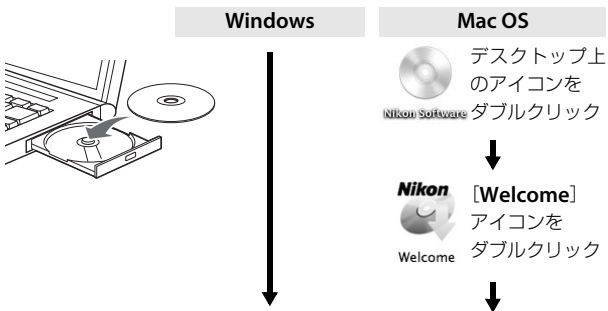
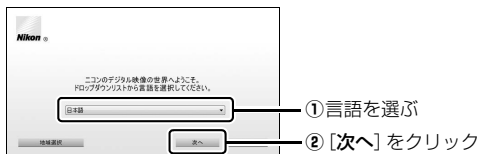
- ［**開始**］を選んで㊞ボタンを押すと、スライドショーが始まります。

- スライドショー再生時には次の操作を行えます。

1コマ進む/戻る		ロータリーマルチセレクターの◀を押すと、前の画像が表示されます。▶を押すと、次の画像が表示されます。
一時停止/再開		スライドショーが一時停止します。もう一度㊞ボタンを押すと再開します。
音量を調整する		コマンドダイヤルを左右に回すと音量を調節できます。
通常再生に戻る	▶	スライドショーを中止して、1コマ表示モード（□28）、サムネイル表示モード（□84）またはカレンダー表示モード（□86）に戻ります。

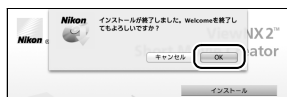
- 再生が終わると、右のような画面が表示されます。［**再開**］を選んで㊞ボタンを押すと、スライドショーが再開します。［**終了**］を選んで㊞ボタンを押すと、スライドショーが終了します。

パソコン、テレビ、プリンターとの接続

付属のソフトウェアをインストールする

付属のソフトウェアをインストールして、画像をパソコンに取り込めば、このカメラで撮影した画像の表示、編集やショートムービー作成ができます。インストールを始める前に、お使いのパソコンの環境が0 95の動作環境に合っているか確認してください。

1 パソコンを起動し、ViewNX 2/Short Movie Creator CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる

2 言語を選択する

3 インストールを開始する

- 画面の指示に従ってインストールしてください。

4 インストールを終了する

［**はい**］をクリック　　［**OK**］をクリック

- 次のソフトウェアがインストールされます。
  - ViewNX 2
  - Short Movie Creator
  - Apple QuickTime（Windowsのみ）

5 CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す

付属のソフトウェアについて

必ず最新版にバージョンアップしてお使いください。お使いのパソコンがインターネットに接続されていれば、ソフトウェアの起動時にニコンメッセージセンター 2（Nikon Message Center 2）が自動的に更新情報をチェックします。

付属のソフトウェアの動作環境

- ViewNX 2の動作環境は次の通りです。

Windows	
プロセッサー（CPU）	• 静止画、動画（MotionJPEG圧縮方式）：Intel Celeron/Pentium4/Coreシリーズ1.6GHz以上 • 動画（H.264圧縮方式）： - 再生時：Pentium D 3.0GHz以上 - 編集時：Core 2 Duo 2.6GHz以上
OS	Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate (Service Pack 1)、Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate (Service Pack 2)、Windows XP Home Edition/Professional (Service Pack 3) • すべてプリインストールされているモデルに対応 • Windows 7およびWindows Vistaは64ビット版/32ビット版に対応します。 • Windows XPは32ビット版のみ対応します。
実装メモリー（RAM）	• Windows 7、Windows Vista：1GB以上（2GB以上推奨） • Windows XP：512MB以上（2GB以上推奨）
ハードディスク	OS起動ディスクの空き容量が500MB以上（1GB以上推奨）
モニター	解像度：1024×768ピクセル（XGA）以上（1280×1024ピクセル（SXGA）以上推奨） 表示色数：24ビットカラー以上

Mac OS	
プロセッサー（CPU）	• 静止画、動画（MotionJPEG圧縮方式）：Intel Core シリーズ/Xeon シリーズ • 動画（H.264圧縮方式）： - 再生時：Core Duo 2GHz以上 - 編集時：Core 2 Duo 2.6GHz以上
OS	Mac OS X （Version 10.6.8、10.7.5、10.8.2）
実装メモリー（RAM）	512MB以上(2GB以上推奨)
ハードディスク	OS起動ディスクの空き容量が500MB以上（1GB以上推奨）
モニター	解像度：1024×768ピクセル（XGA）以上（1280×1024ピクセル（SXGA）以上推奨） 表示色数：1670万色以上

• Short Movie Creatorの動作環境は次の通りです。

Windows	
プロセッサー（CPU）	Intel Core 2 Duo 2GHz以上
OS	Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate (Service Pack 1)、Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate (Service Pack 2)、Windows XP Home Edition/Professional (Service Pack 3) • すべてプリインストールされているモデルに対応 • 64ビット版Windows 7およびWindows Vista上で使用する場合、32ビットアプリケーションとして動作します。
実装メモリー（RAM）	• 1.5GB 以上（HD動画作成には 2GB 以上推奨） • VRAM 128MB 以上（HD動画作成には 256MB 以上推奨）
ハードディスク	OS起動ディスクの空き容量が500MB以上（1GB以上推奨）
モニター	解像度：1024×768ピクセル（XGA）以上 表示色数：32ビットカラー以上
その他	DirectX 9 以降、OpenGL 1.4 以上が必要です。

Mac OS	
プロセッサー（CPU）	Intel Core 2 Duo 2GHz以上
OS	Mac OS X（Version 10.6.8、10.7.5、10.8.2）
実装メモリー（RAM）	1GB以上
ハードディスク	OS起動ディスクの空き容量が500MB以上（1GB以上推奨）
モニター	解像度：1024×768ピクセル（XGA）以上 表示色数：1670万色以上

• 上記の動作環境に合わない場合は、ViewNX 2だけがインストールされます（□95）。

モーションスナップショット画像の再生について

撮影メニューの［**ファイル形式**］（□135）を［**NMS形式**］に設定して撮影したモーションスナップショット画像をパソコンで再生するには、ViewNX 2が必要です。

対応OSについて

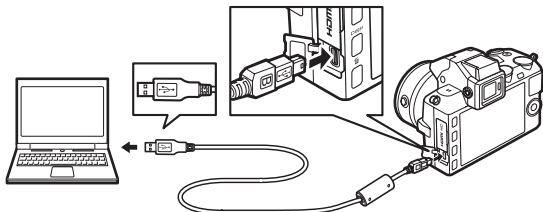
対応OSに関する最新情報は、当社ホームページのサポート情報（□xviii）でご確認ください。

ViewNX 2を使う

パソコンに画像を取り込む

1 画像の入ったSDカードを用意する

- SDカード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込めます。
  - SDカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、付属のUSBケーブルUC-E19でカメラとパソコンを接続し、カメラの電源をONにする※

    ※ USB ケーブルは、無理な力を加えず、端子にまっすぐ差し込んでください。

  - パソコンに装備されているカードスロットに直接SDカードを差し込む
  - 市販のカードリーダーをパソコンに接続して、SDカードをセットする

2 ViewNX 2のNikon Transfer 2が起動する

- 起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2を選びます。

Windows 7をお使いの場合

下の画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。

1［**画像とビデオのインポート**］で使用するプログラムにNikon Transfer 2を選ぶ

- ［**画像とビデオのインポート**］の［**プログラムの変更**］をクリックすると表示される画面で、［**画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用**］を選んで、［**OK**］をクリックします。

2［**画像ファイルを取り込む**］をダブルクリックする

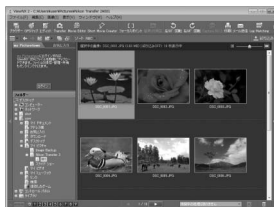
3 画像をパソコンに取り込む

- ［**転送開始**］をクリックすると、記録されているすべての画像がパソコンに取り込まれます（ViewNX 2の初期設定）。

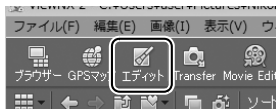
4 接続を解除する

- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜きます。
- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはSDカードを取り外してください。

ViewNX 2を起動する

画像の取り込みが終わると、ViewNX 2が自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。

> **ViewNX 2を手動で起動するには**
> - Windows：デスクトップの［**ViewNX 2**］のショートカットアイコンをダブルクリックする
> - Mac OS：Dockの［**ViewNX 2**］アイコンをクリックする

静止画を編集する

ViewNX 2のツールバーで［**エディット**］をクリックします。

階調の補正、シャープネスの調整、画像の切り抜き（クロップ）などの編集ができます。

■ ショートムービーを作成する

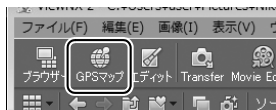
Short Movie Creatorでは、カメラで撮影した画像をパソコンで自由に組み合わせて、BGM付きのショートムービーを作成できます。Short Movie Creatorの使い方については、□101をご覧ください。

■ 画像をプリントする

ViewNX 2のツールバーで［**印刷**］をクリックします。

ダイアログが表示され、パソコンにつないだプリンターから、画像をプリントできます。

■ 画像に記録したGPSデータを地図上で確認する

別売のGPSユニットGP-N100（□75）を使ってGPSデータを記録した画像を選択して、ViewNX 2のツールバーで［**GPSマップ**］をクリックします。

画像に記録されているGPSデータを地図上で確認できます（インターネットに接続できる環境が必要です）。

ViewNX 2の詳しい使い方は

ViewNX 2のヘルプを参照してください。

Short Movie Creatorでショートムービーを作る

付属のソフトウェアをパソコンにインストールすると、カメラで撮影した静止画、動画、モーションスナップショット画像をパソコンで自由に組み合わせて、BGM付きのショートムービーを簡単に作成できます。

1 パソコンに画像を取り込む

- Nikon Transfer 2を使って、撮影した画像を自動的にパソコンに取り込む方法については、🕮97の「パソコンに画像を取り込む」をご覧ください。

2 組み合わせたい画像を選ぶ

- ViewNX 2（🕮99）で、ショートムービーに使いたい画像を選びます。

3 Short Movie Creatorを起動する

- ViewNX 2のツールバーで［**Short Movie Creator**］をクリックします。
- Short Movie Creator画面が表示されます。

［**素材**］エリア

4 組み合わせたい素材を決める

- 手順2で選んだ画像が、Short Movie Creatorの［**素材**］エリアに表示されます。スマートフォトセレクター画像の場合は、ベストショットのみが［**素材**］エリアに表示されます。モーションスナップショット画像の場合は、同時に撮影した静止画と動画が別ファイルで表示されます。
- ViewNX 2から［**素材**］エリアに画像をドラッグ&ドロップすることもできます。
- ［**素材**］エリア上の画像は、マウスでドラッグして順番を変えられます。

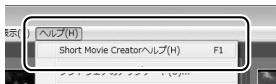
5 スタイルとBGMを選ぶ

- ［**スタイル**］エリアから、ショートムービーに合ったスタイルを選びます。
- ［**音楽**］エリアから、ショートムービーに合ったBGMを選びます。

6 ショートムービーをプレビューする

- をクリックすると、ショートムービーをプレビューできます。

Short Movie Creatorの詳しい使い方は

Short Movie Creatorのヘルプを参照してください。

7 ショートムービーを生成する

- ［**ムービー生成**］をクリックすると、右の画面が表示されます。次のいずれかを選んで［**生成**］を押すと、設定した内容でショートムービーを生成して保存します。

  - ［**ファイル保存**］：パソコン上のフォルダーを指定して、ショートムービーを保存します。パソコン上でショートムービーを楽しむ場合に適しています。
  - ［**カメラ（メモリーカード）へ書き戻し**］：パソコンに装備されているカードスロットや市販のカードリーダーに装着したSDカードにショートムービーを保存します（あらかじめカメラで初期化（◻175）したSDカードをカードスロットまたはカードリーダーに装着する必要があります）。ショートムービーをカメラで再生する場合は、この方法を選んでください。

✎ ViewNX 2を起動させずにShort Movie Creatorを使いたい場合

デスクトップの［**Short Movie Creator**］のショートカットアイコンをダブルクリックしたり（Windowsの場合）、Dockの［**Short Movie Creator**］アイコンをクリックしても（Mac OSの場合）、Short Movie Creatorを起動できます。

Windows

Mac OS

✎ Short Movie Creatorで作成したショートムービーをカメラやテレビで再生する

手順7の［**カメラ（メモリーカード）へ書き戻し**］でショートムービーを保存したSDカードをカメラに入れて、生成したショートムービーをカメラで再生することができます。さらに、カメラをテレビに接続すると（◻104）、ショートムービーをテレビ画面に表示できます。

- ［**ファイル保存**］でパソコンに保存したショートムービーや他のアプリケーションで編集した動画は、このカメラで再生できません。

画像をテレビで見る

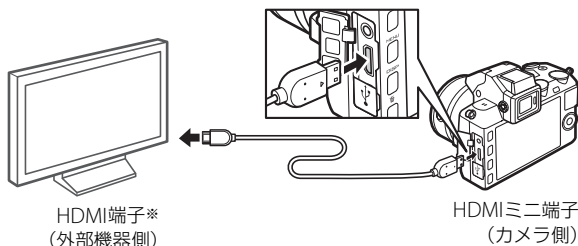
カメラをテレビなどに接続して、撮影した画像をテレビ画面に表示できます。たとえば、付属のソフトウェアShort Movie Creator（🕮101）で作成したショートムービーをカメラで再生し、テレビに表示できます。

HDMIケーブルを使ってハイビジョンテレビと接続する

カメラをHDMI端子のあるハイビジョンテレビなどと接続できます。

- 接続には市販のHDMIミニ端子用ケーブル（Type C）が必要です。別途お買い求めください。

1 カメラの電源をOFFにする

2 カメラとハイビジョンテレビを接続する

※使用する外部機器の端子に合わせたケーブルをお使いください。

3 テレビの入力をHDMI入力に切り換える

4 カメラの電源をONにして、▶ボタンを押す

- 撮影した画像がテレビの画面に表示されます。カメラをテレビに接続している間、液晶モニターは消灯します。

ケーブルを抜き差しするときは

- HDMIケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。
- ケーブルは、無理な力を加えず、端子にまっすぐ差し込んでください。

端子カバーについて

使用しない場合は、必ず端子カバーを閉じてください。ゴミなどが入ると、誤作動の原因となることがあります。

テレビでの画像の再生について

- テレビ画面では、画像の周辺部が一部ケラレて表示される場合があります。
- テレビでの再生などでカメラを長時間使うときは、別売のパワーコネクター EP-5D と ACアダプター EH-5b を組み合わせてお使いになることをおすすめします。

動画の音声について

テレビで動画を再生するときは、音量をテレビ側で調節してください。カメラでは音量調節できません。

HDMI-CEC対応テレビのリモコンでカメラを操作する

HDMI-CEC対応テレビのリモコンを使って、1コマ表示やスライドショー再生、メニュー操作などのカメラ操作を行えます。HDMI-CEC対応テレビの操作については、テレビの使用説明書などをご覧ください。

1 カメラとHDMI-CEC対応テレビを接続する

2 HDMI-CEC対応テレビとカメラの電源をONにする

- セットアップメニューの［**HDMIの機器制御**］が［**する**］の場合、HDMI-CEC対応テレビに右のリモコン操作ガイドが表示され、HDMI-CEC対応テレビのリモコンのボタンを使って、カメラを操作できます。

リモコンのボタン	カメラの操作
上、下、左、右、中央ボタン	ロータリーマルチセレクターの▲、▼、◀、▶、㊉ボタンを押したときと同じ動作になります。
青色ボタン	▶ボタンを押したときと同じ動作になります。
赤色ボタン	MENUボタンを押したときと同じ動作になります。
緑色ボタン	再生メニューの［**スライドショー**］画面を表示します（□90）。
黄色ボタン	リモコン操作ガイドの表示/非表示を切り換えます。

HDMI、HDMI-CECとは

「HDMI」とは、High-Definition Multimedia Interfaceの略で、マルチメディアインターフェースのひとつです。「HDMI-CEC」とは、HDMI-Consumer Electronics Controlの略で、対応機器間での連携動作を可能にします。

画像をプリンターで印刷する

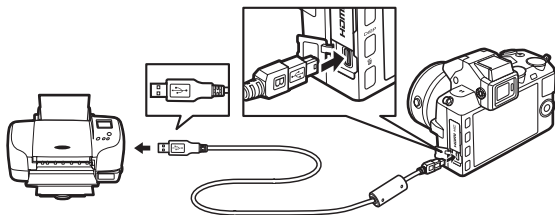
PictBridge（ピクトブリッジ 🕮230）対応プリンターをお使いの場合、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを付属のUSBケーブルUC-E19で直接接続してSDカード内の画像をプリントできます（ダイレクトプリント）。

カメラとプリンターを接続する

付属のUSBケーブルUC-E19を使ってカメラとプリンターを接続します。

1 カメラの電源をOFFにしてからプリンターの電源をONにする

2 カメラとプリンターを接続する

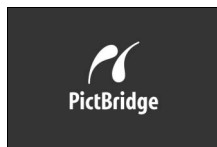
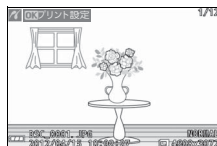
- USBケーブルは、無理な力を加えず、端子にまっすぐ差し込んでください。

☑ ダイレクトプリントの前に

ダイレクトプリント時は、充分に充電されたバッテリーEN-EL21、または別売のパワーコネクターEP-5DとACアダプターEH-5bを組み合わせてお使いになることをおすすめします。

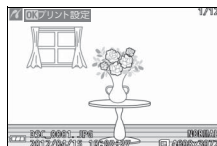
☑ USBハブについて

USBハブに接続した場合の動作は保証していません。

3 カメラの電源をONにする

- 正しく接続されると、液晶モニターに①の画面が表示された後、②の画面が表示されます。

①
②
1コマだけプリントする

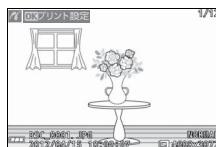
1 プリントしたい画像を選ぶ

- ロータリーマルチセレクターの◀▶を押してプリントしたい画像を選びます。
- コマンドダイヤルを左に回すと、9コマ表示に切り替わります。ロータリーマルチセレクターの▲▼◀▶を押すかロータリーマルチセレクターを回して、画像を選びます。コマンドダイヤルを右に回すと、1コマ表示に戻ります。
- 1コマ表示中にコマンドダイヤルを右に回すと、表示中の画像を拡大表示します（□87）。コマンドダイヤルを左に回すと、1コマ表示に戻ります。
- ㊊ボタンを押すと、プリント設定画面が表示されます。

2 プリントを開始する

- ［**プリント実行**］を選んで、Ⓚボタンを押すとプリントが始まります。
- プリント前に設定できる項目については、🕮112をご覧ください。
- プリントを中断したいときは、もう一度Ⓚボタンを押してください。

複数の画像をプリントする

あらかじめカメラとプリンターを付属のUSBケーブルで接続してから（🕮107）、次の手順でプリントしてください。

1 右の画面でMENUボタンを押す

2 プリント方法を選んでロータリーマルチセレクターの▶を押す

プリント画像選択	プリントする画像と枚数を選んでプリントします。
日付選択	指定した日付に撮影した画像を全てプリントします。
DPOFプリント	再生メニューの［**プリント指定（DPOF）**］（🕮114）で、事前に設定した画像をプリントします。プリント指定した画像と枚数は、手順3の画面に反映されます。
INDEXプリント	SDカードの中のJPEG画像（🕮129）を一覧できる「インデックス」をプリントします。

3 プリントする画像と枚数を設定する

［プリント画像選択］または［DPOFプリント］の場合：

- ロータリーマルチセレクターの◀▶を押すかロータリーマルチセレクターを回して、プリントする画像を選び、▲▼を押して、プリント枚数（99枚まで）を設定します。
- プリントされる画像には、凸アイコンとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、凸アイコンが消え、その画像はプリントされません。
- コマンドダイヤルを押している間は、選択中の画像が拡大表示されます。
- 画像と枚数を設定したら、Ⓞボタンを押します。

［日付選択］の場合：

▲または▼を押してプリントする日付を選び、▶を押して設定します。

- プリントする枚数は設定できません。選択した日付の画像の全てが1枚ずつプリントされます。
- コマンドダイヤルを左に回すと、選択している日付に撮影した画像をサムネイル表示して確認できます。再度コマンドダイヤルを左に回すと、日付選択画面に戻ります。
- サムネイル表示中にコマンドダイヤルを押すと、コマンドダイヤルを押している間、選んだ画像を拡大表示します。
- 日付を設定したら、Ⓞボタンを押します。

［INDEXプリント］の場合：

- ［**INDEXプリント**］画面が表示されたら、Ⓞボタンを押します。

4 プリントを開始する

- ［**プリント実行**］を選んでⓀボタンを押すと、プリントが始まります。プリントが終わると、手順2の画面に戻ります。

- プリント前に設定できる項目については、□112をご覧ください。
- プリントを中断したいときは、もう一度Ⓚボタンを押してください。

インデックスプリントについてのご注意

- インデックスプリントできるのは256コマまでです。SDカード内に257コマ以上の画像がある場合は、印刷されない画像があります（確認画面が表示されます）。
- ［**インデックスプリント**］の場合、用紙サイズによっては、プリントできない場合があります（警告メッセージが表示されます）。

関連ページ

プリント時のエラーについては、「警告メッセージ」（□211）をご覧ください。

■ プリント設定項目について

ダイレクトプリントのプリント設定画面で、[**プリント実行**] を選択する前に、次のプリントに関する設定を行えます。ロータリーマルチセレクターで設定したい項目を選んで、▶を押すと、それぞれの設定画面が表示されます。

用紙設定	ロータリーマルチセレクターでプリントする用紙のサイズまたは [**プリンターの設定**]（プリンターの設定を優先）を選んで㊍ボタンを押します。 プリンターが対応する用紙サイズのみが表示されます。
枚数指定※	▼▲を押して、プリントする枚数（1〜99枚）を設定して㊍ボタンを押します。
フチ設定	ロータリーマルチセレクターで [**プリンターの設定**]（プリンターの設定を優先）、[**あり**]（フチありプリント）または [**なし**]（フチなしプリント）を選んで㊍ボタンを押します。
日付プリント	ロータリーマルチセレクターで [**プリンターの設定**]（プリンターの設定を優先）、[**あり**]（日付を印刷する）または [**なし**]（日付を印刷しない）を選んで㊍ボタンを押します。
範囲指定※	[**する**] を選んで、▶を押すと、範囲指定画面が表示されます。 黄色の枠は、プリントされる範囲を示します。 • コマンドダイヤルを左に回すと枠が小さく（プリント範囲が狭く）なり、右に回すと枠が大きく（プリント範囲が広く）なります。 • ▲▼◀▶を押すかロータリーマルチセレクターを回すと、プリント範囲が移動します。 • ㊍ボタンを押すと、プリント範囲が決定します。

※ 「1コマだけプリントする」（🕮108）の場合のみ設定できます。

プリンターの設定を優先してプリントしたいときは

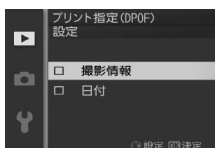
［**用紙設定**］、［**フチ設定**］、［**日付プリント**］の設定について、プリンターの設定を優先したいときは、それぞれの設定時に［**プリンターの設定**］を選んでください。

ダイレクトプリントについてのご注意

- RAW画像（□129）や動画はダイレクトプリントできません。モーションスナップショット画像の場合は静止画のみが、スマートフォトセレクター画像の場合はベストショットのみが、プリントの対象になります。
- ［**フチ設定**］と［**範囲指定**］は、接続したプリンターがそれぞれの機能に対応していない場合は選べません。なお、［**範囲指定**］で狭い範囲を大きくプリントした場合は、画像が粗くプリントされる場合があります。

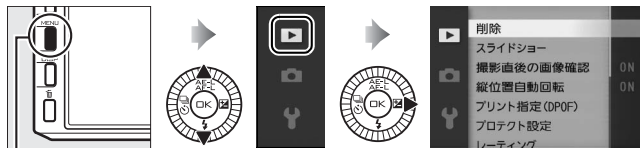
プリントしたい画像を指定する（プリント指定）

MENUボタンを押して、再生メニューの［**プリント指定（DPOF）**］を選ぶと、どの画像を何枚プリントするかをあらかじめ指定できます（プリンターやプリントサービス店がDPOF規格に対応している必要があります）。SDカードをプリンターのカードスロットに挿入して印刷するときや、プリントサービス店に持ち込んでプリントを依頼するとき、またはカメラとプリンターを付属のUSBケーブルで直接接続してダイレクトプリントするとき（□107）に便利です。

設定	画像選択画面（□116）で画像を選び、ロータリーマルチセレクターの▲▼を押して、プリント枚数（99枚まで）を設定します（プリントされる画像には、🖶アイコンとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、🖶アイコンが消え、その画像はプリントされません）。Ⓞボタンを押すと、右の画面が表示されます。 • 指定した画像全てに撮影情報や日付をプリントしたい場合は、［**撮影情報**］または［**日付**］を選んでロータリーマルチセレクターの▶を押して□に✔を入れます。 • Ⓞボタンを押すと、プリント指定を終了します。
一括解除	［**プリント指定（DPOF）**］で設定した内容を全て解除します。

☑ プリント指定についてのご注意

- ダイレクトプリント時には、［**プリント指定（DPOF）**］の［**撮影情報**］、［**日付**］の設定は無効になります。ダイレクトプリントで日付をプリントしたい場合は、ダイレクトプリントの［**日付プリント**］（□112）を［**あり**］にしてください。
- SDカードの残量が充分にないときは、プリント指定ができない場合があります。
- RAW画像（□129）や動画は、プリント指定ができません。モーションスナップショット画像の場合は静止画のみが、スマートフォトセレクター画像の場合はベストショットのみが、プリント指定の対象になります。
- プリント指定を行ったSDカード内のデータを、このカメラ以外で削除しないでください。正しくプリントできなくなる場合があります。

再生メニュー

MENUボタンを押して、再生メニューアイコン（▶）を選ぶと、再生メニューが表示されます。

MENUボタン

メニュー項目	内容	初期設定	📖
削除	複数の画像を一括して削除します。	―	88
スライドショー	画像や動画を連続再生します。	表示設定：全画像 インターバル設定：5秒 動画再生時間の設定：インターバル設定の時間 音の設定：BGM1	90
撮影直後の画像確認	撮影直後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。	する	117
縦位置自動回転	縦位置で撮影した画像を、自動的に回転して表示できます。	する	117
プリント指定（DPOF）	プリントする画像とプリント枚数をあらかじめ指定できます。	―	114
プロテクト設定	大切な画像を誤って削除しないために、画像にプロテクト（保護）を設定できます。	―	118
レーティング	撮影した画像にレーティング（重要度）を設定できます。	―	118
D-ライティング	画像の暗い部分を明るく補正できます。※	―	119
リサイズ	サイズの小さい画像を作成します。※	画像サイズの設定：1.1M	120

メニュー項目	内容	初期設定	🕮
トリミング	画像の一部を切り抜きます。※	―	121
動画編集	動画の必要な部分を残します。※	―	122
テーマの変更	モーションスナップショット画像に設定した「テーマ」を変更できます。	―	123

※編集された画像は、元の画像とは別に、新しい画像としてSDカードに記録されます。

画像選択画面について

再生メニューで次のメニュー項目を選ぶと、右のような画像選択画面が表示されます。

- ［**削除**］の［**選択画像削除**］（🕮88）
- ［**プリント指定（DPOF）**］（🕮114）
- ［**プロテクト設定**］（🕮118）
- ［**レーティング**］（🕮118）
- ［**D-ライティング**］（🕮119）
- ［**リサイズ**］の［**画像選択**］（🕮120）
- ［**トリミング**］（🕮121）
- ［**動画編集**］（🕮122）
- ［**テーマの変更**］（🕮123）

画像選択画面では、ロータリーマルチセレクターの◀▶を押すか、ロータリーマルチセレクターを回して、処理を行いたい画像を選びます（処理の対象外の画像は選べません）。

- コマンドダイヤルを押している間、選択中の画像が拡大表示されます。
- 各項目の画像選択画面での操作方法については、各項目の説明ページをご覧ください。

再生メニュー項目について

- このカメラ以外で撮影または編集した画像やパソコンで編集した画像は、このカメラでは再生または編集できないことがあります。
- ［**D-ライティング**］（□119）、［**リサイズ**］（□120）、［**トリミング**］（□121）では、元画像と同じ画質モードで記録します。ただし、元画像が［**RAW**］または［**RAW+FINE**］で撮影された場合、画質モードが［**FINE**］のJPEG画像を作成します。

撮影直後の画像確認

撮影直後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。［**しない**］を選択した場合に撮影画像を表示確認するには、▶ボタンを押してください。

縦位置自動回転

縦位置で撮影した画像を、自動的に回転して表示できます。

縦位置自動回転についてのご注意

- ［**縦位置自動回転**］を［**する**］に設定しても、セットアップメニューの［**縦横位置情報の記録**］（□181）を［**しない**］にして撮影した画像は、全て横位置で表示されます。
- 縦位置で撮影した状態のまま画像確認がしやすいように、［**縦位置自動回転**］を［**する**］に設定しても、撮影直後の画像確認時には自動回転しません。

プロテクト設定

大切な画像を誤って削除しないために、画像にプロテクト（保護）を設定できます。ただし、SDカードを初期化（フォーマット 🕮175）すると、プロテクトを設定した画像も削除されますのでご注意ください。

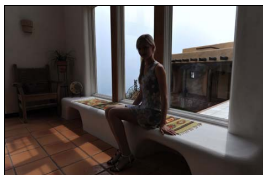
設定	選んだ画像にプロテクトを設定できます。 • 画像選択画面（🕮116）で画像を選び、ロータリーマルチセレクターの▲▼を押してプロテクトを設定してからⓄⓚボタンを押します。
一括解除	全ての画像のプロテクト設定を解除します。

レーティング

選んだ画像にレーティング（重要度）（🕮89）を設定できます。

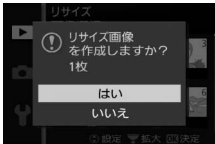
- 画像選択画面（🕮116）で画像を選び、ロータリーマルチセレクターの▲▼を押してレーティングを設定してからⓄⓚボタンを押します。

D-ライティング

選んだ画像の暗い部分を明るく補正できます。逆光で撮影したために顔の部分だけが暗くなった画像や、フラッシュの光量不足で暗くなった画像などに効果的です。

D-ライティング前

D-ライティング後

画像選択画面（🕮116）でD-ライティングを行う画像を選んでからⓄボタンを押すと、編集画面に切り替わります。編集画面では、D-ライティング効果の適用前と適用後のプレビュー画像を表示します。

- ロータリーマルチセレクターで効果の度合いを［**強め**］、［**標準**］、［**弱め**］の3段階から選びます。効果の度合いは、編集画面のプレビュー画像で確認できます。コマンドダイヤルを押している間、プレビュー画像が拡大表示されます。
- Ⓞボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

D-ライティングについてのご注意

- D- ライティングで補正した画像では、撮影時の状況（シーン）によっては、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が強調される場合があります。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。
- ［**D- ライティング**］では、元画像と同じ画像サイズで記録します。ただし、元画像が［**RAW**］または［**RAW+FINE**］で撮影された場合、画像サイズが［**4608×3072**］のJPEG画像を作成します。

リサイズ

サイズの小さい画像を作成します。

画像選択	画像選択画面（□116）で画像を選び、ロータリーマルチセレクターの ▲▼ を押して、ON/OFFを設定してから㊍ボタンを押すと、確認画面が表示されます。［**はい**］を選ぶと、選んだ画像を［**画像サイズの設定**］で選んだ画像サイズにリサイズして別画像として保存します。
画像サイズの設定	リサイズで作成する画像のサイズを［**1280×856; 1.1M**］（1280×856ピクセル）、［**960×640; 0.6M**］（960×640ピクセル）、［**640×424; 0.3M**］（640×424ピクセル）から選べます。

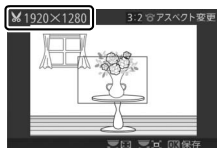
☑ リサイズ画像についてのご注意

リサイズ画像は、拡大表示できないことがあります。

トリミング

選んだ画像の必要な部分だけを切り抜きます。画像選択画面（□116）でトリミングする画像を選んでから㊗ボタンを押すと、編集画面に切り替わります。編集画面では、トリミング範囲の黄色い枠が表示され、次の操作ができます。

切り抜く範囲を狭くする		コマンドダイヤルを左に回すたびに、トリミングで切り抜かれる範囲が狭くなります。
切り抜く範囲を広くする		コマンドダイヤルを右に回すたびに、トリミングで切り抜かれる範囲が広くなります。
画像のアスペクト比（横：縦）を変更する		ロータリーマルチセレクターを回すと、縦横比を3：2、4：3、1：1、16：9に変更できます。
切り抜く範囲を移動する		トリミングで切り抜く範囲を移動します。
トリミングを実行して画像を保存する		トリミングした画像が記録されます。

- トリミング画像の画像サイズは編集画面の左上に表示されます。画像サイズは、トリミング時の拡大率とアスペクト比（横：縦）により変わります。

トリミング画像についてのご注意

トリミング画像は、拡大表示できないことがあります。

動画編集

動画の必要な部分を残します。

始点の設定	選択したフレームを含む後の部分を残します。
終点の設定	選択したフレームを含む前の部分を残します。

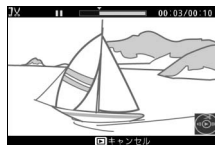
1 ［始点の設定］または［終点の設定］を選ぶ

- ［**始点の設定**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと、選択したフレームを含む後の部分だけを残せます。
- ［**終点の設定**］を選んで▶を押すと、選択したフレームを含む前の部分だけを残せます。

2 編集したい動画を選ぶ

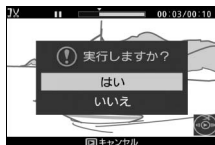
- 画像選択画面（□116）で編集したい動画を選んでⓄボタンを押すと、動画編集画面が表示されます。

3 編集したい部分で動画を一時停止する

- Ⓞボタンを押すと、動画が再生されます（□55）。再生中にロータリーマルチセレクターの▼を押すと、一時停止します。先頭フレームには⏵アイコンが、最終フレームには⇥アイコンが、動画再生インジケーターに表示されます。

4 始点または終点を決める

- ▲を押して、始点または終点を決定します。

5 動画を作成する

- ［**はい**］を選んでⓀボタンを押すと、編集前の動画とは別に、編集した新しい動画として保存されます。

☑ 動画編集時のご注意

- SDカードに充分な空き容量がない場合、動画編集できません。
- 2秒未満の動画は編集できません。手順4で始点または終点を決めるときに、動画ファイルを作成できない位置では、再生時間の表示が赤色に変わって警告します。
- 動画の前後両方を削除するには、まず動画編集で前の部分を削除します。次に、前の部分を削除した動画の後ろの部分を削除してください。

動画編集を開始する前に

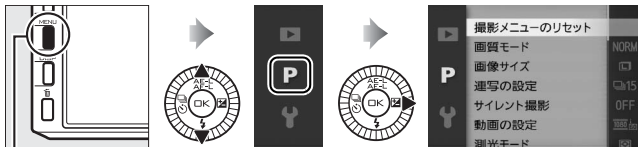
動画を編集するときは、バッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリーをお使いください。

テーマの変更

モーションスナップショット画像に設定した「テーマ」を変更できます。「テーマ」は［**きらめき**］、［**ゆらめき**］、［**やすらぎ**］、［**愛らしさ**］から選べます。［**なし**］に設定すると、BGMは流れません。

- 「テーマ」選択画面でDISPボタンを押すと、BGMを確認できます。
- BGM再生中にコマンドダイヤルを左右に回すと、音量を調整できます。
- 撮影メニューの［**ファイル形式**］（□135）を［**MOV形式**］に設定して撮影したモーションスナップショット画像の場合は、テーマを変更できません。

撮影メニュー

MENUボタンを押して、撮影メニューアイコン（C、P、S、A、M、C、C、C）を選ぶと、撮影メニューが表示されます。

MENUボタン

メニュー項目	内容	初期設定	📖
撮影メニューのリセット	撮影メニューの各項目など、撮影に関する設定をリセットして初期設定に戻します。	ー	128
露出モード	露出を決めるときのモードを選べます。	P プログラムオート※1	128
画質モード	画像を記録するときのファイル形式と画質を設定できます。	NORMAL	129
画像サイズ	画像を記録するときの画像サイズを設定できます。	4608×3072; 14.2M	130
連写の設定	連写撮影（📖61）時の撮影速度を設定できます。	15fps	131
サイレント撮影	シャッター音や電子音を鳴らさずに撮影するかどうかを設定できます。	しない	131
画像の保存枚数	スマートフォトセレクター（📖44）撮影時に、一度の撮影で保存する静止画の枚数を設定できます。	5 枚	131
撮影速度	アドバンスト動画モードでスローモーション動画を撮影（📖52）するときのフレームレートを設定できます。	400fps	132

メニュー項目	内容	初期設定	🕮
動画の設定	HD動画を撮影（🕮49）するときの解像度とフレームレートを設定できます。	1080/60i	133
動画の前後比率	モーションスナップショットモード（🕮57）で、シャッターボタンを全押ししたときの前後を動画で撮影するか、シャッターボタンを全押しした前を動画で撮影するかを設定できます。	1.0秒：0.6秒	134
ファイル形式	モーションスナップショット画像（🕮57）の記録形式を設定できます。	NMS 形式	135
測光モード	適正な露出を得るためにカメラが被写体の明るさを測る方法（測光モード）を設定できます。	マルチパターン測光	135
ホワイトバランス	光源の種類に合わせてホワイトバランスを設定できます。	オート	138
ISO感度設定	ISO感度を設定できます。	オート160–3200	144
Picture Control	記録する画像の仕上がり（ピクチャーコントロール）を、撮影シーンや好みに合わせて選べます。	スタンダード	145
Custom Picture Control	「ピクチャーコントロール」を好みに合わせて調整して、「カスタムピクチャーコントロール」として登録できます。	ー	150
自動ゆがみ補正	広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正して撮影します。	しない	153
色空間	記録する静止画の色空間を指定できます。	sRGB	154
アクティブD-ライティング	白とびや黒つぶれを軽減した、見た目のコントラストに近い画像を撮影できます。	する	155
HDR	輝度範囲の広いシーンでも白とびや黒つぶれの少ない画像を記録します。	しない	156

メニュー項目	内容	初期設定	📖
長秒時ノイズ低減	シャッタースピードが遅いときに発生するノイズを低減できます。	しない	157
高感度ノイズ低減	ISO感度が高くなるほど発生しやすいノイズを低減できます。	する	157
動画音声の設定	動画撮影時の内蔵マイクまたは別売のステレオマイクロホンME-1の感度の程度を設定します。また、風切り音を低減するかどうかを設定できます。	録音設定：マイク感度 オート（A） 風切り音低減：する	158
手ブレ補正	手ブレ補正機能のある1 NIKKORレンズの装着時に、手ブレ補正の設定ができます。	ACTIVE/ON※2	159
フォーカスモード	撮影目的にあわせて、ピントの合わせ方を選べます。	📖161をご覧ください。	160
AFエリアモード	ピントを合わせるAFエリアをカメラがどのように選択するかを設定できます。	オートエリア※3	165
顔認識	人物を撮影する場合に、顔認識をするかどうかを設定できます。	する※4	168
内蔵AF補助光の照射	暗い場所でもAF補助光を自動的に照射させないように設定できます。	する	169
フラッシュ発光	内蔵フラッシュまたは別売のスピードライトの発光方式を設定できます。	フラッシュ発光モード種別：TTLモード マニュアル発光モード：Full	170
フラッシュ調光補正	内蔵フラッシュまたは別売のスピードライトの調光補正量を設定できます。	0.0	171

※1 モーションスナップショットモードの場合は［**おまかせシーン**］になります。
※2 装着しているレンズによって異なります（📖159）。
※3 アドバンスト動画が［**スローモーション**］の場合は、常に画面中央のAFエリア内の被写体にピントが合います。
※4 アドバンスト動画が［**スローモーション**］の場合は、顔認識は行いません。

撮影メニューのリセット

撮影メニューの各項目など、撮影に関する設定をリセットして初期設定に戻します（□125、201）。

露出モード

撮影の意図に応じて、シャッタースピードと絞り値のそれぞれを自分で設定したり、カメラまかせにしたりすることができます。

SCENE おまかせシーン	カメラが撮影シーンや被写体に合わせて、最適な設定で撮影します（シーンの自動判別、□24）。
P **プログラムオート（□32）**	シャッターチャンスを逃したくないスナップ撮影などに使います。シャッタースピードと絞り値の両方をカメラが自動制御します。
S **シャッター優先オート（□33）**	被写体の動きを強調して撮影したいときなどに使います。シャッタースピードを自分で設定し、絞り値はカメラが自動制御します。
A **絞り優先オート（□34）**	背景のぼかし方を調節して撮影したいときなどに使います。絞り値を自分で設定し、シャッタースピードはカメラが自動制御します。
M **マニュアル（□35）**	シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します。

露出モードがP、S、A、Mの場合のISO感度について

［**ISO感度設定**］（□144）を［**オート160-6400**］、［**オート160-3200**］または［**オート160-800**］に設定すると、シャッタースピードと絞り値で適正露出が得られない場合には、設定した範囲内でカメラが自動的にISO感度を選びます。

画質モード

静止画を記録するときのファイル形式と画質を設定できます。

画質モード		ファイル形式	説明
RAW		NEF	撮像素子の生データ（12ビット圧縮RAW形式）を記録します。撮影時に設定したホワイトバランスやコントラストなどを、パソコン上で変更できます。
FINE	高	JPEG	画像データは約1/4に圧縮されます。
NORMAL	画質		画像データは約1/8に圧縮されます。
BASIC	低		画像データは約1/16に圧縮されます。
RAW+FINE		NEF+JPEG	RAWとJPEG（FINE）の2種類の画像を同時に記録します。

「RAW」についてのご注意

- 現像には付属のソフトウェアViewNX 2や別売のCapture NX 2（🕮185）を使います。ViewNX 2は付属のViewNX 2/Short Movie Creator CD-ROMを使ってインストールできます。
- 画質モードが［**RAW**］のときは、［**画像サイズ**］を変更できません。

RAW画像とJPEG画像の同時記録について

- カメラでの再生時には、JPEG画像だけが表示されます。
- JPEG画像をカメラ上で削除すると、同時記録されたRAW画像も削除されます。

ファイル名について

- このカメラで撮影したモーションスナップショット画像には、NMS_nnnn.xxx、その他の静止画や動画には、DSC_nnnn.xxxという名前が付けられます。nnnnには撮影順に0001～9999までの数字が入ります。xxxには選んだ画質モードによって、次の拡張子が入ります。
  - NEF：RAWの場合
  - JPG：FINE/NORMAL/BASICの場合
  - MOV：動画の場合
- 撮影メニューの［**ファイル形式**］（□135）を［**MOV形式**］に設定したモーションスナップショット画像の場合、DSC_nnnn.xxxという名前が付けられます。
- ［**RAW＋FINE**］で撮影した場合、ファイル名は同じですが、拡張子がそれぞれNEF（RAW画像）とJPG（FINE画像）になります。
- 再生メニューの［**動画編集**］（□122）で作成した動画のファイル名は「DSC_nnnn.xxx」になります。
- 再生メニューの［**D-ライティング**］、［**リサイズ**］または［**トリミング**］で作成した静止画のファイル名は「CSC_nnnn.xxx」になります。
- 撮影メニューの［**色空間**］（□154）を［**Adobe RGB**］にした場合は、ファイル名が「_DSCnnnn.xxx」（または「_CSCnnnn.xxx」）となります。

画像サイズ

静止画を記録するときの画像サイズを設定できます。

画像サイズ		画像の大きさ	プリント時の大きさ※（出力解像度300dpiの場合）
4608×3072; 14.2 M	大	4608×3072ピクセル	約39×26 cm
3456×2304; 8.0 M	サイズ	3456×2304ピクセル	約29.3×19.5 cm
2304×1536; 3.5 M	小	2304×1536ピクセル	約19.5×13 cm

※ピクセル数÷出力解像度（dpi）×2.54 cmで計算しています。

関連ページ

「1枚のSDカードに記録できるコマ数（静止画）と時間（動画）」（□202）

連写の設定

連写撮影（📖61）時の撮影速度を［**5fps**］、［**15fps**］、［**30fps**］、［**60fps**］から設定できます。シャッターボタンを全押ししている間、1秒間に設定したコマ数を撮影します。

- ［**5fps**］に設定すると、メカニカルシャッター（機械式シャッター）で撮影します。ただし、［**サイレント撮影**］を［**する**］に設定すると、エレクトロニックシャッター（電子シャッター）で撮影します。
- ［**15fps**］、［**30fps**］、［**60fps**］に設定すると、エレクトロニックシャッターで撮影します。

サイレント撮影

シャッター音や電子音を鳴らさずに撮影するかどうかを設定できます。

する	静かな場所で、できるだけ音を立てたくないときに、シャッター音や電子音を鳴らさずに撮影できます。 • エレクトロニックシャッターで撮影します。
しない	撮影するときにシャッター音や電子音を鳴らします。 • メカニカルシャッターで撮影します。ただし、［**連写の設定**］を［**15fps**］、［**30fps**］、［**60fps**］に設定すると、エレクトロニックシャッターで撮影します。

画像の保存枚数

スマートフォトセレクター（📖44）撮影時に、一度の撮影で保存する静止画の枚数を設定できます。

1枚	ベストショット1コマのみの静止画が記録されます。撮影後にベストショットを自分で選ぶこと（📖47）はできません。
5枚	ベストショットと候補の合計5コマの静止画が記録されます。

撮影速度

アドバンスト動画モードでスローモーション動画を撮影（□52）するときのフレームレートを設定できます。［**1200 fps**］を選ぶと、画像サイズが小さくなります。

	解像度	ビットレート	最長記録時間	再生時間※
400 fps	640×240ピクセル	約2Mbps	3秒	約40秒
1200 fps	320×120ピクセル	約1Mbps	3秒	約2分

※撮影速度が［**400 fps**］の場合は記録時間の約13.2倍、［**1200 fps**］の場合は約40倍の時間で、スローモーション動画が再生されます。

関連ページ

「1枚のSDカードに記録できるコマ数（静止画）と時間（動画）」（□202）

動画の設定

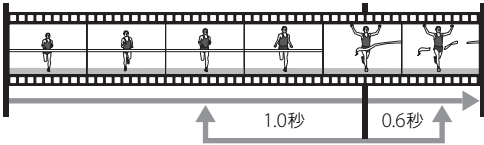
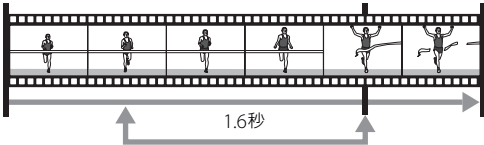
HD動画を撮影（□49）するときの解像度とフレームレートを設定できます。

	解像度	記録レート	ビットレート	最長記録時間
1080/60i	1920×1080ピクセル	59.94fields/s※	約24Mbps	20分
1080/30p	1920×1080ピクセル	29.97fps	約24Mbps	20分
720/60p	1280×720ピクセル	59.94fps	約16Mbps	29分
720/30p	1280×720ピクセル	29.97fps	約12Mbps	29分

※センサー出力は、約60コマ/秒です。

動画撮影中に撮影できる静止画の画像サイズについて

動画撮影中にシャッターボタンを全押しして撮影できる静止画（□51）のアスペクト比（横：縦）は常に3：2になり、［**動画の設定**］の設定に応じて次の画像サイズで記録されます：

- **1080/60i、1080/30p**：4608×3072ピクセル
- **720/60p、720/30p**：1280×856ピクセル

関連ページ

「1枚のSDカードに記録できるコマ数（静止画）と時間（動画）」（□202）

動画の前後比率

モーションスナップショットモード（🕮57）で、シャッターボタンを全押ししたときの前後を動画で撮影するか、シャッターボタンを全押しした前のみを動画で撮影するかを設定できます。

1.0秒：0.6秒	シャッターボタンを全押ししたときの静止画と、その前後約1.6秒を動画として記録します。 半押しする　全押しして静止画を撮影 1.0秒　0.6秒 動画として記録
1.6秒：0秒	シャッターボタンを全押ししたときの静止画と、その前のみ約1.6秒を動画として記録します。 半押しする　全押しして静止画を撮影 1.6秒 動画として記録

ファイル形式

モーションスナップショット画像（□57）の記録形式を設定できます。

NMS形式	4秒のMOV動画と、1枚のJPEG画像を記録します。パソコンで再生するには、ViewNX 2が必要です。
MOV形式	約10秒間のMOV動画を記録します。一般的な動画再生ソフトで再生できます。カメラでの再生方法については、「動画を再生する」（□55）を参照してください。 • 撮影直後の画像確認（□58、117）は行いません。

測光モード

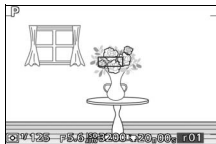
適正な露出を得るためにカメラが被写体の明るさを測る方法（測光モード）を設定できます。

マルチパターン測光	ほとんどの撮影状況に対応できる測光モードです。画面の広い領域を測光して、被写体の輝度（明るさ）分布、色、距離や構図などさまざまな情報を瞬時に分析するため、見た目に近い画像が得られます。
中央部重点測光	画面の中央部分を重点的に測光します。画面中央にメインの被写体を大きく配置して撮影する場合などに適しています。 • 露出倍数のかかるフィルターをお使いになるときは、中央部重点測光をおすすめします。
スポット測光	選んだAFエリアに重なる部分だけを測光します。逆光時や被写体の明暗差が激しいときなど、狭い範囲での露出を基準にして撮影したい場合に適しています。 • 測光エリアは、AFエリアに連動します。ただし、［**AFエリアモード**］（□165）が［**オートエリア**］のときは、中央のAFエリアに相当する部分を測光します。また、顔認識で人物を撮影するとき（□25）は、認識した顔の中心のAFエリアに相当する部分を測光します。

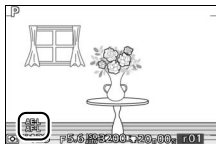
AEロック撮影する

カメラが被写体を測光して決めた露出（明るさ）を意図的に固定することを「AEロック」といいます。露出を合わせたい部分とその周囲とで極端に明るさが異なる場合や、明るさが違う被写体を同じ露出で撮影したい場合などに効果的です。

1 露出を合わせたい被写体を画面の中央付近に配置し、シャッターボタンを半押しする

- AFエリアが緑色に点灯していることをご確認ください。

2 露出を固定（ロック）する

- シャッターボタンを半押ししたまま、AE/AFロックボタン（ロータリーマルチセレクターのAE-L/AF-L）を押すと、露出が固定されます。シャッターボタンから指を放しても、ピントと露出が固定されます。
- 液晶モニターに**AE-L/AF-L**マークが点灯します。

3 AEロックを行ったままで構図を変え、シャッターボタンを全押しして撮影する

AEロックを解除するには

AEロックした状態で、AE/AFロックボタンを再度押すとAEロックが解除されます。

測光モードが自動で選ばれる撮影モード

次の撮影モードでは、カメラが認識した撮影シーンに適した測光モードが自動的に選ばれます。

- オートモード
- ベストモーメントキャプチャーモード
- モーションスナップショットモード（［**露出モード**］を［SCENE **おまかせシーン**］に設定している場合）

測光モードについて

AEロックを行うときは、測光モードを［**中央部重点測光**］または［**スポット測光**］に設定すると効果的です（□135）。

関連ページ

AE/AFロックボタンを押したときの動作を変更する → Y［**AE/AF-Lボタンの機能**］（□178）

ホワイトバランス

光源に合わせて、画像が見た目に近い色で撮影されるようにすることを「ホワイトバランスを合わせる」といいます。

ホワイトバランスを選ぶ

初期設定の［AUTO**オート**］でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更してください。

AUTO	**オート**	カメラが自動的にホワイトバランスを調節します。ほとんどの撮影状況に適しています。
	電球	白熱電球下での撮影に適しています。
	蛍光灯	白色蛍光灯下での撮影に適しています。
	晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
	フラッシュ	フラッシュを使って撮影する場合に適しています。
	曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
	晴天日陰	晴天の日陰での撮影に適しています。
PRE	**プリセットマニュアル**	特殊な照明の下などでの撮影に適しています。詳しくは、「事前に取得したホワイトバランスを使う（プリセットマニュアル）」（□141）をご覧ください。

ホワイトバランスが自動で選ばれる撮影モード

次の撮影モードでは、カメラが認識した撮影シーンに適したホワイトバランスが自動的に選ばれます。

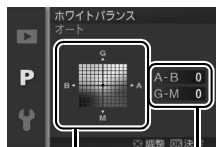
- オートモード
- ベストモーメントキャプチャーモード
- モーションスナップショットモード（［**露出モード**］を［SCENE **おまかせシーン**］に設定している場合）

ホワイトバランスを微調整する

1 設定したいホワイトバランスを選ぶ

- ホワイトバランスの一覧画面でホワイトバランスを選びます。

2 微調整画面を表示する

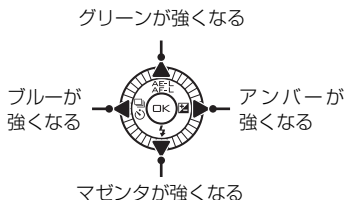
- ロータリーマルチセレクターの▶を押すと、微調整画面が表示されます。

3 微調整値を設定する

- ▲▼◀▶を押して、座標上のカーソルを動かします。
- A（アンバー）、B（ブルー）、G（グリーン）、M（マゼンタ）の4方向で、各方向6段まで微調整できます。

グリーンが強くなる

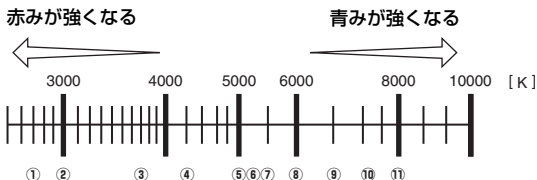
ブルーが強くなる

アンバーが強くなる

マゼンタが強くなる

4 決定する

- ⓞⓚボタンを押して決定します。

色温度について

光の色には、赤みを帯びたものや青みを帯びたものがあり、人間の主観で光の色を表すと、見る人によって微妙に異なります。そこで、光の色を絶対温度（K：ケルビン）という客観的な数字で表したのが色温度です。色温度が低くなるほど赤みを帯びた光色になり、色温度が高くなるほど青みを帯びた光色になります。

ホワイトバランスの微調整について

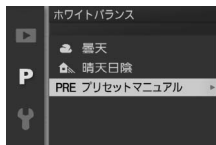
- ［**PREプリセットマニュアル**］の場合、微調整画面は表示されません。
- ホワイトバランスの微調整画面で表示されている色は、色温度方向の目安の色を表しています。微調整画面で設定しても、設定したそのままの色の画像にはならない場合があります。たとえば、ホワイトバランスを［**電球**］に設定してB（ブルー）方向に微調整しても、青色が強い画像にはなりません。
- ホワイトバランスを微調整すると、詳細表示（□5）で微調整したホワイトバランスのアイコンにアスタリスク（*）が表示されます（□4）。

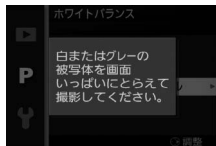
事前に取得したホワイトバランスを使う（プリセットマニュアル）

特殊な照明の下で撮影するときなど、［**AUTOオート**］や［**電球**］などの設定では望ましい結果が得られない場合に使います。

1 撮影時に使う照明と、無彩色（白またはグレー）の被写体を用意する

2 ［PREプリセットマニュアル］を選ぶ

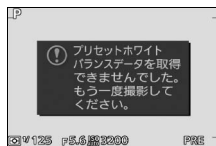
- ホワイトバランスの一覧画面で［**PREプリセットマニュアル**］を選びます。

3 プリセットデータ取得の確認画面で［はい］を選ぶ

- ロータリーマルチセレクターの▶を押すと、プリセットデータ取得の確認画面が表示されます。［**はい**］を選んで㊋ボタンを押します。
- 前回取得したプリセットマニュアルデータを使いたいときは、［**いいえ**］を選んで㊋ボタンを押します。
- 右のメッセージが画面に表示された後、プリセットマニュアルデータ取得モードに入ります。

- 液晶モニターで**PRE**が点滅します。

4 PREの点滅中に、撮影時に使う照明の下で、用意した無彩色（白またはグレー）の被写体を液晶モニターの画面いっぱいにとらえて、シャッターボタンを全押しする

- ピントが合わなくてもシャッターがきれ、プリセットマニュアルデータが取得されます。
- シャッターボタンを押しても、SDカードに画像は記録されません。

5 正常にプリセットマニュアルデータが取得されたことを確認する

- データが取得されると、液晶モニターに［**取得に成功しました**］と表示されます。メッセージの表示中にシャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影できます。
- 液晶モニターに右のように表示された場合、データ取得は失敗です。原因として、被写体が明るすぎる、または暗すぎることが考えられます。もう一度手順4からやり直してください。

☑ データ取得についてのご注意

- カメラでプリセットマニュアルデータを取得するたびに、以前取得したプリセットマニュアルデータは、新しいデータに置き換えられますので、ご注意ください。
- ホワイトバランスを厳密に合わせたいときは、被写体をグレー（ホワイトバランス取得用の18%標準反射板）にしてプリセットマニュアルデータを取得してください。
- 無彩色（白またはグレー）の被写体を基準にプリセットマニュアルデータを取得するときは、カメラが露出を通常よりも1段オーバーになるように自動的に調整します。撮影モードが**M**の場合は、露出インジケーターを確認して、適正露出になるよう設定してください（□35）。

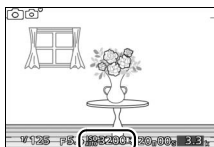
プリセットマニュアル取得モードの時間制限について

プリセットマニュアル取得モードは、何も操作しないままセットアップメニュー［**オートパワーオフ**］（□177）で設定した時間（初期設定では1分）が過ぎると解除されます。

ISO感度設定

一般的に、ISO感度を高くするほど暗い場所での撮影や動いている被写体の撮影などに効果的ですが、一方で、撮影した画像に多少ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生する場合があります。

A6400 **オート 160-6400**、 A3200 **オート 160-3200**、 A800 **オート 160-800**	カメラが自動的にISO感度を決めるときの範囲を選べます（感度自動制御）。［**オート 160-800**］の場合、選んだ範囲の上限値より感度が高くならないため、画像のノイズを抑える効果があります。
160、**200**、**400**、**800**、**1600**、**3200**、**6400**	ISO感度を選んだ値に固定します。

- ［**オート 160-6400**］、［**オート 160-3200**］、［**オート 160-800**］に設定すると、液晶モニターに**ISO AUTO**マークと自動制御されたISO感度が表示されます。
- 高感度で撮影した画像は、ノイズが発生しやすくなります。

Picture Control（ピクチャーコントロール）

このカメラには、被写体や撮影シーンに合わせて選ぶことのできる「ピクチャーコントロール（Picture Control）」が搭載されています。

SD スタンダード	鮮やかでバランスの取れた標準的な画像になります。 • ほとんどの撮影状況に適しています。
NL ニュートラル	素材性を重視した自然な画像になります。 • 撮影した画像を積極的に調整、加工する場合に適しています。
VI ビビッド	メリハリのある生き生きとした色鮮やかな画像になります。 • 青、赤、緑など、原色を強調したいときに適しています。
MC モノクローム	白黒やセピアなど、単色の濃淡で表現した画像になります。
PT ポートレート	人物の肌が滑らかで自然な画像になります。
LS 風景	自然の風景や街並みが色鮮やかな画像になります。

［Picture Control］と［Custom Picture Control］について

- 撮影メニューの［**Picture Control**］では、ピクチャーコントロールを撮影目的や好みに合わせて選び、調整できます（□146）。
- ［**Custom Picture Control**］では、調整したピクチャーコントロールをカスタムピクチャーコントロールとして登録したり（□150）、SDカードを使って、同じ機種のカメラやピクチャーコントロールに対応するソフトウェアと共用する（□151）ことができます。

ピクチャーコントロールが自動で選ばれる撮影モード

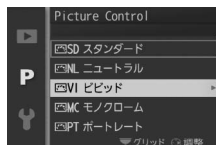
次の撮影モードでは、カメラが認識した撮影シーンに適したピクチャーコントロールが自動的に選ばれます。

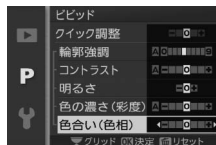
- オートモード
- ベストモーメントキャプチャーモード
- モーションスナップショットモード（［**露出モード**］を［**SCENE おまかせシーン**］に設定している場合）

ピクチャーコントロールを調整する

ピクチャーコントロールやカスタムピクチャーコントロール（□150）の設定は、撮影目的や好みに合わせて調整できます。

1 調整したいピクチャーコントロールを選ぶ

- ピクチャーコントロールの一覧画面でピクチャーコントロールを選びます。
- ピクチャーコントロールを調整しないで使う場合は、Ⓞボタンを押します。

2 ピクチャーコントロールを調整する

- ロータリーマルチセレクターの▶を押すと、ピクチャーコントロールの調整画面が表示されます。
- ▲または▼で調整する項目（□147）を選んで、◀または▶で値を設定します。
- ［**クイック調整**］を選ぶと、各項目のレベルを自動的に調整します（□147）。
- 🗑ボタンを押すと初期設定の内容に戻ります。

3 決定する

- Ⓞボタンを押して決定します。

ピクチャーコントロールを調整した場合の表示について

ピクチャーコントロールを調整すると、手順1の画面でアイコンと項目名の末尾にアスタリスク（＊）が表示されます。また、詳細表示（□5）では調整したピクチャーコントロールのアイコンにアスタリスク（＊）が表示されます（□4）。

ピクチャーコントロール調整時の設定項目

<table>
<tr><td colspan="2">クイック調整※1</td><td>輪郭強調、コントラスト、色の濃さ（彩度）のレベルを自動的に調整します。［－2］～［＋2］の調整ができます。
• －側にするとそれぞれのピクチャーコントロールの特徴を抑えた画像になり、＋側にするとそれぞれのピクチャーコントロールの特徴を強調した画像になります。たとえば［ビビッド］を選んで＋側にクイック調整すると、色の鮮やかさを強調します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">手動調整</td><td>輪郭強調</td><td>輪郭の強弱を調整します。［0］（輪郭強調しない）～［9］までの手動調整と、自動で調整する［A］（オート）があります。
• 数字が大きいほどくっきりとした画像になり、小さいほどソフトな画像になります。</td></tr>
<tr><td>コントラスト</td><td>画像のコントラストを調整します。［－3］～［＋3］までの手動調整と、自動で調整する［A］（オート）があります。
• －側にすると軟調な画像になり、＋側にすると硬調な画像になります。晴天時の人物撮影や白とびが気になる場合などは－側が、霞んだ遠景の撮影などには＋側が適しています。</td></tr>
<tr><td>明るさ</td><td>白とびや黒つぶれを抑えながら画像の明るさを調整します。［－1］～［＋1］の調整ができます。
• －側にすると暗くなり、＋側にすると明るくなります。</td></tr>
<tr><td>色の濃さ（彩度）※2</td><td>画像の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。［－3］～［＋3］までの手動調整と、自動で調整する［A］（オート）があります。
• －側にすると鮮やかさが抑えられ、＋側にするとより鮮やかになります。</td></tr>
<tr><td>色合い（色相）※2</td><td>画像の色合いを調整します。［－3］～［＋3］の調整ができます。
• 肌色を基準にした場合、－側にすると赤みが増し、＋側にすると黄色みが増します。</td></tr>
</table>

手動調整	フィルター効果※3	白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したときのような効果が得られます。フィルター効果は［**OFF**］、［**Y**］、［**O**］、［**R**］、［**G**］から選べます（□149）。
	調色※3	印画紙を調色したときのように、画像全体の色調を調整できます。調色は［**B&W**］、［**Sepia**］、［**Cyanotype**］、［**Red**］、［**Yellow**］、［**Green**］、［**Blue Green**］、［**Blue**］、［**Purple Blue**］、［**Red Purple**］から選べます（□149）。

※1［**ニュートラル**］と［**モノクローム**］はクイック調整できません。カスタムピクチャーコントロール（□150）の場合も、クイック調整できません。手動調整した後にクイック調整を行うと、手動調整で設定した値は無効になります。

※2［**モノクローム**］や［**モノクローム**］を元にしたカスタムピクチャーコントロールのときは、表示されません。

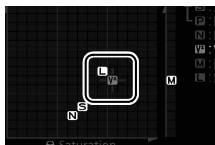
※3［**モノクローム**］や［**モノクローム**］を元にしたカスタムピクチャーコントロールのときのみ表示されます。

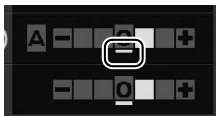
［輪郭強調］、［コントラスト］、［色の濃さ（彩度）］の［A］（オート）についてのご注意

同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がり具合は変化します。

ピクチャーコントロール調整時のグリッド表示

- ピクチャーコントロール調整中にコマンドダイヤルを押している間、調整しているピクチャーコントロールのコントラストと彩度が座標で表示され、他のピクチャーコントロールとの関係がわかります。ボタンを放すと、調整画面に戻ります。
- ［**モノクローム**］の場合、グリッド表示はコントラストのみ表示されます。

- ［**コントラスト**］または［**色の濃さ（彩度）**］に［**A**］（オート）が設定されたピクチャーコントロールは、グリッド表示時にアイコンが緑色で表示されます。また、各軸に平行な上下または左右の線が表示されます。

ピクチャーコントロール調整時のアンダーバーについて

ピクチャーコントロール調整中に各項目に表示されるアンダーバーは、調整する前の値を示しています。前回調整した値を参考にして調整するときに便利です。

［モノクローム］の［フィルター効果］について

［**フィルター効果**］には、次のような効果があります。

Y（黄※）	コントラストを強調する効果があり、風景撮影で空の明るさを抑えたい場合などに使います。［**Y**］→［**O**］→［**R**］の順にコントラストが強くなります。
O（オレンジ※）	
R（赤※）	
G（緑※）	肌の色や唇などを落ち着いた感じに仕上げます。ポートレート撮影などに使います。

※市販の白黒写真用カラーフィルターの色です。［**フィルター効果**］で得られる効果は、市販の白黒写真用カラーフィルターよりも強くなります。

［モノクローム］の［調色］について

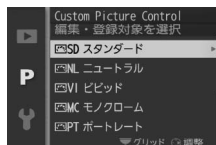
［**調色**］の項目（［**B&W**］以外）を選んでロータリーマルチセレクターの▼を押すと、さらに色の濃淡を7段階から選べます。◀または▶を押して選んでください。

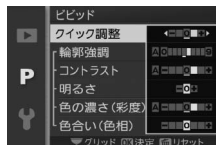
Custom Picture Control（カスタムピクチャーコントロール）

カメラに搭載された「ピクチャーコントロール」は、好みに合わせて調整して、「カスタムピクチャーコントロール」として登録できます。

カスタムピクチャーコントロールを登録する

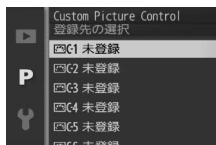
1 ［編集と登録］を選ぶ

- ［Custom Picture Control］画面で［**編集と登録**］を選んでロータリーマルチセレクターの▶を押すと、［編集・登録対象を選択］画面が表示されます。

2 元にするピクチャーコントロールを選ぶ

- ピクチャーコントロールを選んで▶を押すと、編集画面が表示されます。
- 編集を行わない場合は㊎ボタンを押します。［登録先の選択］画面が表示されます（手順4へ）。

3 ピクチャーコントロールを調整する

- 項目の内容や調整方法は［**Picture Control**］（🕮145）と同じです。
- ㊎ボタンを押すと［登録先の選択］画面が表示されます。
- 🗑ボタンを押すと初期設定の内容に戻ります。

4 登録先を選択する

- C-1〜9（カスタム1〜9）の中から登録先を選びます。
- ㊊ボタンを押すと、カスタムピクチャーコントロールを登録して、撮影メニューに戻ります。
- 登録したピクチャーコントロールは、ピクチャーコントロールの一覧画面に表示されます。

登録したピクチャーコントロールを削除するには
［**Custom Picture Control**］で［**削除**］を選ぶと、登録したカスタムピクチャーコントロールを削除できます。

SDカードを使ってピクチャーコントロールを対応ソフトウェアと共用する

付属のViewNX 2や別売のCapture NX 2のピクチャーコントロールユーティリティー（Picture Control Utility）で作成したカスタムピクチャーコントロールを、SDカードからカメラに読み込んで登録したり、カメラで作成したカスタムピクチャーコントロールをSDカードにコピーすることができます。また、SDカード上の不要なカスタムピクチャーコントロールを削除することもできます。

1 ［Custom Picture Control］画面で［メモリーカードを使用］を選ぶ

- ［**メモリーカードを使用**］を選んでロータリーマルチセレクターの▶を押すと、［メモリーカードを使用］画面が表示されます。

2 ［カメラに登録］、［メモリーカードから削除］または［メモリーカードにコピー」を選ぶ

［**カメラに登録**］：

- SDカードにあるカスタムピクチャーコントロールをカメラに登録できます。カメラに登録したいカスタムピクチャーコントロールと登録先（C-1～9（カスタム1～9））を選んで㊋ボタンを押すと、選んだカスタムピクチャーコントロールがカメラに登録されます。

［**メモリーカードから削除**］：

- SDカードにあるカスタムピクチャーコントロールを選んで削除できます。右のような確認画面が表示されるので、［**はい**］を選んで㊋ボタンを押すと、選んだカスタムピクチャーコントロールを削除できます。

［**メモリーカードにコピー**］：

- カメラにあるカスタムピクチャーコントロールをSDカードにコピーできます。SDカードにコピーしたいカスタムピクチャーコントロールとコピー先（1 ～ 99）を選んで㊋ボタンを押すと、選んだカスタムピクチャーコントロールがSDカードにコピーされます。

SDカードへのコピー /SDカードからの削除について

- カメラに搭載されているピクチャーコントロール（□145）は、コピーや削除ができません。
- SDカードに保存できるカスタムピクチャーコントロールは、99個までです。

自動ゆがみ補正

［**する**］にすると、広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正して撮影します。

- ［**自動ゆがみ補正**］は、1 NIKKORレンズを装着した場合のみ機能します。マウントアダプター FT1（🕮183）を使用してNIKKORレンズやその他一部のレンズを装着した場合は機能しません。また、対応レンズ以外を装着した場合については、動作を保証しません。

自動ゆがみ補正についてのご注意

- ［**する**］の場合、シャッターをきってから、記録が始まるまで時間がかかる場合があります。
- ゆがみを大きく補正するほど、画像周辺部は切り取られます。

色空間

記録する静止画の色空間を指定します。

sRGB	sRGB色空間は、画像調整を行わずに再生やプリントをする場合に適しています。
Adobe RGB	Adobe RGB色空間は、［**sRGB**］に比べて色域が広いため、商業印刷に適しています。

色空間についてのご注意

- カラーマネージメント機能を持たないアプリケーションで画像を開く場合、または印刷する場合には、sRGB色空間をおすすめします。
- ExifPrint、市販のプリンターなどのダイレクトプリント、キオスク端末プリント、およびプリントサービスなどでプリントする場合、sRGB色空間をおすすめします。Adobe RGB色空間で記録すると、画像の彩度が低下することがあります。
- Adobe RGB色空間で記録したJPEG画像は、DCFオプション色空間に対応しています。DCFオプション色空間に対応しているアプリケーションやプリンターの場合、自動的に正しい色空間が設定されます。DCFオプション色空間に対応していないアプリケーションやプリンターの場合は、Adobe RGB色空間に設定してください。詳細については、アプリケーションやプリンターの説明書をご覧ください。
- 動画やモーションスナップショット画像、動画撮影中にシャッターボタンを全押しして撮影した静止画は、常にsRGBで記録されます。

ViewNX 2またはCapture NX 2をお使いの場合

付属のソフトウェアViewNX 2または別売のCapture NX 2をお使いになると、正しい色空間での処理が自動的に行われます。

色空間とは

色を数値化して表現するときに、どの色にどの数値を対応させるかを定めたもので、「カラースペース」ともいいます。

アクティブD-ライティング

撮影前にあらかじめ［**アクティブD-ライティング**］を［**する**］に設定しておくと、被写体に応じてカメラが自動でハイライト部の白とびを抑え、シャドー部の黒つぶれを軽減するため、見た目のコントラストに近い画像に仕上がります。暗い室内から外の風景を撮ったり、直射日光の強い海辺など明暗差の大きい景色を撮影するのに効果的です。アクティブD-ライティングを設定したときは、測光モードを［**マルチパターン測光**］に設定して撮影することをおすすめします（□135）。

アクティブD-ライティング
［**しない**］

アクティブD-ライティング
［**する**］

アクティブD-ライティングについてのご注意

- アクティブD-ライティングを設定して撮影するとき、撮影シーンによっては、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が強調される場合があります。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。

［アクティブD-ライティング］と再生メニュー［D-ライティング］の違い

［**アクティブD-ライティング**］を設定してから撮影すると、撮影シーンに応じて露出や階調を制御し、ハイライト部やシャドー部および中間調を適切に調整して画像を記録します。一方、［**D-ライティング**］は、撮影済みの画像に対して、階調を再調整してシャドー部を明るく補正します。

HDR

撮影前にあらかじめ［**HDR**］を［**する**］に設定しておくと、1回の撮影で露出が異なる画像を連続で撮影して合成する、HDR（ハイダイナミックレンジ）合成を行います。白とびや黒つぶれの少ない、シャドー部からハイライト部まで幅広く再現された画像になります。明暗差の大きい風景撮影に適しています。

露出暗めで撮影した画像　＋　露出明るめで撮影した画像　→　HDRで合成された画像

- 撮影画面にHDRアイコンが表示されます。
- 合成処理中は、液晶モニターにメッセージが表示され、表示が消えるまで次の撮影はできません。
- 合成処理が終了すると、合成後の画像が再生されます。

［HDR］を［する］にした場合のご注意

- 撮影した画像の周辺部は切り取られます。
- 動いている被写体を撮影する場合や撮影時の手ブレの量が大きい場合は、正しく合成されないことがあります。
- 撮影シーンによっては、明るい被写体の周辺に暗い影がでたり、暗い被写体の周辺が明るくなったりします。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。
- 内蔵フラッシュと別売のスピードライトは発光しません。
- ［**連写とセルフタイマー**］（□61）を連写アイコン（連写）に設定していても、S（単写）として動作します。

長秒時ノイズ低減

低速シャッタースピードになったときに発生するノイズ（ざらつき、むら、輝点）を低減します。

する	シャッタースピードが1秒より低速になった場合に、長秒時ノイズの低減処理を行います。画像を記録するまでの時間は、通常の撮影時に比べて約1.5〜2倍になります。
しない	遅いシャッタースピードで撮影する場合のみ、長秒時ノイズの低減処理を行います。この場合のノイズ低減効果は、［**する**］に設定したときよりも弱めになり、画像を記録するまでの時間が通常の撮影時に比べて多少長くなります。

長秒時ノイズ低減処理は、撮影後に行われます。処理中は、液晶モニターにメッセージが表示され、表示が消えるまで、撮影はできません。

長秒時ノイズ低減についてのご注意

- 連続撮影速度は遅くなり、連続撮影可能コマ数も少なくなります。
- 処理中に電源をOFFにすると、処理は行われず、長秒時ノイズの低減処理を行う前の画像が保存されます。

高感度ノイズ低減

感度が高くなるほど発生しやすいノイズ（ざらつき、むら、すじ）を低減します。

する	常に高感度ノイズ低減処理を行います。
しない	ISO感度を高くして撮影する場合のみ、ノイズ低減処理を行います。この場合のノイズ低減効果は、［**する**］に設定したときよりも弱めになります。

動画音声の設定

動画撮影時の内蔵マイクまたは別売のステレオマイクロホンME-1の感度の設定と、風切り音低減の設定ができます。

録音設定

マイクの感度の程度を設定します。

A マイク感度 オート(A)	設定した感度で録音します。
3 マイク感度 高(3)	
2 マイク感度 中(2)	
1 マイク感度 低(1)	
録音しない	音声は記録しません。

音声が記録されていない動画の表示について

［**録音設定**］を［**録音しない**］にして撮影した動画の場合、1コマ表示モード時と再生中に（音声なしマーク）が表示されます。

風切り音低減

動画の撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定します。

する	ローカットフィルター機能により、マイクに吹き付ける風の音を抑えて記録します。 • 風切り音以外の音も聞こえにくくなることがあります。
しない	風切り音を低減しません。

風切り音低減について

別売のステレオマイクロホンME-1使用時に風切り音低減を行わないようにするには、カメラの［**風切り音低減**］を［**しない**］に設定し、マイクのローカットフィルタースイッチを「FLAT」に切り換えてください。

手ブレ補正

手ブレ補正機能のある1 NIKKORレンズの装着時に、手ブレ補正の設定ができます。

- 次の項目が表示された場合は、状況に応じてNORMALモードとACTIVE モードの2種類の手ブレ補正機能を設定できます。

NORMAL	静止して撮影するときなど、比較的揺れの少ない場合の手ブレを補正します。
ACTIVE	乗り物に乗っている場合や歩きながら撮影する場合など、揺れの激しい条件でのブレから通常の手ブレまで補正します。
OFF	手ブレ補正を行いません。

- 次の項目が表示された場合は、手ブレ補正機能のON/OFFを切り換えられます。

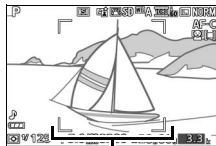
ON	常に手ブレ補正を行います。
OFF	手ブレ補正を行いません。

☑ 手ブレ補正使用時のご注意

- パンニング（流し撮り）でカメラの向きを大きく変えた場合、流した方向の手ブレ補正は機能しません。たとえば、流し撮りで横方向にパンニングすると、縦方向の手ブレだけが補正され、流し撮りができます。
- 手ブレ補正の原理上、シャッターをきると構図がわずかに動くことがありますが、異常ではありません。

フォーカスモード

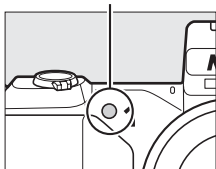
撮影目的にあわせて、ピントの合わせ方を選べます。

AF-A	**AF自動切り換え**	被写体が静止しているときは［**AF-S**］、動いているときは［**AF-C**］に自動的に切り替わります。
AF-S	**シングルAF**	静止している被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った時点でフォーカスがロックされます。ピントが合っていないときはシャッターはきれません。
AF-C	**コンティニュアスAF**	動いている被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半押ししている間、カメラは被写体の動きに合わせてAFエリアフレーム内でピントを合わせ続けます。ピントの状態に関係なく、シャッターがきれます。 • AF エリアフレームは詳細表示の場合のみ表示されます。 AFエリアフレーム
AF-F	**常時AF**	動いている被写体の撮影に適しています。カメラは常に被写体の動きに合わせてピントを合わせ続けます。ピントの状態に関係なく、シャッターがきれます。
MF	**マニュアルフォーカス**	ピントを自分で合わせたいときに選びます（□163）。ピントの状態に関係なく、シャッターがきれます。

設定できるフォーカスモード

設定できるフォーカスモードは、撮影モードによって異なります。

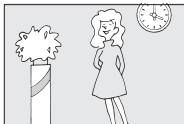
撮影モード		フォーカスモード
P、S、A、Mモード		AF-A（初期設定）、AF-S、AF-C、MF
アドバンスト動画モード	［HD動画］	AF-F（初期設定）、AF-S、MF
	［スローモーション］	AF-S（初期設定）、MF

AF補助光について

- 被写体が暗い場合などにシャッターボタンを半押しすると、ピント合わせのために、AF補助光を自動的に照射します。
  ただし、次の場合は照射しません：
  - 動画撮影中
  - アドバンスト動画モードのとき（□49）
  - 撮影メニュー［**内蔵AF補助光の照射**］（□169）を［**しない**］に設定しているとき
  - フォーカスモードが［**AF-C**］、［**AF-F**］、［**MF**］または［**AF-A**］で自動的に［**AF-C**］が選ばれたとき
  - AFエリアモード（□165）が［**ターゲット追尾**］の場合、または［**シングルポイント**］で中央以外のAFエリアが選択されたとき
- 使用するレンズの径の大きさによっては、AF補助光がレンズでさえぎられることがあります。
- AF補助光使用時は、レンズフードを取り外してください。

オートフォーカスの苦手な被写体

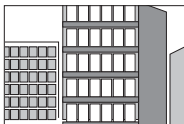
次のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができず、シャッターがきれないことや、ピントが合っていなくても電子音が鳴ってAFエリアが緑色に点灯し、シャッターがきれることがあります。このような場合は、マニュアルフォーカス（0163）でピントを合わせるか、フォーカスロック（0167）を利用してください。

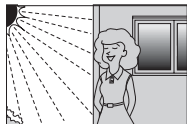
被写体の明暗差がはっきりしない場合

（白壁や背景と同色の服をきている人物など）

遠くのものと近くのものが重なっている被写体

（オリの中の動物など）

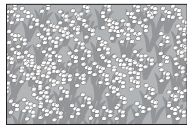
連続した繰り返しパターンの被写体

（ビルの窓やブラインドなど）

被写体の明暗差が極端に異なる場合

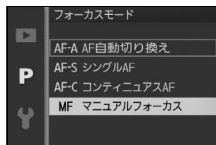
（太陽を背景にした日陰の人物や、イルミネーションのある夜景など）

背景に対してメインの被写体が小さい場合

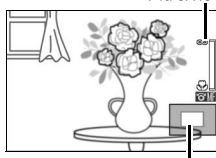
（遠くの建物を背景に近くの人物を撮影する場合など）

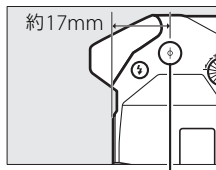
絵柄が細かい場合

（一面の花畑など）

マニュアルフォーカスでピントを合わせる

ピントを自分で合わせたいときや、オートフォーカスが使えない場合、オートフォーカスの苦手な被写体の場合には、マニュアルフォーカスでピントを合わせられます。

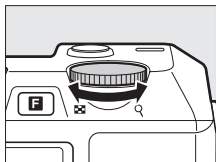
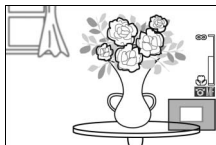
1 フォーカスモードを［MF］（マニュアルフォーカス）にする（□160）

2 ㊎ボタンを押す

- マニュアルフォーカスの設定画面が表示され、画面の中央部が拡大表示されます。

距離基準マーク

距離基準マーク ⊖ は撮影距離の基準となるマークで、カメラ内の撮像面の位置を示します。マニュアルフォーカスや接写などでカメラから被写体までの距離を実測する場合、このマークが基準となります。レンズ取り付け面（レンズマウント）から撮像面までの寸法（フランジバック）は約17mmです。

3 ロータリーマルチセレクターを回してピントを合わせる

- ロータリーマルチセレクターを時計回りに回すと、遠くの被写体にピントが合います。反時計回りに回すと、近くの被写体にピントが合います（現在のピント位置の目安は、フォーカス距離指標で確認できます）。ロータリーマルチセレクターを速く回すほど、高速でピント位置を変えられます。Ⓞボタンを押すと、設定したピントに固定されます。

コマンドダイヤル

- コマンドダイヤルを右に回すごとに拡大率が上がり（最大約10倍）、左に回すごとに拡大率が下がります。
- 拡大表示中は、画面の右下に構図のどの部分を拡大しているかを表すナビゲーションウィンドウ（グレーの枠）が表示されます。
- 拡大表示中にロータリーマルチセレクターの▲▼◀▶で画面をスクロールさせて見たい部分に移動できます。

動画撮影時のマニュアルフォーカスについて

- 動画撮影中またはアドバンスト動画モードが［**スローモーション**］の場合は、Ⓞボタンを押しても拡大表示されません。
- 動画撮影時にフォーカスモードが［**MF**］の場合、ロータリーマルチセレクターを回すと、マニュアルフォーカスでピント合わせができます。ロータリーマルチセレクターを速く回すほど、高速でピント位置を変えられます。
  - 時計回りに回すと、遠くの被写体にピントが合います。
  - 反時計回りに回すと、近くの被写体にピントが合います。

AFエリアモード

ピントを合わせるAF エリアをカメラがどのように選択するかを設定できます。

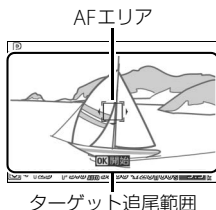
[■] オートエリア	カメラが自動的に、全てのAFエリアから被写体を判別してピントを合わせます。
[▫] シングルポイント	静止している被写体の撮影に適しています。 • ㊍ボタンを押すと、AFエリアの選択画面が表示されます。 • ロータリーマルチセレクターの▲▼◀▶を押すかロータリーマルチセレクターを回してAFエリアを動かし、ピントを合わせたい被写体に重ねます。もう一度、㊍ボタンを押すと、選択画面を終了します。 • シャッターボタンを半押しすると、選んだAFエリアだけを使って、ピント合わせをします。 AFエリア
⊕ ターゲット追尾（🕮166）	動きのある被写体の撮影に適しています。AFエリア内の被写体を追尾してピントを合わせ続けます。

ターゲット追尾で撮影する

1 ［AFエリアモード］を［ターゲット追尾］に設定し、撮影画面で⊛ボタンを押す

- AFエリアの選択画面が表示されます。

2 AFエリアを被写体に重ねる

- ロータリーマルチセレクターの▲▼◀▶を押すかロータリーマルチセレクターを回してAFエリアを動かし、ピントを合わせたい被写体に重ねます。
- ⊛ボタンを押すと、被写体の追尾を開始し、被写体の動きに合わせてAFエリアが右図のターゲット追尾範囲内を移動します。

3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- 追尾動作中にシャッターボタンを半押しすると、AFエリアの位置でピントを合わせます。

4 シャッターボタンを全押しして撮影する

- ⊛ボタンを押すと、追尾を終了します。

ターゲット追尾についてのご注意

次のような場合は、追尾動作が正常に行われないことがありますので、ご注意ください。

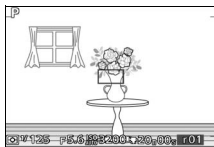
- 被写体の色、明るさが背景と似ている
- 被写体の大きさ、色、明るさが著しく変わる
- 被写体が大きすぎる/小さすぎる
- 被写体が明るすぎる/暗すぎる
- 被写体の動きが速すぎる
- 被写体が隠れたり、画面から外れる

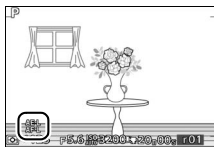
フォーカスロック撮影する

AFエリアが画面中央のときも、ピントを固定（フォーカスロック）すると、構図を工夫して撮影できます。オートフォーカスが苦手な被写体（□162）を撮影する場合にも効果的です。

フォーカスロックを行う前に、AFエリアモード（□165）を［**オートエリア**］以外に設定することをおすすめします。

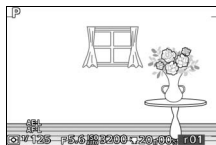
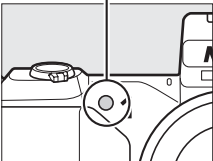
1 ピントを合わせたい被写体を画面の中央付近に配置し、シャッターボタンを半押しする

- ピントが合うと、AFエリアが緑色に点灯します。

2 ピントを固定する

- シャッターボタンを半押ししたまま、AE/AFロックボタン（ロータリーマルチセレクターのAE-L/AF-L）を押すと、シャッターボタンから指を放しても、ピントと露出が固定されます。
- 液晶モニターに**AE-L/AF-L**マークが点灯します。
- フォーカスモード（□160）が［**AF-S**］のときは、シャッターボタンを半押ししている間もピントが固定されます。

フォーカスロックを解除するには

フォーカスロックした状態で、AE/AFロックボタンを再度押すとフォーカスロックが解除されます。

3 フォーカスロックを行ったままで構図を変え、シャッターボタンを全押しして撮影する

- 被写体との距離は変えないでください。フォーカスロック後に被写体との距離が変化した場合は、いったんフォーカスロックを解除し、ピントを合わせ直してください。

関連ページ

AE/AFロックボタンを押したときの動作を変更する → Y［**AE/AF-Lボタンの機能**］（□178）

顔認識

人物を撮影する場合に、顔認識（□25）を使うかどうかを設定できます。［**しない**］を選ぶと、人物を撮影するときも、顔認識を行いません。

内蔵AF補助光の照射

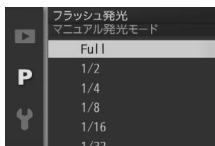
する	オートフォーカスでのピント合わせの際に、次の条件が全て満たされたときに自動的にAF補助光を照射します。※ AF補助光 • 被写体が暗い場合 • アドバンスト動画モード以外の撮影モードの場合 • フォーカスモードが［**AF-S**］、または［**AF-A**］で自動的に［**AF-S**］が選ばれた場合（□160） • ［**AF エリアモード**］（□165）が［**シングルポイント**］で中央のAFエリアが選択されている場合、または［**オートエリア**］の場合 ※動画撮影中はAF補助光は照射されません。
しない	AF補助光を照射しません。被写体が暗いときなどは、オートフォーカスでのピント合わせができなくなる場合があります。

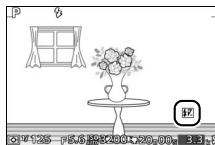
関連ページ

- 「AF補助光について」（□161）
- ［**内蔵AF補助光の照射**］を設定できる撮影モードと露出モード → 「設定できる機能一覧」（□197）

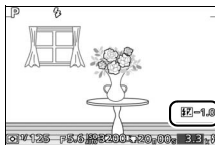
フラッシュ発光

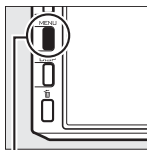
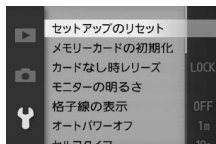
内蔵フラッシュまたは別売のスピードライトの発光方式を設定できます。

TTL⚡	TTLモード	フラッシュの光量は、撮影状況に応じて自動的に調節されます（i-TTL調光）。
M⚡	マニュアル発光モード	［**Full**］（フル発光）の他、［**1/2**］～［**1/32**］の5段階の発光量を選べます。 • ［**Full**］に設定した場合、内蔵フラッシュのガイドナンバー（□184）は約5（ISO 100・m）/約6.3（ISO 160・m）となります（20℃の場合）。

フラッシュ調光補正マークの表示について

［**マニュアル発光モード**］にすると、フラッシュ使用時に、液晶モニターに⚡マークが点滅します。

フラッシュ調光補正

調光補正とは、内蔵フラッシュまたは別売スピードライトの発光量を意図的に変えることで、背景に対する被写体の明るさを調整したいときなどに使います。発光量を多くして被写体をより明るく照らしたり、発光量を少なくして被写体に光が強く当たりすぎないようにするなど、発光量の微妙な調整ができます。

- 調光補正は、1/3段ステップで－3段～＋1段の範囲で設定できます。
- 被写体を明るくしたいときは＋側に、暗くしたいときは－側に補正するのが基本です。
- 調光補正を解除するには、補正量を0.0にしてください。カメラの電源をOFF にしても、補正量の設定は解除されません。
- 補正量を設定すると、液晶モニターに🗲(調光補正)マークが点灯します。

セットアップメニュー

MENUボタンを押して、セットアップメニューアイコン（Ỵ）を選ぶと、セットアップメニューが表示されます。

MENUボタン

メニュー項目	内容	初期設定	🕮
セットアップのリセット	セットアップメニューをリセットして、初期設定に戻します。	—	175
メモリーカードの初期化	SDカードを初期化します。	—	175
カードなし時レリーズ	カメラにSDカードを入れていないときのレリーズ操作を設定できます。	レリーズ禁止	176
モニターの明るさ	液晶モニターと電子ビューファインダーの明るさをそれぞれ調整できます。	液晶モニターの明るさ：0 ファインダーの明るさ：0	176
格子線の表示	撮影時に、液晶モニターと電子ビューファインダーに格子線を表示する/表示しないを設定できます。	しない	176
オートパワーオフ	カメラの電源をONにしたまま何も操作しないで、待機状態になるまでの時間を設定できます。	1分	177
セルフタイマー	セルフタイマー撮影で自動的にシャッターがきれるまでの時間を設定できます。	10秒	177

メニュー項目	内容	初期設定	🕮
リモコン作動時間	リモコンML-L3の送信ボタンを押してからシャッターがきれるまでの時間を設定できます。	瞬時	177
リモコン待機時間	リモコンモード（🕮63）に設定してから、カメラがリモコンからの信号を待ち受ける時間を設定できます。	10分	178
AE/AF-Lボタンの機能	AE/AFロックボタンを押したときの機能を設定できます。	AE-L/AF-L	178
半押しAEロック	シャッターボタンを半押ししたときにAEロックを行うかどうかを設定できます。	しない	178
HDMIの機器制御	HDMI-CEC対応テレビのリモコンを使って、テレビに接続したカメラの操作を行えます。	する	106
フリッカー低減	蛍光灯や水銀灯などの光源下で、撮影するときの表示や撮影する動画にちらつきや横縞が生じる「フリッカー現象」を低減できます。	—	179
連番リセット	ファイル名に使われるファイル番号の連番をリセットします。	—	179
地域と日時	現在地と日時、年月日の表示順を設定できます。	夏時間の設定：しない	180
言語（Language）	メニュー画面やメッセージの表示言語を選べます。	—	181
縦横位置情報の記録	撮影時のカメラの縦横位置情報を画像に記録できます。	する	181
ワイヤレスモバイルアダプター	ワイヤレスモバイルアダプターを取り付けた場合に、無線LAN接続を開始します。	—	78
GPS	GPS　機器と接続時のオートパワーオフ、取得したGPSデータの表示、GPSによる日時合わせを設定できます。	オートパワーオフ：無効 GPSによる日時合わせ：する	76

メニュー項目	内容	初期設定	📖
ピクセルマッピング	撮像素子と画像処理機能のチェックと最適化を行います。	—	182
ファームウェアバージョン	「ファームウェア」のバージョンを表示します。	—	182

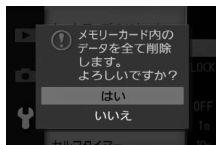
セットアップのリセット

セットアップメニューをリセットして、初期設定に戻します（［**フリッカー低減**］、［**地域と日時**］、［**言語（Language）**］を除く）。

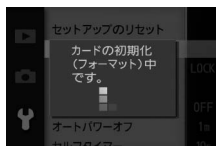
メモリーカードの初期化

このカメラに他の機器で使ったSDカードを初めて入れたときは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。**SDカードを初期化すると、カード内のデータは全て削除されます。**必要なデータがある場合は、初期化する前にパソコンなどに保存してください（📖93、97）。

1 ［はい］を選ぶ

- 初期化をキャンセルするには、［**いいえ**］を選びます。

2 ㊙ボタンを押す

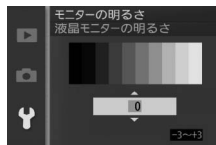
- 初期化が始まり、右の画面が表示されます。
- 初期化が完了してセットアップメニュー画面に戻るまで、電源をOFFにしたり、バッテリーやSDカードを取り出したりしないでください。

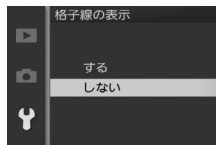
カードなし時レリーズ

カメラにSDカードを入れていないときのレリーズ操作を設定できます。

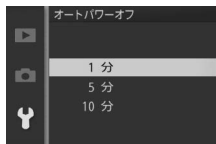
LOCK　**レリーズ禁止**	SDカードを入れていないときは、シャッターはきれません。
OK　**レリーズ許可**	SDカードを入れていないときでも、シャッターがきれます。ただし、SDカードが入っていないときに撮影した画像は、液晶モニターに表示されますが、画像上に［**デモモード**］と表示され、プリントやSDカードへの保存はできません。

モニターの明るさ

液晶モニターと電子ビューファインダーの明るさをそれぞれ調整できます。

［**液晶モニターの明るさ**］または［**ファインダーの明るさ**］を選んでロータリーマルチセレクターの▶を押すと、明るさの調整画面が表示されます。▲または▼を押すと、－3～＋3の調整ができます。＋にすると明るく、－にすると暗くなります。

格子線の表示

撮影時に、液晶モニターと電子ビューファインダーに構図用格子線（□6）を表示する/表示しないを設定できます。

オートパワーオフ

電源をONにしたまま何も操作しないで一定時間が過ぎると、カメラはバッテリーの消耗を抑えるために液晶モニターを消灯し、待機状態になります（□18）。ここでは、待機状態になるまでの時間を設定できます。

待機状態の解除方法について

ボタンや撮影モードダイヤルを操作すると、待機状態が解除されます。

GP-N100装着時のオートパワーオフについて

別売のGPSユニットGP-N100装着時にオートパワーオフ機能を使うには、セットアップメニュー［**GPS**］の［**オートパワーオフ**］を［**有効**］に設定してください（□75）。

セルフタイマー

セルフタイマー撮影（□63）する場合に、シャッターボタンを全押ししてから自動的にシャッターがきれるまでの時間を設定できます。

2秒	手ブレの軽減に適しています。
10秒	記念撮影などに適しています。

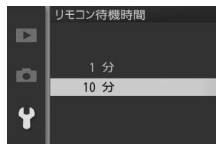
リモコン作動時間

リモコン撮影（□63）する場合に、リモコンML-L3の送信ボタンを押してからシャッターがきれるまでの時間を設定できます。

瞬時	リモコンML-L3の送信ボタンを押すと、すぐにシャッターがきれます。
2秒	リモコンML-L3の送信ボタンを押すと、2 秒後にシャッターがきれます。

リモコン待機時間

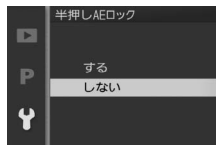
リモコンモード（□63）に設定してから、カメラがリモコンからの信号を待ち受ける時間を設定します。

- リモコン待機時間が長いと、カメラのバッテリーの消耗が早くなります。
- リモコンモードにしてから、リモコン撮影をしないままで待機時間が過ぎると、リモコンモードが解除されます。

AE/AF-Lボタンの機能

AE/AFロックボタン（ロータリーマルチセレクターのAE-L AF-L）を押したときの機能を設定できます。

AE-L/AF-L	AE/AFロックボタンを押すと、AEロック（□136）とフォーカスロック（□167）が同時に行われます。
AE-L	AE/AFロックボタンを押すと、AEロックだけが行われます。
AF-L	AE/AFロックボタンを押すと、フォーカスロックだけが行われます。

半押しAEロック

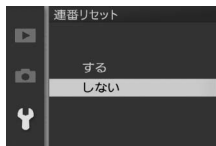
シャッターボタンを半押ししたときにAEロックを行うかどうかを設定できます。

フリッカー低減

蛍光灯や水銀灯などの光源下で、撮影するときの表示や撮影する動画にちらつきや横縞が生じる「フリッカー現象」を低減できます。お使いの地域の電源周波数に応じて、［**50 Hz**］と［**60 Hz**］から選びます。東日本など電源周波数が50 Hzの地域では［**50 Hz**］を選び、西日本など電源周波数が60 Hzの地域では［**60 Hz**］を選んでください。

フリッカー低減についてのご注意

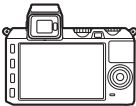
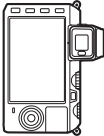
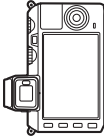
- 電源周波数がわからない場合は、設定を切り換えて試し撮りをすることをおすすめします。
- 被写体が非常に明るい場合、フリッカー低減効果が得られない場合があります。撮影モードを**A**または**M**にして、絞り値を大きくしてください。

連番リセット

ファイル名に使われるファイル番号の連番をリセットします。［**する**］を選んで連番をリセットすると、新しいフォルダーが作成され、「0001」からの連番でファイル番号が付けられます。

- フォルダー番号が999に達しているときにファイル番号が9999に達するか、ファイル数が999個に達すると、それ以上フォルダーを作成できず、シャッターがきれなくなります。この場合は、［**連番リセット**］を行った後、SDカードを初期化するか交換してください。

地域と日時

現在地と日時、年月日の表示順、夏時間を設定します。

項目	説明
現在地の設定	現在地のタイムゾーンを選びます。現在地のタイムゾーンを変更すると、［**日時の設定**］で設定された日時が、時差に合わせて自動的に更新されます。
日時の設定	［**現在地の設定**］で選ばれているタイムゾーンの時刻を設定します。
日付の表示順	液晶モニターに表示される、日付の年、月、日の表示順を、［**年/月/日**］、［**月/日/年**］、［**日/月/年**］から選びます。
夏時間の設定	現在地で夏時間（サマータイム制）が実施されている場合は［**する**］に、そうでない場合は［**しない**］に設定します。［**する**］にすると、時刻が1時間進みます。初期設定は［**しない**］です。

言語（Language）

メニュー画面やメッセージの表示言語を、日本語または英語に設定します。

縦横位置情報の記録

撮影時のカメラの縦横位置情報を画像に記録できます。

する	液晶モニターや、付属のViewNX 2または別売のCapture NX 2（□185）で画像を再生するときに、記録した縦横位置情報を利用して、自動的に回転表示されます。 記録されるカメラの縦横位置情報は、次の3種類です。 横位置 / 縦位置 時計回りに90°回転 / 縦位置 反時計回りに90°回転
しない	縦横位置情報は記録されず、再生時には常に横位置で表示します。

縦横位置情報記録についてのご注意

- 動画やモーションスナップショットには、縦横位置情報を記録できません。
- カメラを上向きまたは下向きにして撮影したり流し撮りすると、縦横位置情報が正しく得られない場合があります。

再生メニュー［縦位置自動回転］

再生メニューの［**縦位置自動回転**］（□117）では、［**縦横位置情報の記録**］を［**する**］に設定して縦位置で撮影された画像を、液晶モニターに縦位置で表示するように変更できます。

ピクセルマッピング

撮影した画像に予期しない輝点が記録されて気になる場合は、次の手順でピクセルマッピングを行ってください。本機能により、撮像素子と画像処理機能のチェックと最適化を行います（ご購入時には、カメラの撮像素子と画像処理機能は最適な状態に調整されています）。

- 作業中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリーをお使いください。

1 カメラの電源をOFFにして、カメラに1 NIKKORレンズを取り付ける

- レンズキャップを付けた状態でピクセルマッピングを行ってください。

2 セットアップメニューの［ピクセルマッピング］を選ぶ

- カメラの電源をONにして、MENUボタンを押し、セットアップメニューの［**ピクセルマッピング**］を選びます。

3 ［はい］を選ぶ

- ピクセルマッピングを開始します。

4 ピクセルマッピングが終了したら、カメラの電源をOFFにする

ピクセルマッピングについてのご注意

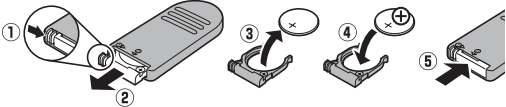
ピクセルマッピング中は、カメラの操作はできません。カメラの電源をOFFにしたり、バッテリーやACアダプターを取り外さないでください。

ファームウェアバージョン

「ファームウェア」のバージョンを表示します。

資料

このカメラで使えるアクセサリーやカメラの主な仕様など、カメラを使うときに役立つ情報を記載しています。また、カメラの動作がおかしいときや警告メッセージが表示されたときの対処方法についても説明しています。

使用できるアクセサリー

このカメラには撮影領域を拡げるさまざまなアクセサリーが用意されています。詳しくは最新のカタログや当社のホームページなどでご確認ください。

レンズ	• **1マウントレンズ**
マウントアダプター	• **マウントアダプター FT1** Fマウント用のNIKKORレンズを1マウントのレンズ交換式デジタルカメラ（Nikon 1）に取り付けるためのアダプターです。撮影画角は、35mm判換算で約2.7倍の焦点距離に相当する画角になります。 - マウントアダプターFT1を使った撮影については、0226をご覧ください。 - マウントアダプターFT1のカメラへの取り付け方と取り外し方、マウントアダプターのお手入れと取り扱い上のご注意については、「マウントアダプター FT1使用説明書」をご覧ください。マウントアダプター 装着時に使用できるレンズについては、「使用できるF マウント用NIKKORレンズ」をご覧ください。「マウントアダプター FT1 使用説明書」と「使用できるF マウント用NIKKORレンズ」は、マウントアダプターFT1に付属しています。

電源	• **Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL21**（□13、14） ニコンデジタルカメラNikon 1 V2用のバッテリーです。 • **バッテリーチャージャー MH-28**※1（□13） Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL21用のチャージャーです。 ※1 家庭用電源のAC100 ～ 240V、50～ 60Hzに対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめの上、お買い求めください。 • **パワーコネクター EP-5D、ACアダプター EH-5b**※2 ACアダプターを使用すると、長時間カメラを使用するときに安定して電源を供給できます。 - このカメラは、カメラ本体と ACアダプターを接続するためにパワーコネクター EP-5Dが必要です。カメラとパワーコネクター、ACアダプターを接続する方法については、「カメラとパワーコネクター、ACアダプターの 接続方法」（□189）をご覧ください。 - EH-5bの代わりにACアダプター EH-5/EH-5aも使えます。 ※2 日本国内専用電源コード（AC 100V対応）付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。
スピードライト	• **ニコンスピードライトSB-N5**（□71） - ガイドナンバーは、8.5（ISO 100・m）/10.8（ISO160・m）です（20℃の場合）。 - SB-N5をNikon 1 V2に装着して使用する場合、i-TTL調光とマニュアル発光に対応しています（□170）。 • **ニコンスピードライトSB-N7**（□71） - ガイドナンバーは、18（ISO 100・m）/22.8（ISO 160・m）です（20℃の場合）。 - SB-N7をNikon 1 V2に装着して使用する場合、i-TTL調光とマニュアル発光に対応しています（□170）。

ガイドナンバーとは

フラッシュの光量を示す値で、大きいほど光が遠くまで届きます。「ガイドナンバー =絞り値×撮影距離（m）」（ISO感度が100の場合）という関係があります。SB-N5はガイドナンバーが8.5（照射角35mm、ISO感度100、20℃）なので、ISO感度が100で絞り値がF5.6なら、8.5÷5.6 = 約1.5mまでフラッシュの光が届くことになります。また、実効ガイドナンバーはISO感度が2倍になると約1.4倍（√2倍）になります。たとえば、このカメラでISO感度200でSB-N5を使用すると、絞り値がF5.6なら8.5÷5.6×1.4 = 約2.1mまで光が届きます。

リモコン（⧉63）	• **リモコンML-L3** **リモコン用電池（CR2025型3Vリチウム電池）の交換方法** ①②③④⑤ 電池室のノブを右側に押しながら（①）、隙間に爪などを差し込んで手前に引き出して（②）ください。リチウム電池を入れる際は、「+」と「−」の向きをよくご確認ください（④）。
ニコンデジタルカメラ専用ソフトウェア	• **Capture NX 2** 画像を詳細に編集できる、画像編集用ソフトウェアです。ホワイトバランス調整やカラーコントロールポイントなどさまざまな機能を備えています。必ず最新版※にバージョンアップしてお使いください。 ※ご使用のパソコンがインターネットに接続されている場合、OSログオン後に所定時間を経過すると、ニコンメッセージセンター 2はCapture NX 2の更新情報などを確認します（初期設定）。更新情報がある場合は、「通知の画面」が自動的に表示されます。 • 対応OSについては、当社ホームページのサポート情報（⧉xviii）でご確認ください。
ボディーキャップ	• **ボディーキャップBF-N1000** レンズを取り外したカメラボディーに取り付けることにより、撮像素子などへのゴミやほこりの付着を防ぎ、カメラ内部を保護します。

外部マイク	• **ステレオマイクロホンME-1**（□158） ステレオマイクロホンME-1を外部マイク入力端子に接続すると、動画撮影中にオートフォーカスでピント合わせをしたときに生じるレンズの動作音が録音されるのを軽減できます。
GPS ユニット	• **GPSユニットGP-N100**（□75） 画像データに撮影時の緯度、経度、標高、UTC（協定世界時）を記録できます。
ワイヤレス モバイル アダプター	• **ワイヤレスモバイルアダプター WU-1b**（□78） Wireless Mobile Adapter Utilityがインストールされたスマートデバイスと無線LAN接続をすると、カメラのSDカードに記録した画像をスマートデバイスに取り込んだり、スマートデバイスからカメラを操作して静止画を撮影したりできます。

推奨SDカード

次のSDカードの動作を確認しています。

	SDメモリーカード	SDHCメモリーカード※2	SDXCメモリーカード※3
SanDisk製	2GB※1	4GB、8GB、16GB、32GB	64GB
東芝製	2GB※1	4GB、8GB、16GB、32GB	64GB
Panasonic製	2GB※1	4GB、8GB、16GB、32GB	48GB、64GB
LEXAR MEDIA社製	—	4GB、8GB、16GB	—
プラチナⅡシリーズ	—	4GB、8GB、16GB、32GB	—
プロフェッショナルシリーズ	—	4GB、8GB、16GB、32GB	—
フルHDビデオカードシリーズ	—	4GB、8GB、16GB	—

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2GBのSDカードに対応している必要があります。

※2 SDHC 規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。このカメラは、UHS-I規格に対応しています。

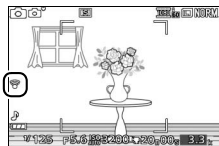
※3 SDXC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応している必要があります。このカメラは、UHS-I規格に対応しています。

- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 上記SDカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、SDカードメーカーにご相談ください。その他のメーカー製のSDカードにつきましては、動作の保証はいたしかねます。

使用できるEye-Fiカード

このカメラでは、次の市販のEye-Fiカードを使って、カメラで作成した画像を、あらかじめ設定した保存先へ送信できます（2012年9月現在）。販売の有無は地域によって異なりますので、カードメーカーにお問い合わせください。Eye-Fiカードのファームウェアを最新版にバージョンアップしてお使いください。

- Eye-Fi Pro X2 SDHC 8GB

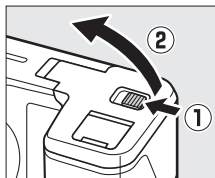
カメラ内にEye-Fiカードが入っている場合は、液晶モニターにが点灯し、通信状態を確認できます。

- （点灯）：画像の送信を待っています。
- （点滅）：画像の送信中です。
- ：未送信の画像がありません。
- ：エラーが発生しました。Eye-Fiカードをコントロールできません。

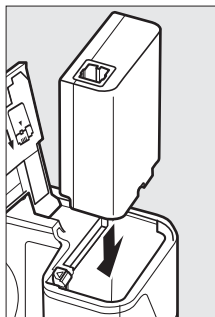
Eye-Fiカードを使用するときのご注意

- Eye-Fi カードの使用方法はEye-Fi カードの使用説明書をご覧ください。カードに関する不具合は、カードメーカーにお問い合わせください。
- 電波の状態が悪い場合、画像を送信できないことがあります。
- 動画撮影中は、Eye-Fiカードの通信機能がOFFになります。
- 電波の出力が禁止されている場所では、カメラの電源をOFFにしてEye-Fiカードを取り出してください。
- Eye-Fiカードは、ご購入された国でのみ使用が認められています（2012年9月現在）。使用する国の法律に従ってお使いください。

カメラとパワーコネクター、ACアダプターの接続方法

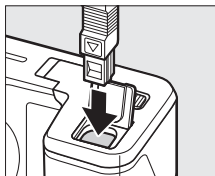
カメラとパワーコネクター、ACアダプターを接続する前に、カメラ本体の電源がOFFになっていることを確認してください。

1 カメラのバッテリー /SDカードカバーを開ける

2 パワーコネクター EP-5Dを入れる

- パワーコネクターは、接点の向きに注意しながら入れてください。
- オレンジ色のバッテリーロックレバーをパワーコネクター側面で押しながら、パワーコネクターを奥まで入れると、バッテリーロックレバーがパワーコネクターに掛かり、パワーコネクターがロックされます。

3 カメラのバッテリー /SDカードカバーを閉じる

4 **電源コードのACプラグを、ACアダプターのACプラグ差し込み口に差し込む**

5 **カメラのパワーコネクターカバーを開けて、パワーコネクターのDCプラグコネクターにACアダプターのDCプラグを差し込む**

- DC プラグコネクターとAC アダプターのDC プラグとの接続を確実にするために、最後までしっかりと差し込んでください。
- パワーコネクターとACアダプターの使用時には、液晶モニター上のバッテリー残量表示が━●に変わります。

カメラのお手入れについて

保管について

長期間カメラを使用しないときは、必ずバッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前には、カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。

カメラを保管するときは、次の場所は避けてください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所

クリーニングについて

カメラ本体	ほこりや糸くずをブロアーで払い、柔らかい乾いた布で軽く拭きます。海辺でカメラを使用した後は、砂や塩を真水で湿らせた布で軽く拭き取り、よく乾かします。 **ご注意：カメラ内部にゴミ、ほこりや砂などが入り込むと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。**
レンズ・電子ビューファインダー	レンズ面は傷つきやすいので、ほこりや糸くずをブロアーで払います。スプレー缶タイプのブロアーは、缶を傾けずにお使いください（中の液体が気化されずに吹き出し、レンズや電子ビューファインダーを傷つけることがあります）。指紋や油脂などの汚れは、柔らかい布にレンズクリーナーを少量付けて、レンズ面を傷つけないように注意して拭きます。
液晶モニター	ほこりや糸くずをブロアーで払います。指紋や油脂などの汚れは、表面を柔らかい布かセーム革で軽く拭き取ります。強く拭くと、破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

☑ 定期点検、オーバーホールのおすすめ

カメラは精密機械ですので、1～2年に1度は定期点検を、3～5年に1度はオーバーホールすることをおすすめします（有料）。

- 特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
- より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズやスピードライトなども併せて点検依頼されることをおすすめします。

イメージセンサークリーニングについて

レンズを取り付けるときなどに、撮像素子にゴミやほこりが付くと、画像に影が写り込むことがあります。カメラの電源をON/OFFするたびに、イメージセンサークリーニングが作動し、ゴミやほこりをふるい落とします。

- イメージセンサークリーニング作動中にカメラを操作すると、イメージセンサークリーニングは中断します。
- 完全にゴミを取り除けないことがあります。そのときは、ニコンサービス機関にご相談ください。
- イメージセンサークリーニングを連続して行うと、内部の回路を保護するため、一時的に作動しなくなる場合があります。少し時間をおくと再び作動するようになります。

カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意

カメラの取り扱い上のご注意

● 強いショックを与えない

カメラやレンズを落としたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。強い衝撃や振動を加えると、破損したり精密に調整された部分に悪影響を及ぼします。また、衝撃によりシャッターが異常となることがあります。

● 水にぬらさない

カメラは水にぬらさないようにご注意ください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えない

極端に温度差のある場所に急にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてからお使いください。

● 強い電波や磁気の発生する場所で撮影しない

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲や、強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが正常に機能しないことがあります。

● **長時間、太陽に向けて撮影または放置しない**

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は撮像素子の褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際撮影された画像に、真っ白くにじみが生じることがあります。

● **レンズやボディーキャップを外した状態でカメラを放置しない**

レンズを取り外した後は、カメラにボディーキャップを必ず取り付けてください。

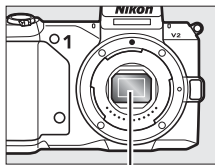
● **カメラ本体のお手入れについて**

カメラ本体のお手入れの際は、ブロアーでゴミやほこりを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。特に、海辺で使った後は、真水を数滴たらした柔らかい清潔な布で塩分を拭き取ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いて乾かしてください。

● **レンズや電子ビューファインダーのお手入れについて**

レンズや電子ビューファインダーは傷が付きやすいので、ゴミやほこりが付いているときは、ブロアーで軽く吹き払う程度にしてください。なお、スプレー缶タイプのブロアーの場合、スプレー缶を傾けずにお使いください（中の液体が気化されずに吹き出し、レンズや電子ビューファインダーを傷つける場合があります）。レンズに万一指紋などが付いてしまった場合は、柔らかい清潔な布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭き取ってください。

● **撮像素子に触れない**

撮像素子を押さえたり、突いたり、ブロアーなどで強く吹くなどは、絶対にしないでください。傷や破損などの原因となります。

撮像素子

● **長期間使用しないときは、バッテリーを取り出し、乾燥剤と一緒に保管する**

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーの液もれなどからカメラを保護するために、必ずカメラからバッテリーを取り出しておいてください。保管する際は、カメラをポリエチレン袋などに乾燥剤と一緒に入れておくとより安全です。ただし、皮ケースをビニール袋に入れると、変質することがありますので避けてください。バッテリーは高温、多湿となる場所を避けて保管してください。乾燥剤（シリカゲル）は湿気を吸うと効力がなくなるので、ときどき交換してください。カメラを長期間使用しないまま放置しておくと、カビや故障の原因となることがあるので、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● 風通しのよい場所に保管する

カビや故障などを防ぐため、風通しのよい乾燥した場所を選んでカメラを保管してください。ナフタリンや樟脳の入ったタンスの中、磁気を発生する器具のそば、高温となる夏季の車内、使用しているストーブの前などにカメラを置かないでください。故障の原因になります。

● バッテリーやACアダプターを取り外すときは、必ずカメラの電源をOFFにする

カメラの電源がONの状態で、バッテリーを取り出したり、ACアダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影中や記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

● 液晶モニターと電子ビューファインダーについて

- モニター画面（電子ビューファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくい場合があります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。もしゴミやほこり等が付着した場合は、ブロアーで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがあるので充分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

● モアレについて

モアレは、被写体の模様と撮像素子の配列とが干渉して起きる現象で、連続するパターンのある画像（建物の格子や格子模様、格子状に並んだビルの窓など）や、規則的に繰り返す細かい模様を持つ被写体（カーテンレースの網目や衣類など）を撮影したときに発生することがあります。このモアレは線状に発生する場合もあります。
モアレが発生しやすい被写体を撮影するときは、撮影距離を変える、ズームレンズをご使用の場合はズーミングして焦点距離を変える、被写体に対する角度を変えて撮影する、などの方法をおすすめします。

● 線状のノイズについて

逆光撮影や輝度の高い光源に向けて撮影する場合、まれに画像上に線状のノイズが発生することがあります。

バッテリーの取り扱い上のご注意

● 使用上のご注意

- バッテリーの使用方法を誤ると液もれにより製品が腐食したり、バッテリーが破裂したりするおそれがあります。次の使用上の注意をお守りください。
  - バッテリーはカメラの電源をOFFにしてから入れる。
  - バッテリーを長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがあるので注意する。
  - バッテリーの端子は、汚さないように注意する。
  - 必ず指定のバッテリーを使う。
  - バッテリーを火の中に投入したり、ショートさせたり、分解したりしない。
  - カメラやチャージャーから取り外したバッテリーには、必ず端子カバーを付ける。
- バッテリーは0℃ ～ 40℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能が劣化したり、故障の原因となります。
- 周囲の温度が5℃ ～ 35℃の室内で充電してください。バッテリーの温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
- バッテリーの温度が0℃ ～ 15℃、45℃ ～ 60℃のときは、充電できる容量が少なくなる、または充電時間が長くなることがあります。
- 一般的な電池特性として、周囲の温度が下がるにつれ、使用できるバッテリー容量は少なくなります。このカメラでは、温度変化に対して使用できる容量も的確にバッテリー残量として表示します。そのため、充分に充電したバッテリーでも、充電したときよりも温度が低くなると、充電直後から残量が減り始めた表示になることがあります。
- 充分に充電したにもかかわらず、室温での使用状態でバッテリーの使用時間が極端に短くなってきた場合は、バッテリーの寿命です。新しいリチャージャブルバッテリー EN-EL21をお求めください。
- カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなっている場合は、温度が下がるのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、または不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因になります。
- しばらく使わない場合は、カメラでバッテリーを使い切った状態で涼しいところで保管してください。周囲の温度が15℃ ～ 25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。
- 使用後のバッテリーは、半年以内に充電するようおすすめします。長期間保管する場合は、半年に一回程度充電した後、カメラでバッテリーを使い切ってから涼しいところで保管してください。
- 使用しないときは、必ずバッテリーをカメラやチャージャーから取り外してください。付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、過放電になり使えなくなるおそれがあります。

● 撮影前にバッテリーをあらかじめ充電する

撮影前にバッテリーを充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されていません。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、充電された予備のバッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によってはバッテリーの入手が困難な場合があるので、ご注意ください。

● 低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しないことがあります。低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使えることがあります。

● バッテリーの残量について

残量がなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響を及ぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してお使いください。

● 充電が完了したバッテリーを続けて再充電しない

バッテリー性能が劣化します。

● 小型充電式電池のリサイクル

不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

数字の有無と数値は、電池によって異なります。

設定できる機能一覧

撮影モードや露出モード（□128）によって、設定できる機能は異なります。ここでは、それぞれの撮影モードごとに設定できる機能とできない機能を表にまとめています。表の見方は次の通りです。

● ：設定を変更できます。

－ ：設定は変更できません。

■ オートモード、P、S、A、Mモード、ベストモーメントキャプチャーモード

	撮影モード	(オート)	P	S	A	M	(ベストモーメントキャプチャー)
撮影メニュー	露出モード	－	－	－	－	－	－
	画質モード	●※1	●※1	●※1	●※1	●※1	●
	画像サイズ※2	●※1	●※1	●※1	●※1	●※1	●
	連写の設定	●	●	●	●	●	－
	サイレント撮影	●	●	●	●	●	●
	画像の保存枚数	－	－	－	－	－	●※3
	撮影速度	－	－	－	－	－	－
	動画の設定	●	●	●	●	●	－
	動画の前後比率	－	－	－	－	－	－
	ファイル形式	－	－	－	－	－	－
	測光モード	－	●※1	●※1	●※1	●※1	－
	ホワイトバランス	－	●	●	●	●	－
	ISO感度設定	－	●※1	●※1	●※1	●※1	－
	Picture Control	－	●	●	●	●	－
	Custom Picture Control	－	●	●	●	●	－
	自動ゆがみ補正	●※1	●※1	●※1	●※1	●※1	●
	色空間	●※1	●※1	●※1	●※1	●※1	●
	アクティブ D-ライティング	－	●※1	●※1	●※1	●※1	－
	HDR	●※5	－	－	－	－	－
	長秒時ノイズ低減	●	●	●	●	●	－
	高感度ノイズ低減	●	●	●	●	●	●
	動画音声の設定	●	●	●	●	●	－
	手ブレ補正※6	●	●	●	●	●	●
	フォーカスモード	－	●※1	●※1	●※1	●※1	－

	撮影モード	📷	P	S	A	M	🎞
撮影メニュー	AFエリアモード	—	●※1	●※1	●※1	●※1	—
	顔認識	—	●	●	●	●	—
	内蔵AF補助光の照射	●	●	●	●	●	●
	フラッシュ発光※7	—	●※4	●※4	●※4	●※4	—
	フラッシュ調光補正※7	—	●※4	●※4	●※4	●※4	—
撮影関連の設定	AFエリア	—	●	●	●	●	—
	プログラムシフト	—	●※1	—	—	—	—
	AEロック	—	●	●	●	—	—
	フォーカスロック	—	●	●	●	●	—
	セルフタイマー	●	●	●	●	●	—
	露出補正	●	●	●	●	—	—
	フラッシュモード※7	●	●	●	●	●	—
	アドバンスト動画	—	—	—	—	—	—
	テーマ	—	—	—	—	—	—

※1 動画撮影ボタンを押して動画を撮影する場合は、設定の変更は反映されません。

※2［**画質モード**］が［**RAW**］の場合は、常に4608×3072ピクセルになります。

※3 ベストモーメントキャプチャーモードが［**スマートフォトセレクター**］の場合のみ設定できます。

※4［**連写とセルフタイマー**］が▣（連写）で、［**連写の設定**］が［**15fps**］、［**30fps**］または［**60fps**］の場合は設定できません。

※5［**画質モード**］が［**RAW**］または［**RAW+FINE**］の場合は設定できません。

※6 VRレンズ使用時のみ設定できます。

※7 内蔵フラッシュを上げている場合または別売のスピードライト使用時のみ設定できます。

アドバンスト動画モード、モーションスナップショットモード

	撮影モード	P	S	A	M	SCENE	P	S	A	M
撮影メニュー	露出モード	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	画質モード	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	画像サイズ	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	連写の設定	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	サイレント撮影	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	画像の保存枚数	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	撮影速度	●※1	●※1	●※1	●※1	–	–	–	–	–
	動画の設定	●※2	●※2	●※2	●※2	–	–	–	–	–
	動画の前後比率	–	–	–	–	●	●	●	●	●
	ファイル形式	–	–	–	–	●	●	●	●	●
	測光モード	●※2	●※2	●※2	●※2	–	●	●	●	●
	ホワイトバランス	●	●	●	●	–	●	●	●	●
	ISO感度設定	●	●	●	●	–	●	●	●	●
	Picture Control	●	●	●	●	–	●	●	●	●
	Custom Picture Control	●	●	●	●	–	●	●	●	●
	自動ゆがみ補正	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	色空間	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	アクティブ D-ライティング	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	HDR	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	長秒時ノイズ低減	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	高感度ノイズ低減	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	動画音声の設定	●※2	●※2	●※2	●※2	–	–	–	–	–
	手ブレ補正※3	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	フォーカスモード	●	●	●	●	–	–	–	–	–
	AFエリアモード	●※2	●※2	●※2	●※2	–	●	●	●	●
	顔認識	●※2	●※2	●※2	●※2	–	●	●	●	●
	内蔵AF補助光の照射	–	–	–	–	●	●	●	●	●
	フラッシュ発光	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	フラッシュ調光補正	–	–	–	–	–	–	–	–	–

	撮影モード									
		P	S	A	M	[SCENE♥]	P	S	A	M
撮影関連の設定	AFエリア	●※2	●※2	●※2	●※2	–	●	●	●	●
	プログラムシフト	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	AEロック	●	●	●	–	–	●	●	●	–
	フォーカスロック	●	●	●	●	–	●	●	●	●
	セルフタイマー	●	●	●	●	–	–	–	–	–
	露出補正	●	●	●	–	–	●	●	●	–
	フラッシュモード	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	アドバンスト動画	●	●	●	●	–	–	–	–	–
	テーマ	–	–	–	–	●	●	●	●	●

※1 アドバンスト動画モードが［**スローモーション**］の場合のみ設定できます。

※2 アドバンスト動画モードが［**HD動画**］の場合のみ設定できます。

※3 VRレンズ使用時のみ設定できます。

撮影に関する設定の初期設定一覧

再生メニュー（□115）、撮影メニュー（□125）、セットアップメニュー（□173）の初期設定は各メニューのページを参照してください。

撮影に関する設定	初期設定
AFエリア（□165）	中央※
プログラムシフト（□32）	解除
AEロック（□136）	解除
フォーカスロック（□167）	解除
連写とセルフタイマー（□61）	S（単写）
露出補正（□66）	0.0
フラッシュモード（□67）	通常発光
ベストモーメントキャプチャー（□43）	スロービュー
アドバンスト動画（□51）	HD動画
テーマ（□59）	きらめき
Picture Controlの調整（□146）	解除

※［**AFエリアモード**］（□165）が［**オートエリア**］のときは、AFエリアは表示されません。

1枚のSDカードに記録できるコマ数（静止画）と時間（動画）

撮影時のカメラの設定によって、16GBのSDカードに記録できるコマ数（静止画）や時間（動画）、および連続撮影できるコマ数は、各撮影モードで次のようになります（東芝社製16GBのSDHC UHS-Iカード（SD-E016GUX）を使用した場合）。ただし、カードの種類や撮影条件によって、コマ数は増減することがあります。

オートモード、P、S、A、Mモード、スロービュー、スマートフォトセレクター（[画像の保存枚数] が [1枚]）※1

画質モード（□129）	画像サイズ（□130）	1コマあたりのファイルサイズ	記録可能コマ数	連続撮影可能コマ数※2
RAW＋FINE※3	4608×3072	約26.6MB	591コマ	48コマ
	3456×2304	約23.1MB	682コマ	48コマ
	2304×1536	約20.5MB	766コマ	49コマ
RAW	—	約17.4MB	902コマ	50コマ
FINE	4608×3072	約9.2MB	1700コマ	54コマ
	3456×2304	約5.6MB	2700コマ	60コマ
	2304×1536	約3.1MB	5000コマ	71コマ
NORM	4608×3072	約4.6MB	3300コマ	63コマ
	3456×2304	約2.9MB	5400コマ	76コマ
	2304×1536	約1.6MB	9800コマ	98コマ
BASIC	4608×3072	約2.4MB	6600コマ	80コマ
	3456×2304	約1.5MB	10700コマ	100コマ
	2304×1536	約0.8MB	18600コマ	100コマ

※1［**サイレント撮影**］が［**しない**］の場合。

※2 ISO感度がISO 160の場合の、連続撮影速度を維持して撮影できるコマ数です。次のような場合、連続撮影可能コマ数は減少します。

- ［**長秒時ノイズ低減**］（□157）を［**する**］に設定した場合

※3 画像サイズはJPEG画像のものです。ファイルサイズはRAW画像とJPEG画像の合計です。

■ スマートフォトセレクター（[画像の保存枚数] が [5枚]）

画質モード（□129）	画像サイズ（□130）	ファイルサイズ※1	撮影回数
RAW＋FINE※2	4608×3072	約133.1MB	118コマ
	3456×2304	約115.4MB	136コマ
	2304×1536	約102.7MB	153コマ
RAW	—	約87.1MB	180コマ
FINE	4608×3072	約45.9MB	342コマ
	3456×2304	約28.2MB	557コマ
	2304×1536	約15.6MB	1000コマ
NORM	4608×3072	約23.2MB	679コマ
	3456×2304	約14.3MB	1000コマ
	2304×1536	約8.0MB	1900コマ
BASIC	4608×3072	約11.8MB	1300コマ
	3456×2304	約7.4MB	2100コマ
	2304×1536	約4.2MB	3700コマ

※1 ファイルサイズは、1回の撮影で記録される5コマの静止画の合計です。
※2 画像サイズはJPEG画像のものです。ファイルサイズはRAW画像とJPEG画像の合計です。

■ HD動画

動画の設定（□133）	記録可能時間※
1080/60i	約1時間28分
1080/30p	約1時間28分
720/60p	約2時間12分
720/30p	約2時間56分

※1回の撮影での最長記録時間については、□133をご覧ください。

スローモーション

撮影速度（□132）	記録可能時間※
400 fps	約1時間4分
1200 fps	約2時間8分

※1回撮影での記録時間は最大3秒です。撮影速度が［**400 fps**］の場合は記録時間の約13.2倍、［**1200 fps**］の場合は約40倍の時間で、スローモーション動画が再生されます。

モーションスナップショットモード

画質モード	画像サイズ	ファイル形式（□135）	ファイルサイズ	撮影回数
—	—	NMS形式	約21.6MB※	約729
—	—	MOV形式	約30.8MB	約510

※ファイルサイズは、1回の撮影で記録される静止画と動画の合計です。

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせになる前に、次の項目をご確認ください。

電源・表示関連

● 電源ONの状態で、カメラを操作できない

- 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。
- 操作できない状態が続くときは、電源をOFFにする操作をしてください。
  電源がOFFにならない場合は、バッテリーを入れ直してください。
  ACアダプター使用時は付け直してください。
  - 記録中であったデータは保存されません。
  - 保存済みのデータはバッテリーやACアダプターの取り外しでは失われません。

● 液晶モニターまたは電子ビューファインダーに何も表示されない

- 電源が入っていません（□18）。
- バッテリー残量がありません（□13、20）。
- 撮影時の液晶モニターの表示が「液晶モニター消灯」になっています。DISPボタンを押すと、液晶モニターの表示が切り替わります（□5）。
- 電子ビューファインダーに指などを近づけているため、アイセンサーが反応して、電子ビューファインダーに切り替わり、液晶モニターが消灯しています（□6）。
- 節電機能により待機状態になっています（オートパワーオフ）。ボタンや撮影モードダイヤルを操作してください。
- カメラとパソコン、またはカメラとテレビを接続しています（□97、104）。

● カメラの電源が突然切れる

- バッテリー残量がありません（□13、20）。
- 節電機能により待機状態になっています（オートパワーオフ）。ボタンや撮影モードダイヤルを操作してください。
- カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまで、しばらく放置してから電源を入れ直してください（□xx、213）。

● 電子ビューファインダー内がはっきり見えない

視度調節ダイヤルで調節してください（□6）。

● 液晶モニターに撮影情報や画像情報が表示されない

DISPボタンを押すと、撮影時または再生時に液晶モニターに表示される内容を切り換えられます。

撮影関連（全モード共通）

● 電源をONにしてから、撮影できる状態になるまでに時間がかかる

SDカード内にフォルダーや画像が大量にあるときは、ファイル検索のため時間がかかる場合があります。

● シャッターがきれない

- バッテリー残量がありません（◻13、20）。
- 残量のあるSDカードが入っていますか？（◻14、20）
- SDカードがロックされていませんか？（◻16）
- 内蔵フラッシュの充電中はシャッターがきれません（◻67）。
- 被写体にピントが合っていません（◻22）。
- スローモーション動画撮影中は、シャッターボタンを全押ししても、静止画は撮影できません（◻51）。

● 連続撮影できない

撮影メニューの［**連写の設定**］（◻131）を［**5fps**］に設定している場合、◻（連写）に設定していても、内蔵フラッシュを上げているときはS（単写）として動作します。

● ピントが合わない

- オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています（◻162）。
- フォーカスモードが［**MF**］（マニュアルフォーカス）になっていませんか？（◻160、163）

● シャッターボタンを半押ししても、フォーカスロックされない

フォーカスモードが［**AF-C**］のとき、または［**AF-A**］で自動的に［**AF-C**］が選ばれたときは、AE/AFロックボタンでフォーカスをロックしてください（◻160、167）。

● AFエリアを選べない

- AFエリアモードが［**オートエリア**］のときは、選べません（◻165）。
- AFエリアモードが［**シングルポイント**］または［**ターゲット追尾**］のときは、OKボタンを押すと、AFエリアを選べます（◻165）。
- 顔認識での撮影時は、選べません（◻25）。

● AFエリアモードで［ターゲット追尾］が選べない

［**Picture Control**］が［**モノクローム**］のときは、［**ターゲット追尾**］を選べません（◻145、165）。

● **AFエリアモードを変更できない**

- フォーカスモードが［**MF**］（マニュアルフォーカス）になっていませんか？（◻160）
- オートモードまたはベストモーメントキャプチャーモードになっていませんか？（◻21、41）
- 露出モードが［**SCENE おまかせシーン**］になっていませんか？（◻128）

● **画像サイズを変更できない**

［**画質モード**］が［**RAW**］のときは、画像サイズを変更できません（◻129）。

● **画像の記録に時間がかかる**

［**長秒時ノイズ低減**］が［**する**］になっていませんか？（◻157）

● **画像がざらつく**

- ISO感度が高くなっていませんか？ISO 800以上の高感度で撮影する場合、［**高感度ノイズ低減**］を［**する**］にすれば、ざらつきを低減できます（◻157）。
- シャッタースピードが1秒より低速な場合は、ざらつきが発生しやすくなります。［**長秒時ノイズ低減**］を［**する**］にして撮影すると、ざらつきを低減できます（◻157）。

● **リモコンML-L3の送信ボタンを押しても撮影できない**

- リモコンの電池残量はありますか？（◻185）
- リモコンモードに設定されていますか？（◻61）
- 送信ボタンを押す前に［**リモコン待機時間**］を過ぎると、リモコンモードはリセットされます（◻178）。
- リモコン送信部をカメラのリモコン受光部に向け、リモコンの送信ボタンを押してください。そのとき、カメラのリモコン受光部が見えていることを確認してください（◻2、64）。
- リモコンとカメラとの距離が離れすぎています（◻64）。
- 極端な逆光状態などでは、リモコン撮影ができない場合があります。

● **画像にゴミが写り込む**

レンズの前面または背面（マウント側）が汚れていませんか？

● **撮影時の画面や動画にちらつきや横縞が生じる**

［**フリッカー低減**］の設定を、カメラをお使いになる地域の電源周波数に合わせてください（◻179）。

● **フラッシュが発光しない**

- ベストモーメントキャプチャーモード、モーションスナップショットモード、および動画撮影時には、フラッシュ撮影できません。
- ［**連写とセルフタイマー**］が◻（連写）で、［**連写の設定**］が［**15fps**］、［**30fps**］、［**60fps**］の場合は、フラッシュ撮影できません（◻61、131）。

● **選択または設定できないメニュー項目がある**

- 撮影モードや露出モードによっては、設定できない機能があります。この場合、その項目は選択できません（□197）。
- 撮影メニューの［**フラッシュ発光**］、［**フラッシュ調光補正**］は、内蔵フラッシュ（□67）を上げている場合または別売スピードライト（□71）装着時のみ表示されます。
- セットアップメニューの［**GPS**］は、別売のGPS ユニットGP-N100装着時のみ表示されます（□75）。
- セットアップメニューの［**ワイヤレスモバイルアダプター**］は、別売のワイヤレスモバイルアダプター WU-1b装着時のみ表示されます（□78）。

撮影関連（撮影モードP、S、A、M）

● **シャッターがきれない**

撮影モードがMのときにシャッタースピードをBulbに設定し、そのまま撮影モードをSに変更した場合は、シャッタースピードを再設定してから撮影してください（□33）。

● **設定できるシャッタースピードの範囲が狭い**

フラッシュ撮影時は、シャッタースピードが制限されます。

● **画像の色合いがおかしい**

- ホワイトバランスは正しく設定されていますか？（□138）
- ［**Picture Control**］は正しく設定されていますか？（□145）

● **ホワイトバランスのプリセットマニュアルのデータが取得できない**

被写体が明るすぎるか、暗すぎます（□142）。

● **［Picture Control］の効果が安定しない**

［**Picture Control**］の調整画面で、［**輪郭強調**］、［**コントラスト**］、［**色の濃さ（彩度）**］のいずれかが［**A**］（オート）に設定されています。ピクチャーコントロールの効果を一定にするには、これらの項目を［**A**］（オート）以外に設定してください（□147）。

● **測光モードが変更できない**

AEロック中は測光モードを変更できません（□136）。

● **画像の一部が赤っぽくなる**

- シャッタースピードをBulbにした場合など、長時間露出で撮影すると、画像の一部が赤っぽくなることがあります。この現象は、［**長秒時ノイズ低減**］を［**する**］に設定することで低減できます（□157）。

動画撮影関連

● 動画を撮影できない

ベストモーメントキャプチャーモードとモーションスナップショットモードでは、動画撮影ボタンを押しても、動画撮影できません（□48、59）。

● 動画に音声が記録されない

- [**動画音声の設定**]の[**録音設定**]が[**録音しない**]になっていませんか？（□158）
- スローモーション動画には、音声は記録されません（□52）。
- モーションスナップショット画像には、音声は記録されません（□59）。

再生関連

● RAW画像が表示されない

［**画質モード**］を［**RAW＋FINE**］にして撮影した画像は、JPEG画像しか再生されません（□129）。

● 画像の縦位置・横位置が正しく表示されない

- ［**縦位置自動回転**］が［**しない**］になっていませんか？（□117）
- ［**縦横位置情報の記録**］が［**しない**］になっていませんか？（□181）
- 撮影直後の画像確認時は、自動回転しません（□117）。
- カメラを上向き・下向きにして撮影すると、縦横位置情報が正しく得られない場合があります（□181）。

● 動画の音声が再生されない

- コマンドダイヤルを右に回すと、音量が大きくなります（□56）。
- スローモーション動画には、音声は記録されません（□52）。
- モーションスナップショット画像には、音声は記録されません（□59）。
- テレビで動画を再生するときは、音量をテレビ側で調節してください。カメラでは音量調節できません。

● 画像を削除できない

- SDカードがロックされていませんか？（□16）
- 画像にプロテクトが設定されていませんか？（□118）

● プリント指定ができない

- SDカードがロックされていませんか？（□16）
- SDカードの空き容量が不足していませんか？（□20）

● RAW画像をプリントできない

RAW画像はパソコンに転送してから、付属ソフトウェアや別売のCapture NX 2などのソフトウェアを使ってプリントしてください（□97）。

● **画像がHDMI機器で再生できない**
市販のHDMIケーブルが正しく接続されているか確認してください（□104）。

● **画像をパソコンに転送できない**
お使いのパソコンのOSによっては、カメラをパソコンに接続して画像を転送できないことがあります（□95）。カードリーダーなどの機器を使って、SDカードの画像をパソコンに保存してください。

● **Capture NX 2で画像が表示されない**
ソフトウェアのバージョンが最新になっていますか？（□185）

その他

● **撮影日時が正しく表示されない**
カメラの内蔵時計は合っていますか？カメラの内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないため、定期的に日時設定を行うことをおすすめします（□19、180）。

● **表示されているメニュー項目が選択できない**
- SDカードをカメラに挿入していないときは、選択できない項目があります（□14）。
- 一部のメニュー項目は、カメラの設定状況によって選択できない場合があります（□197）。

警告メッセージ

液晶モニターに表示される警告メッセージの意味は次の通りです。

<table>
<tr><th>表示</th><th>対処方法</th><th></th></tr>
<tr><td rowspan="2">（シャッタースピード表示、絞り値表示のいずれかが点滅）</td><td>被写体が明るすぎる場合、次の操作を行ってください。
• ISO感度を低くしてください。
• シャッタースピードをより高速側にセットしてください。
• 絞りを絞り込んでください（より大きい数値）。</td><td>
144
33、35
34、35</td></tr>
<tr><td>被写体が暗すぎる場合、次の操作を行ってください。
• ISO感度を高くしてください。
• 内蔵フラッシュまたは別売スピードライトをお使いください。
• シャッタースピードをより低速側にセットしてください。
• 絞りを開いてください（より小さい数値）。</td><td>
144
67、71
33、35
34、35</td></tr>
<tr><td>ズームリングボタンを押しながら、ズームリングを回してレンズを繰り出してください。</td><td>レンズが収納されています。ズームリングボタンを押しながらズームリングを回して、ロックを解除してください。</td><td>17、223</td></tr>
<tr><td>レンズを確認してください。レンズが装着されていないと撮影できません。</td><td>レンズを装着してください。</td><td>17</td></tr>
<tr><td>撮影できません。バッテリーを交換してください。</td><td>残量のあるバッテリーに交換してください。</td><td>13、14</td></tr>
<tr><td>起動エラーが発生しました。復旧には電源をOFFにして再度ONにしてください。</td><td>電源を一度OFFにしてから、バッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてください。</td><td>14、18</td></tr>
</table>

表示	対処方法	📖
時計がリセットされました。	日時を設定してください。	19、180
メモリーカードが入っていません。	SDカードを正しく入れてください。	14
メモリーカードが書き込み禁止になっています。	SDカードのロックを解除してください。	16
Eye-Fiカードは書き込み禁止の状態では使用できません。	Eye-Fiカードのロックを解除してください。	188
このメモリーカードは壊れている可能性があるため、使用できません。カードを交換してください。	• このカメラで使用できるSDカードであるかどうかを確認してください。	187
	• SDカードを初期化し直してください。状況が改善しない場合は、SDカードが壊れている可能性があります。ニコンサービス機関にご相談ください。	175、241
	• 新しいSDカードに交換してください。	14、187
このメモリーカードは初期化（フォーマット）されていません。フォーマットしますか？	• ［**はい**］を選んで、SDカードを初期化してください。	175
	• 電源をOFFにしてから、正しく初期化されたSDカードに交換してください。	14
メモリーカード残量がありません。	• SDカードに記録されている画像を削除して、SDカードに画像ファイルが保存可能な状態にしてください。必要な画像はパソコンなどに転送してバックアップしてください。	88、97
	• 新しいSDカードに交換してください。	14、187
メモリーカードにこれ以上フォルダーを作成できません。	フォルダー番号が999に達しているときにファイル番号が9999に達するか、ファイル数が999個に達すると、それ以上フォルダーを作成できず、シャッターがきれなくなります。この場合は、［**連番リセット**］を行った後、SDカードを初期化するか交換してください。	179
このモードでは動画撮影ボタンを使用できません。	ベストモーメントキャプチャーモードとモーションスナップショットモードでは、動画撮影ボタンは使用できません。	48、59

表示	対処方法	📖
このモードでは静止画の撮影ができません。	スローモーション動画の撮影中は、シャッターボタンを全押ししても、静止画は撮影できません。	51
連続して点灯できる時間を超えたため、キャプチャーイルミネーターを消灯しました。	別売スピードライトSB-N5のキャプチャーイルミネーターを連続して使うと、保護機能が働いて、一時的に照射が制限されます。シャッターボタンから指を放して、撮影を一時休止してください。	74
Bulb設定ではシャッター優先オートの撮影はできません。	• シャッタースピードを変えてください。 • 撮影モードを**M**にして撮影してください。	33 35
スピードライトのファームウェアのバージョンアップに失敗しました。電源OFF後、再度実行してください。	電源を一度OFFにしてから、もう一度電源をONにしてファームウェアのバージョンアップをやり直してください。警告表示が解除されない場合や、頻繁に警告が表示される場合は、ニコンサービス機関にご相談ください。	241
レンズのファームウェアのバージョンアップに失敗しました。電源OFF後、再度実行してください。	電源を一度OFFにしてから、もう一度電源をONにしてファームウェアのバージョンアップをやり直してください。警告表示が解除されない場合や、頻繁に警告が表示される場合は、ニコンサービス機関にご相談ください。	241
何らかの異常を検出しました。復旧にはシャッターボタンをもう一度押してください。	もう一度シャッターボタンを押してください。警告表示が解除されない場合や、頻繁に警告が表示される場合は、ニコンサービス機関にご相談ください。	241
カメラの内部回路にエラーが発生しました。電源OFF後、再度実行してください。	電源を一度OFFにしてから、もう一度電源をONにしてください。警告表示が解除されない場合や、頻繁に警告が表示される場合は、ニコンサービス機関にご相談ください。	241
カメラ内が高温となったため、電源をOFFにします。	カメラ内部の温度が下がるまで、撮影を一時休止してください。	xx

表示	対処方法	📖
撮影画像がありません。	画像が記録されているSDカードを入れてください。	14
このファイルは 表示できません。	• パソコンで編集した画像など、DCF規格の画像ファイルではないため、再生できません。 • 画像ファイルに異常があるため再生できません。	—
プリンターの状態を 確認してください。※	インク交換してください。インクに残量がある場合は、プリンターの状態を確認してください。	—
用紙を確認して ください。※	指定したサイズの用紙がセットされていません。指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］を選んでⓄⓀボタンを押して、プリントを再開してください。	—
紙詰まりです。※	用紙が詰まりました。詰まった用紙を取り除いた後、［**継続**］を選んでⓄⓀボタンを押して、プリントを再開してください。	—
用紙がありません。※	用紙がセットされていません。指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］を選んでⓄⓀボタンを押して、プリントを再開してください。	—
インクを確認して ください。※	インクに異常があります。インクを確認した後、［**継続**］を選んでⓄⓀボタンを押して、プリントを再開してください。	—
インクがありません。※	インクがなくなりました。インクを交換した後、［**継続**］を選んでⓄⓀボタンを押して、プリントを再開してください。	—

※プリンターの使用説明書も併せてご覧ください。

主な仕様

ニコンデジタルカメラNikon 1 V2

型式	
型式	レンズ交換式デジタルカメラ
レンズマウント	ニコン1マウント
実撮影画角	レンズの焦点距離の約2.7倍に相当（35mm判換算）

有効画素数	
有効画素数	1425万画素

撮像素子	
方式	13.2×8.8mmサイズCMOSセンサー、ニコンCXフォーマット
ダスト低減機能	イメージセンサークリーニング

記録形式	
記録画素数	• **静止画（オートモード、P、S、A、Mモード、ベストモーメントキャプチャーモード）※1** - 4608×3072ピクセル - 3456×2304ピクセル - 2304×1536ピクセル • **静止画（アドバンスト動画モード）※1** - 4608×3072ピクセル（1080/60i、1080/30p） - 1280×856ピクセル（720/60p、720/30p） • **静止画（モーションスナップショットモード）※2** - 4608×2592ピクセル ※1 アスペクト比（横：縦）は3：2 ※2 アスペクト比（横：縦）は16：9
画質モード	• RAW 12ビット（圧縮） • JPEG-Baseline準拠、圧縮率（約）：FINE（1/4）、NORMAL（1/8）、BASIC（1/16） • RAWとJPEGの同時記録可能
ピクチャーコントロールシステム	スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクローム、ポートレート、風景、いずれも調整可能、カスタムピクチャーコントロール登録可能
記録媒体	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード

記録形式	
対応規格	DCF 2.0（Design rule for Camera File system）、DPOF（Digital Print Order Format）、Exif 2.3（Exchangeable image file format for digital still cameras）、PictBridge

電子ビューファインダー	
電子ビューファインダー	カラー液晶ビューファインダー、0.47型TFT液晶、約144万ドット、視度調節機能付き、明るさ調整可能
視野率	上下左右とも約100%（対実画面）
アイポイント	接眼レンズ面中央から18 mm（–1.0 m^{-1}のとき）
視度調節範囲	–3～＋2m^{-1}
アイセンサー	ファインダー使用検出時、電子ビューファインダー表示に自動切り換え

撮影モード	
撮影モード	オートモード、P：プログラムオート（プログラムシフト可能）、S：シャッター優先オート、A：絞り優先オート、M：マニュアル、：ベストモーメントキャプチャーモード（スロービュー、スマートフォトセレクター）、：アドバンスト動画モード（HD動画、スローモーション）、：モーションスナップショットモード

シャッター	
シャッター方式	電子制御上下走行式フォーカルプレーンシャッター、エレクトロニックシャッター
シャッタースピード	• **メカニカルシャッター使用時**：1/4000～30秒（1/3ステップ）、Bulb、Time（別売のリモコンML-L3使用） • **エレクトロニックシャッター使用時**：1/16000～30秒（1/3ステップ）、Bulb、Time（別売のリモコンML-L3使用） ※ バルブ撮影時もタイム撮影時も、シャッターは開いてから約2分経つと自動的に閉じます。
フラッシュ同調シャッタースピード	• **メカニカルシャッター使用時**：X=1/250秒以下の低速シャッタースピードで同調 • **エレクトロニックシャッター使用時**：X=1/60 秒以下の低速シャッタースピードで同調

レリーズ機能	
レリーズモード	• 単写、連写 • セルフタイマー、リモコン撮影
連続撮影速度	約5コマ/秒、約15コマ/秒、約30コマ/秒、約60コマ/秒
セルフタイマー	**作動時間**：2秒、10秒
リモコンモード	2秒リモコン、瞬時リモコン

露出制御	
測光方式	撮像素子によるTTL測光方式
測光モード	• **マルチパターン測光** • **中央部重点測光**：φ4.5mm相当を測光 • **スポット測光**：φ2mm相当を測光、AFエリアに連動して測光位置可動
露出モード	P：マルチプログラムオート（プログラムシフト可能）、S：シャッター優先オート、A：絞り優先オート、M：マニュアル、SCENE：おまかせシーン（シーン自動判別）
露出補正	• 範囲：±3段、補正ステップ：1/3ステップ • P、S、Aモードまたは［**露出モード**］が［**P プログラムオート**］、［**S シャッター優先オート**］または［**A 絞り優先オート**］時に設定可能
AEロック	AE/AFロックボタンによる輝度値ロック方式
ISO感度（推奨露光指数）	• ISO 160～6400（1段ステップ） • 感度制限オート（160～6400、160～3200、160～800） • P、S、A、Mモードまたは［**露出モード**］が［**P プログラムオート**］、［**S シャッター優先オート**］、［**A 絞り優先オート**］または［**M マニュアル**］時に設定可能
アクティブD-ライティング	する、しない

オートフォーカス	
方式	ハイブリッドAF（位相差AF/コントラストAF）、AF補助光付
レンズサーボ	• **オートフォーカス（AF）**：シングルAF（AF-S）、コンティニュアスAF（AF-C）、AF自動切り換え（AF-A）、常時AF（AF-F） • **マニュアルフォーカス（MF）**
AFエリアモード	シングルポイント、オートエリア、ターゲット追尾
AFエリア	• **シングルポイント**：135点のAFエリア（中央部73点は位相差AF） • **オートエリア**：41点のAFエリア
フォーカスロック	AE/AFロックボタン、またはシングルAF（AF-S）時にシャッターボタン半押し
顔認識	する、しない

フラッシュ	
内蔵フラッシュ	フラッシュボタン操作による手動ポップアップ方式 ガイドナンバー：約5（ISO 100・m）/約6.3（ISO 160・m）、20℃の場合
調光方式	撮像素子によるi-TTL調光制御
フラッシュモード	通常発光、通常発光＋スロー、赤目軽減発光、赤目軽減発光＋スロー、後幕発光、後幕発光＋スロー
調光補正	範囲：–3〜+1段、補正ステップ：1/3ステップ
レディーライト	内蔵フラッシュ、別売スピードライト使用時に充電完了で点灯

ホワイトバランス	
ホワイトバランス	オート、電球、蛍光灯、晴天、フラッシュ、曇天、晴天日陰、プリセットマニュアル、プリセットマニュアル以外はいずれも微調整可能

動画機能	
測光方式	撮像素子によるTTL測光方式
測光モード	• **マルチパターン測光** • **中央部重点測光**：φ4.5mm相当を測光 • **スポット測光**：φ2 mm相当を測光、AFエリアに連動して測光位置可動

動画機能	
記録画素数/ 記録レート	• **HD動画、オートモード、P、S、A、Mモードで撮影した動画**※1 - 1920×1080（60i （59.94fields/s）※3） - 1920×1080（30p（29.97fps）） - 1280×720（60p（59.94fps）） - 1280×720（30p（29.97fps）） • **スローモーション動画**※2 - 640×240（記録：400fps、再生：30p（29.97fps）） - 320×120（記録：1200fps、再生：30p（29.97fps）） • **モーションスナップショットモードで撮影した動画**※1 - 1920×1080（記録：60p（59.94fps）、再生：24p（23.976fps）） ※1 アスペクト比（横：縦）は16：9 ※2 アスペクト比（横：縦）は8：3 ※3 センサー出力は、約60コマ/秒です。
ファイル形式	MOV
映像圧縮方式	H.264/MPEG-4 AVC
音声記録方式	AAC
録音装置	内蔵ステレオマイク、別売のステレオマイクロホンME-1使用可能（ステレオ録音）、マイク感度設定可能

画像モニター	
画像モニター	3型TFT液晶モニター、約92万ドット、明るさ調整可能

再生機能	
再生機能	1コマ再生、サムネイル再生（4、9、72分割またはカレンダーモード）、拡大再生、動画再生、スライドショー、ヒストグラム表示、撮影画像の縦位置自動回転、レーティング

インターフェース	
USB	Hi-Speed USB
HDMI出力	HDMIミニ端子（Type C）装備
マルチアクセサリーポート	専用アクセサリー装備
外部マイク入力	ステレオミニジャック（φ3.5mm）

表示言語	
表示言語	日本語、英語

電源	
使用電池	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL21（1個使用）
ACアダプター	ACアダプター EH-5b（パワーコネクター EP-5Dと組み合わせて使用）（別売）
三脚ネジ穴	
三脚ネジ穴	1/4（ISO 1222）
寸法・質量	
寸法（W×H×D）	約107.8×81.6×45.9 mm（突起部を含まず）、ボディー部厚さ33.2 mm（マウント面から液晶モニターまで）
質量	約337 g（バッテリーおよびSDメモリーカードを含む、ボディーキャップを除く） 約278 g（本体のみ）
動作環境	
温度	0℃～40℃
湿度	85%以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、全てCIPA（カメラ映像機器工業会）規格による温度条件（23℃（±3℃））で、フル充電バッテリー使用時のものです。

バッテリーチャージャー MH-28	
電源	AC 100～240 V、50～60 Hz、0.2A
定格入力容量	13～21 VA
充電出力	DC 8.4 V、0.6 A
適応電池	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL21
充電時間	約2時間 ※残量のない状態からの充電時間（周囲温度25℃）
使用温度	0℃～40℃
寸法（W×H×D）	約67.0×28.0×104.0 mm（突起部除く）
質量	約88 g

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL21	
形式	リチウムイオン充電池
定格容量	7.2 V、1485 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法（W×H×D）	約37.6×49.7×18.1 mm
質量	約57 g（端子カバーを除く）

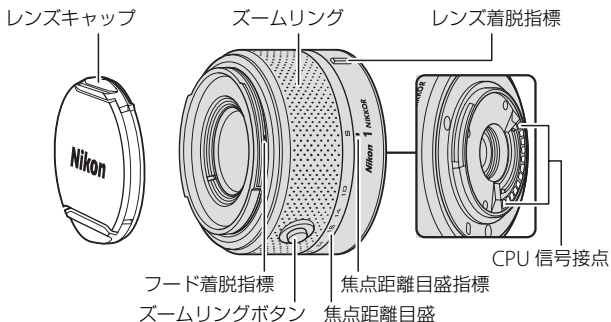
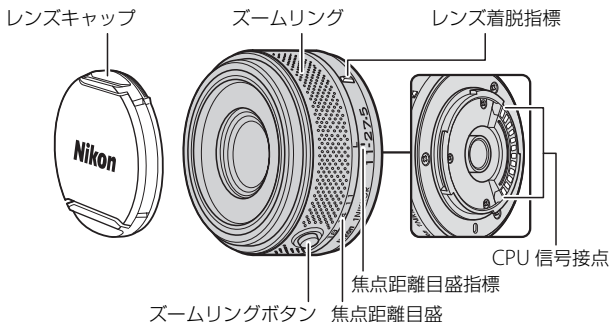
レンズ1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6	
型式	1マウントレンズ
焦点距離	10 mm–30 mm
最大口径比	1：3.5–5.6
レンズ構成	9群12枚（非球面レンズ3枚）
画角	77°– 29° 40′
手ブレ補正	ボイスコイルモーター（VCM）によるレンズシフト方式
最短撮影距離	撮像面から0.2 m（ズーム全域）
絞り羽根枚数	7枚（円形絞り）
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲	• 焦点距離10 mm時：f/3.5–16 • 焦点距離30 mm時：f/5.6–16
アタッチメントサイズ	40.5 mm（P=0.5 mm）
寸法	約57.5 mm（最大径）×42 mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで、沈胴時）
質量	約115 g

- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 活用ガイドの誤りなどについての補償はご容赦ください。

レンズ1 NIKKOR 11-27.5mm f/3.5-5.6	
型式	1マウントレンズ
焦点距離	11 mm–27.5 mm
最大口径比	1：3.5–5.6
レンズ構成	6群8枚（EDレンズ1枚、非球面レンズ1枚）、他保護ガラス1枚
画角	72º– 32º 20´
最短撮影距離	撮像面から0.3 m（ズーム全域）
絞り羽根枚数	7枚（円形絞り）
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲	• 焦点距離11 mm時：f/3.5–16 • 焦点距離27.5 mm時：f/5.6–16
アタッチメントサイズ	40.5 mm（P=0.5 mm）
寸法	約57.5 mm（最大径）×31 mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで、沈胴時）
質量	約83 g

- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

■ 1 NIKKORレンズについて

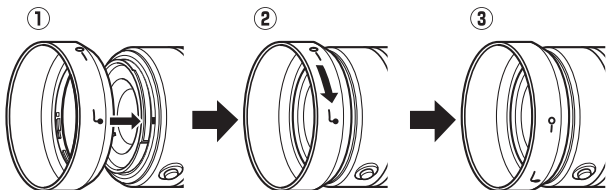
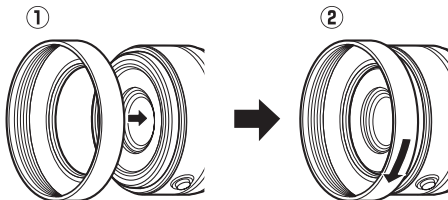
1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6

1 NIKKOR 11-27.5mm f/3.5-5.6

- これらのレンズは、レンズ交換式デジタルカメラ（Nikon 1）専用です。撮影画角は、35mm判換算で約2.7倍の焦点距離に相当する画角になります。
- 1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6には手ブレ補正機能（VR）があり、カメラで手ブレ補正の設定を［**NORMAL**］、［**ACTIVE**］、［**OFF**］に切り換えられます（🕮159）。
- ズーミングを行うには、ズームリングを回転させます。

付属アクセサリー

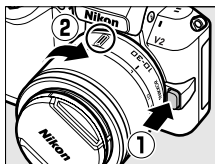
- 40.5mmスプリング式レンズキャップLC-N40.5
- 裏ぶた LF-N1000

使用できるアクセサリー

- 40.5mm ネジ込み式フィルター
- バヨネットフード HB-N101（1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6のみ）
- 40.5mmネジ込み式フード HN-N102（1 NIKKOR 11-27.5mm f/3.5-5.6のみ）

バヨネットフード HB-N101の取り付け方

レンズフードHN-N102の取り付け方

レンズを取り外すには

レンズを取り外す前にレンズを収納してください（◻17）。カメラの電源をOFFにしてから、カメラ前面のレンズ取り外しボタンを押しながら（①）、レンズを矢印の方向にいっぱいまで回し（②）、引き抜きます。

- レンズを取り外した後は、カメラのボディーキャップとレンズの裏ぶたをそれぞれ取り付けてください。

☑ レンズのお手入れと取り扱い上のご注意

- フード（別売）をレンズに装着した状態で、フードだけを持たないでください。
- CPU信号接点は汚さないようにご注意ください。
- レンズ面の清掃は、ほこりを拭う程度にしてください。指紋がついたときは、柔らかい清潔な木綿の布に無水アルコール（エタノール）または市販のレンズクリーナーを少量湿らせ、レンズの中心から外周へ渦巻き状に、拭きむら、拭き残りのないように注意して拭いてください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐためには、NCフィルターをお使いいただけます。また、レンズのフードも役立ちます。
- レンズをケースなどに入れるときは、必ずレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。
- レンズを長期間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光の当たるところ、ナフタリンや樟脳のあるところも避けてください。
- レンズを水にぬらすと、部品がサビつくなどして故障の原因となりますのでご注意ください。
- ストーブの前など、高温になるところに置かないでください。極端に温度が高くなると、外観の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。

▌別売のマウントアダプター FT1について

本書およびマウントアダプターFT1とレンズの使用説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

オートフォーカス（AF）でピントを合わせる

Nikon 1カメラでFT1を使ってオートフォーカスでピントを合わせるには、AF-Sレンズを装着してください。その他のFマウント用NIKKORレンズの場合は、オートフォーカスでピント合わせはできません。マニュアルフォーカスをお使いください。

- オートフォーカスで撮影する場合、フォーカスモードを［**AF-S**］に設定してください。その他のオートフォーカスモードは設定できません。
- ［**シングルポイント**］以外のAFエリアモードは選べません。常に画面中央のAFエリア内の被写体にピントが合います。
- ［**顔認識**］は行いません。

※撮影の状況により、ピントが合っていなくても電子音が鳴ってAFエリアが緑色に点灯し、シャッターがきれることがあります。このような場合は、マニュアルフォーカスでピント合わせをしてください。

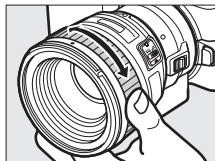
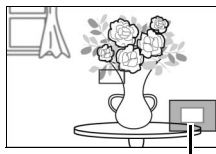
マニュアルフォーカス（MF）でピントを合わせる

1 MF（マニュアルフォーカス）を選ぶ

- 撮影メニューの［**フォーカスモード**］（□160）で［**MF**］（マニュアルフォーカス）を選び、Ⓞボタンを押すと、マニュアルフォーカスに切り替わります。

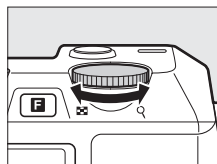
  ※**M/A**（マニュアル優先オートフォーカス）モード機能付きのレンズをお使いの場合、カメラのフォーカスモードが［**AF-S**］のときに、シャッターボタンを半押ししたままレンズのフォーカスリングを手で回転させると、マニュアルフォーカスに切り替わります。オートフォーカス撮影に戻るには、カメラのシャッターボタンを半押しし直してください。

2 レンズのフォーカスリングを回して、ピントを合わせる

- 画面上のメインの被写体がはっきり見えるようにピントを合わせます。

- OKボタンを押すと、画面の中央部が拡大表示され、画面の右下に構図のどの部分を拡大しているかを表すナビゲーションウィンドウ（グレーの枠）が表示されます。

ナビゲーション
ウィンドウ

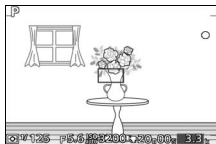
- 拡大表示中は、コマンドダイヤルを右に回すごとに拡大率が上がり（最大約10倍）、左に回すごとに拡大率が下がります。
- 拡大表示中にロータリーマルチセレクターの▲▼◀▶で画面をスクロールさせて見たい部分に移動できます。

コマンドダイヤル

- OKボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

※動画撮影中またはアドバンスト動画モードが［**スローモーション**］の場合は、OKボタンを押しても拡大表示されません。

フォーカスエイドについて

CPUレンズ装着時にマニュアルフォーカスで撮影するときは、液晶モニターのピント表示（●）でピントが合っているかどうかを確認できます。この場合、画面中央のAFエリアが、ピントが合っているかどうかの基準となります。

- ピントが合うと、ピント表示（●）が表示されます。

ピント表示	カメラの操作
●（点灯）	被写体にピントが合っています。
▶（点灯）	目的の被写体よりも手前にピントが合っています。
◀（点灯）	目的の被写体よりも後方にピントが合っています。
▶ ◀（点滅）	ピント合わせができません。

- オートフォーカスの苦手な被写体では、ピントが合っていなくてもピント表示（●）が点灯することがありますので、被写体にピントが合っていることを確認してください。

FT1使用時の警告について

液晶モニター下部の絞り値表示部に表示される警告の意味は次の通りです。

表示	原因	対処方法
FEE	レンズの絞りリングが最小絞りになっていません。	絞りリングのあるCPUレンズの場合、レンズの絞りリングを最小絞り（最も大きい値）にしてください。
F--	• レンズが装着されていません。 • 非CPUレンズが装着されています。	非CPUレンズを使用する際は、レンズの絞りリングで絞り値を設定してください。

FT1使用時の制限について

- オートモード、ベストモーメントキャプチャーモードでは撮影できません。
- モーションスナップショットモードの場合、AF-Sレンズ使用時にオートフォーカスでピントが合った場合にのみ撮影可能です。このとき、フォーカスリングには触れないでください。
- 1秒以上の低速シャッタースピードには設定できません。
- レンズのフォーカス作動ボタン（フォーカスロック/メモリーリコール/AF作動）と電子音スイッチは無効になります。

FT1使用時のご注意

- 質量が380gを超えるレンズをカメラに装着した状態で、カメラだけを持ったり、カメラに取り付けたストラップだけを持ったりしないでください。カメラのマウント部分が破損する恐れがありますので、必ずレンズを持ってください。
- 非CPUレンズで絞りを絞って撮影する場合、画像上に線状のノイズが発生することがあります。
- 動画撮影中は、露出を合わせ続けます。レンズの動作音が気になる場合は、露出モードを［**M マニュアル**］または［**A 絞り優先オート**］にして撮影してください。
- 連続撮影時は、ピントが最初の1コマと同じ条件に固定されます。
- ［**連写の設定**］が［**5fps**］の連写では、連続撮影速度が遅くなります。
- 使用するレンズや撮影距離によっては、フラッシュのケラレが発生することがあります。また、AF補助光は点灯しますが、レンズによるケラレのため使用できません。
- 開放絞りがF1.4のレンズで、絞りを開いて撮影した場合、撮影条件によっては円ボケ（丸ボケ）の上下が欠けることがあります。

このカメラの準拠規格

- **Design rule for Camera File system (DCF) Version 2.0**：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。
- **DPOF（Digital Print Order Format）**：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- **Exif Version 2.3**：（Exif ＝ Exchangeable image file format for digital still cameras）：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報をいかして最適なプリント出力を得ることができます。詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。
- **PictBridge**：デジタルカメラとプリンターメーカーの各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像を、パソコンを介さずプリンターで直接印刷するための標準規格です。
- **HDMI (High-Definition Multimedia Interface)**：家庭用電化製品およびAV機器用のマルチメディアインターフェース規格です。1本のケーブルをつなぐだけで、画像、音声、制御信号をHDMI対応機器に送信できます。

商標説明

- PictBridgeロゴは商標です。
- SDロゴ、SDHCロゴ、およびSDXCロゴは、SD-3C, LLC.の商標です。
- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、QuickTime は米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

HDMI

- GOOGLE PLAYは、Google Inc.の商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

FreeType License（FreeType2）

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The FreeType Project（http://www.freetype.org）のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License（HarfBuzz）

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The HarfBuzz Project（http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz）のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

電池寿命について

電池寿命は、次の通りです。

- 静止画撮影時：約310コマ※1
- 動画撮影時：約65分※2

※1 電池寿命測定方法を定めた CIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。測定条件は次の通りです：
 - 30秒ごとに1回撮影
 - 2回に1度、内蔵フラッシュを発光する
 - 10回に1度、電源をON/OFFする。

※2 電池寿命測定方法を定めた CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による実撮影電池寿命です。
 - 1回の動画撮影で記録可能な最長時間は20分（1080/60i）です。
 - 1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。
 - カメラが熱くなった場合、連続撮影時間内でも動画撮影が終了することがあります。

- SDカードは東芝社製16GBのSDHC UHS-Iカード（SD-E016GUX）を使用
- 装着レンズは1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6
- フル充電したバッテリー（EN-EL21）を使用
- 温度23℃（±3℃）
- カメラは初期設定状態

バッテリーの充電状態、撮影間隔やメニュー画面からの設定条件などの使用環境によって、電池寿命が異なります。

次の場合はバッテリーの消耗が早くなります。

- シャッターボタンの半押しを続けた場合
- オートフォーカスのレンズ駆動を繰り返し行った場合
- 画質モードをRAWに設定して撮影した場合
- 低速シャッタースピードで撮影した場合
- Eye-Fiカードを使用した場合
- VRレンズ使用時にVR（手ブレ補正）機能をONにした場合
- パワーズームレンズ使用時にズーム動作を繰り返した場合
- ワイヤレスモバイルアダプターを使用した場合

Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL21の性能を最大限に発揮させるため、次のことに注意してください。

- バッテリーの端子を汚さないでください。端子が汚れていると、充分な性能が発揮できません。
- 充電が完了したバッテリーは、なるべく早いうちにお使いください。使用しないまま放置していると、自己放電によって、バッテリー残量が減ってしまいます。

索 引

マーク・英数字

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

ワ

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン　カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
  「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
  「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

- ニコンサービス機関（裏面に記載の「修理センター」など）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。
- ニコンサービス機関につきましては、詳しくは「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。

【お願い】

- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
  ※ 内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後7年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。

0570-02-8000

一般電話･公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30 ～ 18:00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577 におかけください。ファクシミリでのご相談は、（03）5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

<ニコン ピックアップサービス>

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け･集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。

※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。

0120-02-8155

営業時間：9:00～18:00（年末年始12/29～1/4を除く毎日）

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。
製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<（株）ニコンイメージングジャパン　修理センター>

230-0052　横浜市鶴見区生麦2-2-26

0570-02-8200

一般電話･公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

<ニコンイメージング／サポートページ>

- http://www.nikon-image.com/support/

  最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。

  ※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。

- http://www.nikon-image.com/support/repair/

  「ニコン　ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 ニコン

株式会社 ニコン イメージング ジャパン

SB2J01(10)

6MVA3610-01